

P9X79

Motherboard



Copyright © 2011 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容に変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product may contain copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL") and under the Lesser General Public License Version ("LGPL"). The GPL and LGPL licensed code in this product is distributed without any warranty. Copies of these licenses are included in this product.

You may obtain the complete corresponding source code (as defined in the GPL) for the GPL Software, and/or the complete corresponding source code of the LGPL Software (with the complete machine-readable "work that uses the Library") for a period of three years after our last shipment of the product including the GPL Software and/or LGPL Software, which will be no earlier than December 1, 2011, either

(1) for free by downloading it from <http://support.asus.com/download>;

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.
Legal Compliance Dept.
15 Li Te Rd.,
Beitou, Taipei 112
Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address gpl@asus.com, stating the product and describing the problem (please do NOT send large attachments such as source code archives etc to this email address).

もくじ

もくじ	iii
ご注意	vi
安全上のご注意	vii
このマニュアルについて	viii
P9X79 仕様一覧	x

Chapter 1: 製品の概要

1.1	ようこそ	1-1
1.2	パッケージの内容	1-1
1.3	独自機能	1-2
1.3.1	製品の特長	1-2
1.3.2	Dual Intelligent Processors 3 with New DIGI+ Power Control	1-3
1.3.3	ASUSの独自機能	1-4
1.3.4	ASUS静音サーマルソリューション	1-4
1.3.5	ASUS EZ DIY	1-5
1.3.6	その他の特殊機能	1-6

Chapter 2: ハードウェア

2.1	始める前に	2-1
2.2	マザーボードの概要	2-2
2.2.1	マザーボードのレイアウト	2-2
2.2.2	CPU	2-4
2.2.3	システムメモリー	2-5
2.2.4	拡張スロット	2-15
2.2.5	オンボードスイッチ	2-17
2.2.6	オンボードLED	2-20
2.2.7	ジャンパ	2-22
2.2.8	内部コネクタ	2-23
2.3	コンピューターシステムを構築する	2-32
2.3.1	PCシステムを構築するためのツールとコンポーネント	2-32
2.3.2	CPUの取り付け	2-33
2.3.3	CPUクーラーを取り付ける	2-35
2.3.4	メモリーを取り付ける	2-36
2.3.5	マザーボードを取り付ける	2-37
2.3.6	ATX電源接続	2-39
2.3.7	SATAデバイス接続	2-40
2.3.8	フロント I/O コネクタ	2-41
2.3.9	拡張カードを取り付け	2-42
2.3.10	USB BIOS Flashback	2-43

もくじ

2.3.11	バックパネルコネクタ	2-44
2.3.12	オーディオ I/O接続	2-46
2.4	初めて起動する	2-48
2.5	システムの電源をオフにする	2-48

Chapter 3: UEFI BIOS 設定

3.1	UEFIとは	3-1
3.2	UEFI BIOS Utility	3-1
3.2.1	EZ Mode	3-2
3.2.2	Advanced Mode	3-3
3.3	メインメニュー	3-5
3.4	Ai Tweakerメニュー	3-7
3.4.1	DRAM Timing Control	3-10
3.4.2	DIGI+ Power Control	3-19
3.4.3	CPU Performance Settings	3-22
3.5	アドバンスドメニュー	3-26
3.5.1	CPU設定	3-27
3.5.2	CPU電源管理設定	3-28
3.5.3	PCH設定	3-29
3.5.4	SATA設定	3-29
3.5.5	USB設定	3-32
3.5.6	オンボードデバイス設定構成	3-33
3.5.7	APM	3-35
3.6	モニターメニュー	3-36
3.7	ブートメニュー	3-39
3.8	ツールメニュー	3-41
3.8.1	ASUS EZ Flash 2 Utility	3-41
3.8.2	ASUS DRAM SPD情報	3-42
3.8.3	ASUS O.C. Profile	3-43
3.9	終了メニュー	3-44
3.10	UEFI BIOS更新	3-45
3.10.1	ASUS Update utility	3-45
3.10.2	ASUS EZ Flash 2 utility	3-48
3.10.3	ASUS CrashFree BIOS 3 utility	3-49
3.10.4	ASUS BIOS Updater	3-50

Chapter 4: ソフトウェア

4.1	OSをインストールする	4-1
4.2	サポートDVD情報	4-1

4.2.1	サポートDVDを実行する.....	4-1
4.2.2	ソフトウェアのユーザーマニュアルを閲覧する.....	4-2
4.3	ソフトウェア情報.....	4-3
4.3.1	AI Suite II	4-3
4.3.2	TurboV EVO.....	4-4
4.3.3	DIGI+ Power Control	4-8
4.3.4	EPU	4-10
4.3.5	FAN Xpert+	4-11
4.3.6	Sensor Recorder	4-12
4.3.7	Probe II.....	4-13
4.3.8	USB 3.0 Boost	4-14
4.3.9	ASUS Update	4-15
4.3.10	MyLogo2	4-16
4.3.11	オーディオ構成	4-18
4.4	RAID	4-19
4.4.1	RAIDの定義.....	4-19
4.4.2	SATA記憶装置を取り付ける.....	4-20
4.4.3	UEFI BIOSでRAIDを設定する.....	4-20
4.4.4	Intel® Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティ	4-20
 Chapter 5: マルチGPUテクノロジー		
5.1	AMD CrossFireX™ テクノロジー.....	5-1
5.1.1	システム要件	5-1
5.1.2	始める前に	5-1
5.1.3	CrossFireX™ ビデオカードを取り付ける	5-2
5.1.4	デバイスドライバをインストールする.....	5-3
5.1.5	AMD® CrossFireX™ テクノロジーを有効にする	5-3
5.2	NVIDIA® SLI™ テクノロジー.....	5-4
5.2.1	必要条件	5-4
5.2.2	SLI対応ビデオカードを 2 枚取り付ける	5-4
5.2.3	デバイスドライバをインストールする.....	5-5
5.2.4	NVIDIA® SLI™ テクノロジーを有効にする.....	5-5

ご注意

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canadian Department of Communications Statement (原文)

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

安全上のご注意

電気の取り扱い

- ・ 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 周辺機器の取り付け・取り外しの際は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ ケーブルの接続・取り外しの際は、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ・ 正しい電圧でご使用ください。ご使用になる地域の出力電圧が分からない場合は、お近くの電力会社にお尋ねください。
- ・ 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。



不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

- ・ バッテリーを火気に投じないでください。爆発し有害物質が発生する恐れがあります。
- ・ バッテリーは通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際はお住まいの地域の区分に従ってください。
- ・ バッテリーは製造元指定のものをご使用ください。



-
- ・ 製造元指定のバッテリー以外を使用された場合、爆発や液漏れ等の恐れがあります。
 - ・ 使用済みバッテリーを廃棄する際は、上記の指示に従って廃棄してください。
-

操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本パッケージに付属のマニュアル及び取り付けする部品のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- ・ マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けや構築の際に必要な情報が記してあります。

マニュアルの概要

本書は以下のChapter から構成されています。

- **Chapter 1: 製品の概要**
マザーボードの機能とサポートする新機能についての説明。
- **Chapter 2: ハードウェア**
コンポーネントの取り付けに必要なハードウェアのセットアップ手順及びスイッチ、コネクターの説明。
- **Chapter 3: UEFI BIOS設定**
UEFI BIOS Utility でのシステム設定の変更方法とUEFI BIOS/パラメータの詳細。
- **Chapter 4: ソフトウェア**
マザーボードパッケージに付属のサポート DVD とソフトウェアの内容。
- **Chapter 5: マルチGPUテクノロジーサポート**
AMD CrossFireX™とNVIDIA SLI™のマルチGPUビデオカードの取り付けと設定方法。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、UEFI BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. **ASUS公式サイト (<http://www.asus.co.jp/>)**
各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。
2. **追加ドキュメント**
パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告: 本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 作業を完了させるために、従わなければならない指示です。



注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

表記

太字

選択するメニューや項目を表示します。

斜字

文字やフレーズを強調する時に使います。

<Key>

< > で囲った文字は、キーボードのキーです。
例: <Enter> → Enter もしくはリターンキーを押してください。

<Key1+Key2+Key3>

一度に 2 つ以上のキーを押す必要がある場合は (+) を使って示しています。
例: <Ctrl + Alt + Del>

P9X79 仕様一覧

CPU	LGA 2011 ソケット対応 2nd Generation Intel® Core™ i7 processor family Intel® Turbo Boost Technology 2.0 サポート * Intel® Turbo Boost Technology 2.0 のサポートは CPU により異なります。 ** 詳細は ASUS オフィシャルサイトの CPU サポートリストをご参照ください。
チップセット	Intel® X79 Express チップセット
メモリー	メモリースロット×8: 最大 64GB, DDR3 2400(O.C.)/2133(O.C.)/1866/1600/1333/1066 MHz, non-ECC, un-buffered メモリーサポート クアドチャネルメモリアーキテクチャ Intel® Extreme Memory Profile (XMP) サポート * DDR3 2200/2000/1800 MHz メモリーはデフォルトで DDR3 2133/1866/1600 MHz として動作します。 ** Hyper DIMM への対応は CPU の物理的特性に依存します。特定の Hyper DIMM は、1 チャンネルあたり、1 枚のメモリーモジュールサポートになります。 *** 詳細は ASUS オフィシャルサイトの最新の推奨ベンダーリスト (QVL) をご参照ください。
拡張スロット	PCI Express 3.0 x16 スロット×2 (デュアル@ x16/x16 モード) PCI Express 3.0 x16 スロット×1 (PCI-E x16_3 @ x8 モードで動作) PCI Express 2.0 x1 スロット×2 PCI スロット×1 * 本マザーボードは PCI Express 3.0 (Gen3) をサポートしています。対応スロットに PCI Express 3.0 規格準拠のデバイスを接続することで、デバイス本来の機能を最大限に発揮することができます。
マルチGPUサポート	NVIDIA® SLI™ Technology (最大 4GPU) AMD® CrossFireX™ Technology (最大 4GPU)
記憶装置	Intel® X79 Express チップセット - SATA 6 Gb/s ポート×2 (RAID 0/1/5/10 サポート) - SATA 3 Gb/s ポート×4 (RAID 0/1/5/10 サポート) ASMedia® 1061 SATA コントローラー - Power eSATA 6Gb/s ポート×1 - eSATA 6Gb/s ポート×1 * 仕様により、本製品は Intel® X79 Express チップセットによる Windows® XP の [AHCI/RAID] モードをサポートしていません。
LAN	Intel® 82579V Gigabit LAN コントローラー
オーディオ	Realtek® ALC892 8 チャンネル HD オーディオコーデック - 192kHz/24bit ロスレスサウンド対応 - Blu-ray オーディオコンテンツ保護 - DTS UltraPC II™ - DTS Connect™ - ジャック検出、マルチストリーミング、フロントパネル・ジャックリタスキング - 光デジタルS/PDIF 出力ポート (バックパネル) * DTS UltraPC II™、および DTS Connect は Windows® 7/Vista のみサポートします。

(次項へ)

P9X79 仕様一覧

USB	ASMedia® USB 3.0 コントローラー×2 <ul style="list-style-type: none"> - USB 3.0ポート×4(ブルー、バックパネル) Intel® X79 Express チップセット <ul style="list-style-type: none"> - USB 2.0ポート×14 (オンボードヘッダーコネクタ×8ポート、バックパネル×6ポート) *バックパネルの内1ポートはUSB BIOS Flashback と兼用 (ホワイト)
IEEE 1394	VIA® VT6315N コントローラーサポート: IEEE 1394a ポート1基に対応 (バックパネル情に1基)
ASUSの独自機能	ASUS Dual Intelligent Processors 3 with New DIGI+ Power Control: <p>CPU Power</p> <ul style="list-style-type: none"> - デジタル8+2 フェーズ電源設計 - ASUS CPU Power ユーティリティ <p>DRAM Power</p> <ul style="list-style-type: none"> - デジタル 2+2 フェーズ電源設計 - ASUS DRAM Power ユーティリティ <p>ASUS TPU</p> <ul style="list-style-type: none"> - Auto Tuning、TurboV、TPUスイッチ <p>ASUS EPU</p> <ul style="list-style-type: none"> - EPU、EPUスイッチ <p>ASUSだけの機能:</p> <ul style="list-style-type: none"> - ASUS UEFI BIOS EZ Mode - USB 3.0 Boost - MemOK! - AI Suite II - Ai Charger <p>ASUS 静音サーマルソリューション:</p> <ul style="list-style-type: none"> - ASUSファンレス設計 - ASUS Fan Xpert+ <p>ASUS EZ DIY:</p> <ul style="list-style-type: none"> - USB BIOS Flashback - ASUS O.C. Profile - ASUS MyLogo 2 - Precision Tweaker 2 - ASUS CrashFree BIOS 3 - ASUS EZ Flash 2 - マルチランゲージBIOS <p>ASUS Q-Design:</p> <ul style="list-style-type: none"> - ASUS Q-Shield - ASUS Q-Slot - ASUS Q-DIMM - ASUS Q-LED (CPU、DRAM、VGA、Boot Device LED) - ASUS Q-Connector

(次項へ)

P9X79 仕様一覧

ASUSだけの オーバークロック機能	Precision Tweaker 2: <ul style="list-style-type: none"> - vCore: CPU電圧調節 (0.005V刻み) - vTTCPU: I/O電圧調節 (0.00625V刻み) - vCCSA: 255段階システムエージェント電圧コントロール - vDRAM Bus: 160段階メモリー電圧コントロール - vPCH: 96段階チップセット電圧コントロール - vCPU_PLL: 48段階 CPU & PCH PLL電圧コントロール SFS (Stepless Frequency Selection) : <ul style="list-style-type: none"> - BCLK/PEG 周波数: 80MHz ~ 300MHz (0.1MHz刻み) オーバークロック保護機能: <ul style="list-style-type: none"> - ASUS C.P.R. (CPU Parameter Recall)
バックパネル I/O ポート	PS/2 キーボード/マウスコンポート × 1 USB 3.0ポート × 4 (ブルー) USB 2.0ポート × 6 (ホワイトのポートはUSB BIOS Flashbackと兼用) IEEE 1394a ポート × 1 USB BIOS Flashback ボタン × 1 LAN (RJ-45) ポート × 1 光デジタルオーディオ出力ポート × 1 Power eSATA 6Gb/s ポート × 1 (グリーン) eSATA 6Gb/s ポート × 1 (レッド) 8チャンネルオーディオ I/O ポート × 1
内部 I/O コネクター	USB 2.0コネクター × 4: 追加USB ポート8基に対応 SATA 6Gb/s コネクター × 2 SATA 3Gb/s コネクター × 4 CPUファンコネクター × 1 (4ピン) CPUオプションファンコネクター × 1 (4ピン) ケースファンコネクター × 4 (4ピン) フロントパネルオーディオコネクター (AAFP) × 1 シリアルポートコネクター × 1 TPMコネクター × 1 デジタルオーディオ出力コネクター (S/PDIF) × 1 Clear CMOSジャンプスイッチ × 1 24ピンEATX電源コネクター × 1 8ピンEATX 12V電源コネクター × 1 システムパネルコネクター × 1 MemOK! ボタン × 1 EPUスイッチ × 1 TPUスイッチ × 1
UEFI BIOS機能	64 Mb Flash ROM、UEFI BIOS、PnP、DMI 2.0、WfM 2.0、 SM BIOS 2.6、ACPI 2.0a、マルチランゲージBIOS、 ASUS EZ Flash 2、ASUS CrashFree BIOS 3
マネージャビリティ	WfM 2.0、DMI 2.0、WOL by PME、WOR by PME、PXE
サポートDVD	ドライバー各種 ASUS ユーティリティ各種 ASUS Update アンチウイルスソフトウェア (OEM体験版)
フォームファクター	ATXフォームファクター: 30.5 cm × 24.4 cm (12インチ × 9.6インチ)

* 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

* EFI (UEFI) が従来のBIOSと同じ機能を持つことから、ASUSは「EFI (UEFI)」を「UEFI BIOS」、「BIOS」と表記します。

Chapter 1

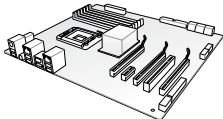

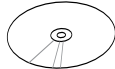
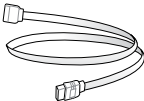
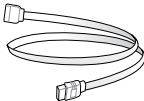
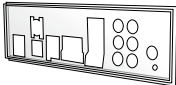


1.1 ようこそ

本マザーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本マザーボードは多くの新機能と最新のテクノロジーを提供するASUSの高品质マザーボードです。

マザーボードとハードウェアデバイスの取り付けを始める前に、以下のリストに従って部品がすべて揃っているかどうかを確認してください。

1.2 パッケージの内容

マザーボードパッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

		
ASUS P9X79 マザーボード	ユーザーマニュアル	サポートDVD
		
SATA 6Gb/s ケーブル×2	SATA 3Gb/s ケーブル×2	ASUS Q-Shield× 1
		
ASUS SLI™ ブリッジ コネクター× 1	2-in-1 ASUS Q-Connector キット× 1	



- 万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。
- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

1.3 独自機能

1.3.1 製品の特長

LGA2011 ソケット対応 2nd Generation Intel® Core™ i7 processor family

本マザーボードは LGA2011 パッケージの最新型 Intel® 2nd Generation Core™ i7 Processor family をサポートしています。このプロセッサは、4チャンネル(最大8枚)のDDR3メモリーと40レーンのPCI Express をサポートしており、メモリーコントローラーとPCI Express コントローラーをCPUに統合することによって、優れたグラフィックパフォーマンスを実現します。

LGA2011ソケット対応 2nd Generation Intel® Core™ i7 processor family は現在世界で最もパワフルで省電的なプロセッサです。

Intel® X79 Express チップセット

Intel® X79 Express チップセットは最新のシングルチップ・アーキテクチャーを採用し、最新の LGA2011 ソケット対応 2nd Generation Intel® Core™ i7 processor family をサポートしています。シリアルポイントツーポイント接続を使用することでパフォーマンスを大幅に向上させ、帯域の増加とより高い安定性を実現します。また、SATA 3GB/sの約2倍(理論値)の転送速度に対応した SATA 6Gb/sを2ポート、従来のSATA 3Gb/sを4ポートサポートします。

Quad-GPU SLI™/ Quad-GPU CrossFireX™ サポート

本マザーボードに搭載された Intel® X79 Express チップセットは、SLI™やCrossFireX™などのマルチGPU構成におけるPCI Expressの割り当てを最適化します。これにより、今まで経験したことのない素晴らしいゲームスタイルをお楽しみいただけます。

クアッドチャンネルDDR3 2400(O.C.)/2133(O.C.)/1866/1600/1333/1066 MHz サポート

本マザーボードはデータ転送率2400(O.C.)/2133(O.C.)/1866/1600/1333/1066 MHz メモリーをサポートし、最新の3Dゲーム、マルチメディア、インターネットアプリケーションといった高い帯域幅を必要とする用途での要件を満たします。クアッドチャンネルメモリーアーキテクチャは、システムメモリー帯域幅を拡大し、パフォーマンスを向上させます。

* DDR3 2200/2000/1800 MHz メモリーはデフォルトでDDR3 2133/1866/1600 MHz として動作します。

USB 3.0 サポート

USB 3.0は最新のUSB規格で、最大5Gbps(理論値)の転送速度に対応した周辺機器・デバイスを使用することができます。接続は従来のUSBと同じく非常に簡単で、転送速度は従来比の約10倍を実現し、USB 2.0/1.1 との下位互換性も確保されています。

PCIe 3.0 Ready

最新のPCI Express 規格PCI Express 3.0は、エンコード方式の改善などにより従来の約2倍のパフォーマンスを発揮します。x16リンクでの合計帯域幅は双方向で32GB/s となり、従来PCI Express 2.0の2倍の帯域幅となります。下位互換性を有したPCI Express 3.0 は、ユーザーに今までにない利便性の高い最高のパフォーマンスを提供します。また、高度なグラフィックスパフォーマンスや将来の拡張性を要求するユーザーにとって、なくてはならない最新のテクノロジーです。

* 本マザーボードはPCI Express 3.0(Gen3)をサポートしています。対応スロットにPCI Express 3.0規格準拠のデバイスを接続することで、デバイス本来の機能を最大限に発揮することができます。

1.3.2 Dual Intelligent Processors 3 with New DIGI+ Power Control

ASUSはマザーボードにおいて世界で初めて2つのオンボードチップ、EPU (Energy Processing Unit) とTPU (TurboV Processing Unit) を使用する、デュアル・インテリジェント・プロセッサーを採用しました。新型DIGI+ Power Control 採用の第三世代デュアル・インテリジェント・プロセッサーには、2つのデジタル電源制御モジュール (VRM) が搭載されています。この新しいデジタルコントローラーによってCPUの電圧コントロールに加え、メモリーを非常に細かく調整することが可能となりました。業界をリードするASUSのこの革新的な技術により、正確に電圧を調整することによって最高の安定性、パフォーマンス、電力効率を提供します。

新型DIGI+ Power Control

CPUとメモリーのための新型デジタル電源コントローラー

本マザーボードには、CPU電圧コントローラーに加え正確にメモリーを調整するためのDRAMコントローラーを含む、2つのデジタル電源制御モジュール (VRM) を搭載した新型DIGI+ Power Control が採用されています。この新しい技術により正確に電圧を調整することによって最高の安定性、パフォーマンス、電力効率を提供します。

最高レベルの電力効率と安定性

CPUから出力されるSVID信号 (デジタル電源信号) の要求に基づいてCPUとDRAMの電源制御を同時並行して処理することにより、効率的に電源供給を行います。正確な電源供給により、電力の浪費を防ぎCPUのVcore へ安定した電源供給を行います。

CPUとDRAMのオーバークロック範囲を拡大

プログラミング可能なデジタルコントローラーを搭載することで、様々な用途に合わせてCPUやDRAMのPWM電圧と周波数をUEFI BIOSまたはユーティリティによって調節することができます。CPUとDRAMのVCCSA電圧調整範囲、VCCSA電力供給をそれぞれ調整することによりシステムパフォーマンスを最大30%向上します。この設計 (特許取得済) によってパフォーマンスを最大限に引き出し、オーバークロックの可能範囲を広げます。

TPU

シンプルで使いやすいオンボードスイッチ、またはAI Suite II ユーティリティを使用してパフォーマンスを最大限に発揮することができます。TPUチップは、オートチューニングとTurbo V機能によって高精度な電圧制御と高度なモニタリング機能を提供します。オートチューニングは、誰でも簡単に、素早く自動で安定したクロックスピードへシステムを最適化します。TurboVは、多様な状況で最適なパフォーマンスを得るために、CPUの周波数や動作倍率などの高度な調整を自由に設定することができます。

EPU

シンプルで使いやすいオンボードスイッチ、またはAI Suite II ユーティリティによって世界初のPCのリアルタイム省電力機能を有効にすることができます。現在のPCの負荷状態を検出し、自動で効率よく電力消費を抑えることにより、システム全体のエネルギー効率を最適化します。また、この機能は適切な電源管理を行うことでファンのノイズを軽減し、コンポーネントの寿命を延ばします。

1.3.3 ASUSの独自機能

USB BIOS Flashback

USB BIOS Flashback はこれまでのBIOSツールとはまったく違う、とても便利なBIOS更新手段です。BIOSやOSを起動することなく、簡単にBIOSを更新することができます。特定のUSBポートにBIOSファイルを保存したUSBストレージを接続しBIOS Flashback ボタンを数秒間押すだけで、スタンバイ電源で自動的にBIOSの更新が実行されます。USB BIOS Flashback は、究極の利便性と安全性を提供します。

USB 3.0 Boost

ASUS USB 3.0 Boost は、新しいプロトコルUASP (USB Attached SCSI Protocol)をサポートします。USB 3.0 Boost によって、簡単にUSB 3.0 デバイスの転送速度を70%向上させることができます。ASUS独自の自動検出機能やユーザーフレンドリーなグラフィカルなインターフェースのユーティリティによって、USB 3.0 Boost Technology の素晴らしいパフォーマンスをお楽しみください。

AI Suite II

ASUS AI Suite IIは使いやすいユーザーインターフェースにより、オーバークロックや電源管理、ファンスピードの調節、電圧と温度センサーの表示、ステータスの読み込みといったASUS独自の各種ユーティリティの操作を簡単に行えます。また、このユーティリティ一つで各種操作が行えますので、複数のユーティリティを起動する煩わしさを解消します。

MemOK!

コンピュータのアップグレードで悩みの種になるのがメモリーの互換性ですが、MemOK!があればもう大丈夫です。スイッチを押すだけで、メモリーの互換問題を解決し、起動エラーを未然に防ぐことができ、システムが起動する確率を劇的に向上させることができます。

1.3.4 ASUS静音サーマルソリューション

ASUSファンレス設計

ASUSのスタイリッシュなファンレス設計は、静かなシステム環境のために最高の冷却性能を提供します。スタイリッシュな外観だけでなく効率的に熱交換を行うことで、チップセットと電源フェーズ周囲の温度を低く保ちます。機能性と美しさを兼ね備えたASUSファンレス設計は最高の静音環境と冷却性能を実現します。



マザーボードに取り付けられているヒートシンク、ヒートパイプは取り外さないでください。部品が破損、変形し放熱効果を低下させる原因となります。

ASUS Fan Xpert+

ASUS Fan Xpert+ は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンのスピードを調節することができます。予め準備されたプロファイルから設定を選択することにより、ファン速度を臨機応変にコントロールすることもできます。

1.3.5 ASUS EZ DIY

ASUS UEFI BIOS

ASUS のUEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースで、詳細設定モード (Advanced mode) と簡易設定モード (EZ mode) を切り替えて使用することができます。ASUS のUEFI BIOSは従来のMBR (Master Boot Record) に代わるGUID/パーティションテーブル (GPT) をサポートしているので、対応64bit オペレーティングシステム上で2.2TBを超える記憶装置の全領域を利用することができます。

※GPTと16byte CDB (64bit LBA) のサポートはOSにより異なります。

ASUSだけのインターフェース

EZ Mode は多くのユーザーが頻繁にアクセスする項目が表示されます。システムパフォーマンス設定の選択や、起動順序をドラッグ&ドロップで選択することができます。

Advanced Mode は従来のBIOSのような詳細な項目が表示され、CPUやメモリーの詳細設定など複雑なシステム設定を行うことができます。

簡単に迅速な情報収集

F12ファンクションキーを押すことによってUEFI BIOS画面のスクリーンショットを撮影し、オンボードUSBポートに接続したUSBメモリーに保存することができます。設定情報の共有やトラブルシューティングにご活用いただけます。

- F3ファンクションキーを押すことによって、ショートカットメニューを表示し頻繁にアクセスする項目に直接移動することができます。
- ASUS DRAM SPD (Serial Presence Detect) は、迅速且つ簡単にDRAMの状況をチェックする機能です。問題のあるメモリーを検知し、メモリーによるPOST問題を素早く解決に導きます。

ASUS Q-Design

ASUS Q-DesignはあなたのPC組み立て (DIY) をトータルサポートします。Q-LED、Q-Slot、Q-DIMMなど、DIY作業を単純化したデザインにより、自作の作業が簡単にスピーディーに行うことができます。

ASUS Q-Shield

ASUS Q-Shield は従来の「爪」をなくした設計で、取り付けが非常に簡単です。より優れた電気伝導率により、静電気と電磁波妨害によるダメージから大切なマザーボードを守ります。

ASUS Q-Connector

ASUS Q-Connectorはケースのフロントパネルケーブルを簡単に取り付け/取り外しできるようにします。この独自モジュールにより、ケーブルの取り付けミスや配線の煩わしさといった問題を取り除きました。

ASUS EZ-Flash 2

ASUS EZ-Flash 2はフロッピーの起動ディスクやOSベースのユーティリティを使用せずにUEFI BIOSを更新することができるユーザーフレンドリーなユーティリティです。

1.3.6 その他の特殊機能

Power eSATA 6Gb/s Ready

従来のeSATA (3Gb/s) に比べ、理論値で約2倍の転送速度を持つeSATA 6Gb/s デバイスに対応しています。Power eSATA対応なので、Power eSATAケーブルを接続することにより電源アダプターなどを接続することなくeSATA 6Gb/s デバイスを接続することが可能です。

*** Power eSATAを使用するには5V電源供給に対応したPower eSATA対応ケーブルが必要です。**

Power eSATA対応ケーブルは別途お問い合わせください。

DTS UltraPC II

DTS Surround Sensation UltraPC™なら、コンテンツがステレオでも、マルチチャンネルでも、今までにない3次元サラウンド効果を、ステレオスピーカーやヘッドフォンで楽しむことができます。DTS Surround Sensation UltraPC™によるサラウンド効果は、PCでは無理だと思っていた、クリアで広がりのあるサウンドを実現します。DTS Premium Suite™ は、PCの能力を引き出し、クリアで明瞭な、バランスのとれた質の高いサウンドを、どんなPCでも可能にします。

DTS Connect

DTS Connect は、DTS Neo: PC™ とDTS Interactive™ の2つのテクノロジーを組み合わせ、臨場感あるオーディオ体験を提供します。DTS Connect では、高度なアップミキシング技術を使用することにより、お気に入りのステレオ音楽やビデオをより良い音で楽しむことができます。また、DTS Connect により、多くのAV機器で使用可能な高品質デジタル・オーディオ接続で、PCをホームシアター・システムと接続することができます。

「**DTS Neo: PC™**」は、従来のステレオ音源 (CD、mp3、wma、インターネットFMラジオでさえも) を高品質な7.1チャンネルのサラウンド・サウンドにアップミックスするテクノロジーです。

「**DTS Interactive™**」は、あらゆるオーディオ・ソースをPC上でマルチチャンネルのDTSビットストリームにエンコーディングし、エンコードされたビットストリームを共通のデジタル・オーディオ接続 (S/PDIFまたはHDMI) から、DTS対応のホームシアター・システムで利用することができる技術です。オーディオ・ソースは、高品位な48kHzおよび1.5Mbps にトランスコードされます。

ErP Ready

本マザーボードは、European Union's Energy-related Products (ErP) 対応製品です。ErP対応製品は、エネルギー消費に関して、ある一定のエネルギー効率要件を満たしている必要があります。これはASUSの革新的製品設計で環境に優しい、エネルギー効率の良い製品を提供することで、二酸化炭素排出量を削減し、環境保護に努めるというASUSの企業理念と合致するものです。

2.1 始める前に

マザーボードのパーツの取り付けや設定変更の前は、次の事項に注意してください。



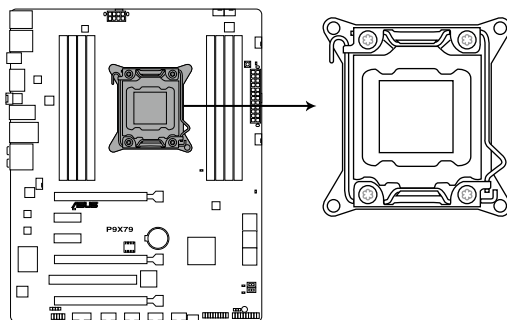
-
- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
 - IC部分には絶対に手を触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
 - 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置るか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
 - パーツの取り付け、取り外しを行う前に、ATX電源ユニットのスイッチをOFFの位置にし、電源コードが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。
-

レイアウトの内容

コネクタ/スイッチ/スロット		ページ
1.	DDR3 メモリスロット	2-5
2.	ATX電源コネクタ (24ピンEATXPWR、8ピンEATX12V)	2-30
3.	CPUソケット：LGA2011	2-4
4.	CPUファン、CPUオプションファン、ケースファンコネクタ (4ピンCPU_FAN、4ピンCPU_OPT、4ピンCHA_FAN1/2/3/4)	2-28
5.	MemOK! ボタン	2-17
6.	Intel® X79 SATA 6Gb/s コネクタ (7ピンSATA6G_1/2 [グレー])	2-23
7.	Intel® X79 SATA 3Gb/s コネクタ (7ピンSATA3G_3-6 [ブルー])	2-24
8.	TPUスイッチ	2-18
9.	EPUスイッチ	2-19
10.	スタンバイ電源 LED	2-20
11.	システムパネルコネクタ (20-8 ピンPANEL)	2-31
12.	Clear CMOSジャンパススイッチ(3ピン CLRTC)	2-22
13.	TPM コネクタ (20-1 ピン TPM)	2-26
14.	USB 2.0 コネクタ (10-1 ピンUSB78、USB910、USB1112、USB1314)	2-25
15.	シリアルポートコネクタ(10-1 ピン COM1)	2-26
16.	デジタルオーディオ出力コネクタ (S/PDIF) (4-1 ピンSPDIF_OUT)	2-27
17.	フロントパネルオーディオコネクタ(AAFP) (10-1 ピンAAFP)	2-29

2.2.2 CPU

本マザーボードには、2nd Generation Intel® Core™ i7 Processor family 用に設計されたLGA2011ソケットが搭載されています。



P9X79 CPU LGA2011



CPUを取り付ける際は、全ての電源ケーブルをコンセントから抜いてください。



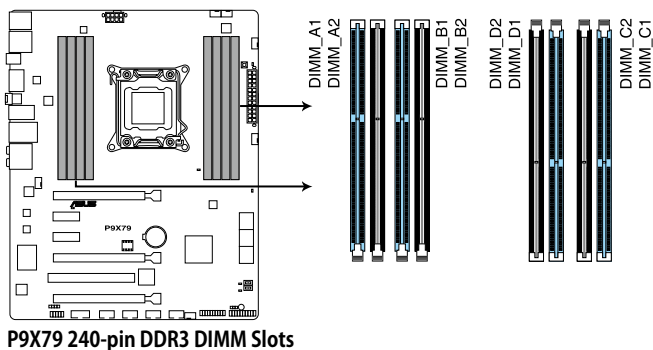
- マザーボードのご購入後すぐにソケットキャップがソケットに装着されていること、ソケットの接触部分が曲がっていないかを確認してください。ソケットキャップが装着されていない場合や、ソケットキャップ/ソケット接触部/マザーボードのコンポーネントに不足やダメージが見つかった場合は、すぐに販売店までご連絡ください。不足やダメージが出荷及び運送が原因の場合に限り、ASUSは修理費を負担いたします。
- マザーボードを取り付けた後も、ソケットキャップを保存してください。ASUSはこのソケットキャップが装着されている場合にのみ、RMA（保証サービス）を受け付けます。
- 製品保証は、CPUやソケットキャップの間違った取り付け・取り外しや、ソケットキャップの紛失に起因する故障及び不具合には適用されません。

2.2.3 システムメモリー

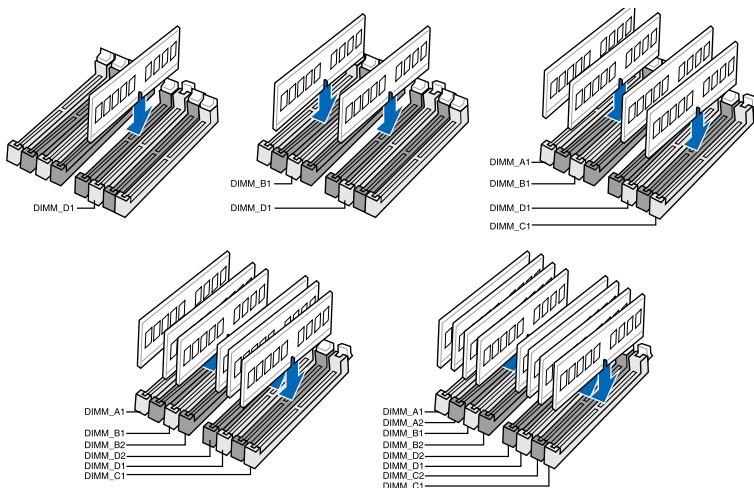
本製品には、DDR3 メモリーに対応したメモリスロットが8基搭載されています。



DDR3メモリーはDDR2メモリーと同様の大きさですが、DDR2メモリスロットに誤って取り付けることを防ぐため、ノッチの位置は異なります。



推奨メモリー構成



メモリー構成

1GB、2GB、4GB、8GBのNon-ECC、Unbufferd DDR3メモリーをメモリースロットに取り付けることができます。



- 容量の異なるメモリーをChannel A/B/C/Dに取り付けることができます。異なる容量のメモリーをデュアル/トリプル/クワッドチャンネル構成で取り付けした場合、アクセス領域はメモリー容量の少ないチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリーの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。
- DDR3 2200/2000/1800 MHz メモリーはデフォルトでDDR3 2133/1866/1600 MHz として動作します。
- 8GBのメモリーモジュールを合計8枚取り付けることで、最大64GBまでのメモリーをサポートします。
- 1.65Vを超過する電圧の必要なメモリーを取り付けるとCPUが損傷することがあります。1.65V未満の電圧を必要とするメモリーを取り付けることをお勧めします。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーのものを取り付けることをお勧めします。
- メモリーの割り当てに関する制限により、32bit Windows OSでは4GB以上のシステムメモリーを取り付けると、OSが実際に利用可能な物理メモリーは4GB未満となります。メモリーリソースを効果的にご使用いただくため、次のいずれかのメモリー構成をお勧めします。
 - Windows 32bit OSでは、4GB未満のシステムメモリー構成にする
 - 4GB以上のシステムメモリー構成では、64bit Windows OSをインストールする詳細はMicrosoft® のサポートサイトでご確認ください。
<http://support.microsoft.com/kb/929605/ja>
- 本マザーボードは512 Mb (64MB) 以下のチップで構成されたメモリーをサポートしていません。512 Mb 未満のメモリーチップを搭載したメモリーモジュールは動作保証致しかねます。(メモリーチップセットの容量はMegabitで表し、8 Megabit/Mb=1 Megabyte/MB)



- デフォルト設定のメモリー動作周波数はメモリーのSPDに依存します。デフォルト設定では、特定のメモリーはオーバークロックしてもメーカーが公表する値より低い値で動作する場合があります。メーカーが公表する値、またはそれ以上の周波数で動作させる場合は、「3.4 Ai Tweaker メニュー」を参照し手動設定してください。
- メモリーを8枚取り付ける付ける場合やメモリーをオーバークロックする場合は、それに対応可能な冷却システムが必要となります。

P9X79 マザーボードQVL (メモリー推奨ベンダーリスト) DDR3 2400 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリースロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
G.SKILL	F3-19200CL9D-4GBPS(XMP)	4G(2x2G)	DS	-	-	9-11-9-28	1.65	*	*		
Transcend	TX2400KLU-4GK (381850)(XMP)	2GB	DS	-	-	-	1.65	*	*	*	
Transcend	TX2400KLU-4GK(374243)(XMP)	2GB	DS	-	-	-	1.65	*	*		

DDR3 2250 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリースロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
KINGSTON	KHX2250C9D3T1K2/4GX(XMP)	4GB (2x2GB)	DS	-	-	-	1.65	*	*		

DDR3 2200 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリースロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
G.SKILL	F3-17600CL7D-4GBFLS(XMP)	4G(2x2G)	DS	-	-	7-10-10-28	1.65	*	*		
G.SKILL	F3-17600CL8D-4GBPS(XMP)	4GB (2x2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	*	*		
G.SKILL	F3-17600CL9D-4GBTDS(XMP)	4GB (2x2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	*	*		
GEIL	GET34GB2200C9DC(XMP)	4GB (2x2GB)	DS	-	-	9-10-9-28	1.65	*	*	*	*
GEIL	GET38GB2200C9ADC(XMP)	8GB (2x4GB)	DS	-	-	9-11-9-28	1.65	*	*	*	*
KINGMAX	FLKE85F-B8KHA(XMP)	4G(2x2G)	DS	-	-	-	1.5~1.7	*	*		
KINGMAX	FLKE85F-B8KJAA-FEIS(XMP)	4GB (2x GB)	DS	Kingmax	N/A	-	-	*	*		

DDR3 2200MHz メモリーはデフォルトでDDR3 2133MHzとして動作します。

DDR3 2133 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリースロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
A-DATA	8154A 1044(XMP)	2GB	SS	-	-	9-9-9-24	1.55-1.75	*	*	*	
A-DATA	AX3U2133C2G9B(XMP)	2GB	SS	-	-	9-11-9-27	1.55~1.75	*	*	*	*
A-DATA	AX3U2133G2G9B(XMP)	2GB	SS	-	-	9-9-9-24	1.55-1.75	*	*		
Apacer	78.BAGE4.AFD0C(XMP)	8GB (2x GB)	DS	-	-	9-9-9-24	-	*	*		
CORSAIR	CMT4GX3M2A2133C9(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9-10-9-24	1.65	*	*		
CORSAIR	CMT4GX3M2B2133C9 (Ver7.1)(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	*	*	*	
CORSAIR	CMT4GX3M2B2133C9(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9-10-9-27	1.5	*	*		
G.SKILL	F3-17066CL9D-8GBPID(XMP)	8GB (2x GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	*	*	*	
GEIL	GE34GB2133C9DC(XMP)	4GB (2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-28	1.65	*	*	*	

P9X79 マザーボードQVL（メモリー推奨ベンダーリスト） DDR3 2133 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
KINGSTON	KHX2133C9AD3T1K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	-	1.65	•			
KINGSTON	KHX2133C9AD3T1K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•		
KINGSTON	KHX2133C9AD3W1K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2133C9AD3X2K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2133C9AD3X2K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•		•	•
KINGSTON	KHX2133C9AD3T1FK4/ 8GX(XMP)	8GB (4x GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•	•	•

DDR3 2000 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
A-DATA	AX3U2000GB2G9B(XMP)	2GB	DS	-	-	9-11-9-27	1.55~1.75	•	•	•	•
A-DATA	AX3U2000GC4G9B(XMP)	4GB	DS	-	-	9-11-9-27	1.55~1.75	•	•		
Apacer	78.AAGD5.9KD(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-27	-	•	•	•	•
CORSAIR	CMT6GX3M3A2000C8(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	8-9-8-24	1.65	•	•	•	•
Crucial	BL12864BE2009.85FB3(EPP)	1GB	SS	-	-	9-9-9-28	2	•			
G.SKILL	F3-16000CL9D-4GBRH(XMP)	4GB (2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•		
G.SKILL	F3-16000CL9D-4GBTD(XMP)	4GB (2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•		
G.SKILL	F3-16000CL9T-6GBPS(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•			
GEIL	GUP34GB2000C9DC(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9-9-9-28	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2000C9AD3T1K3/ 3GX(XMP)	3GB (3x GB)	SS	-	-	-	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2000C9AD3T1K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2000C9AD3W1K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9	1.65	•			
KINGSTON	KHX2000C9AD3W1K2/ 4GX(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2000C9AD3T1K3/ 6GX(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2000C9AD3T1K3/ 6GX(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX2000C9AD3W1K3/ 6GX(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65	•			
Kingston	KHX2000C9AD3W1K3/ 6GX(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65	•			
OCZ	OCZ3B2000LV6GK	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	7-8-7	1.65	•			
Transcend	TX2000KLN-8GK (388375)(XMP)	4GB	DS	-	-	-	1.6	•	•	•	•
AEXEA	AXA3ES2G2000LG28V(XMP)	2GB	DS	-	-	-	1.65	•	•	•	•
Gingile	FA3URS5673A801A	2GB	DS	-	-	9-9-9-24	-	•	•	•	•
Patriot	PX7312G2000ELK(XMP)	12GB (3x GB)	DS	-	-	9-11-9-27	1.65			•	•
Patriot	PV736G2000ELK(XMP)	6GB (3 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.65	•	•	•	•

DDR3 2000MHzメモリーはデフォルトでDDR3 1866MHzとして動作します。

P9X79 マザーボードQVL (メモリー推奨ベンダーリスト) DDR3 1866 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
A-DATA	AX3U1866GC2G9B(XMP)	2GB	SS	-	-	9-11-9-27	1.55~1.75	•	•	•	•
A-DATA	AX3U1866GC4G9B(XMP)	4GB	DS	-	-	9-11-9-27	1.55~1.75	•	•	•	•
CORSAIR	CMZ8GX3M2A1866C9(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-27	1.5	•	•	•	•
G.SKILL	F3-14900CL9Q-16GBXL(XMP)	16GB (4x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-28	1.5	•	•	•	•
G.SKILL	F3-15000CL9D-4GBTD(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•	•	•
G.SKILL	F3-14900CL9D-8GB5R(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-28	1.5	•	•	•	•
G.SKILL	F3-14900CL9Q-8GBFLD(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.6	•	•	•	•
KINGSTON	KHX1866C9D3T1K3/3GX(XMP)	3GB (3x 1GB)	SS	-	-	-	1.65	•	•	•	•
KINGSTON	KHX1866C9D3T1K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65	•	•	•	•
OCZ	OCZ3G1866LV4GK	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	10-10-10	1.65	•	•	•	•
OCZ	OCZ3P1866C9LV6GK	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9	1.65	•	•	•	•
Super Talent	W1866UX2G8(XMP)	2GB(2 x 1GB)	SS	-	-	8-8-8-24	-	•	•	•	•
Patriot	PXD34G1866ELK(XMP)	4GB (2x 2GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•	•	•
Team	TXD32048M1866C9(XMP)	2GB	DS	Team	T3D1288RT-16	9-9-9-24	1.65	•	•	•	•

DDR3 1800 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
G.SKILL	F3-14400CL9D-4GBRL(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.6	•	•	•	•
KINGSTON	KHX1800C9D3T1K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65	•	•	•	•

DDR3 1800MHzメモリーはデフォルトでDDR3 1600MHzとして動作します。

DDR3 1600 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
A-DATA	AX3U1600XC2G79(XMP)	2GB	SS	-	-	9-9-9-24	1.6-1.8	•	•	•	•
A-DATA	AX3U1600GC4G9(XMP)	4GB	DS	-	-	-	1.55~1.75	•	•	•	•
A-DATA	AX3U1600PC4G8(XMP)	4GB	DS	-	-	8-8-8-24	1.55~1.75	•	•	•	•
CORSAIR	HX3X12G1600C9(XMP)	12GB (6x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.6	•	•	•	•
CORSAIR	CMZ16GX3M4A1600C9(XMP)	16GB (4x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•	•	•
CORSAIR	CMG4GX3M2A1600C6	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	6-6-6-18	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMD4GX3M2B1600C8	4GB(2x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMG4GX3M2A1600C6	4GB(2x 2GB)	DS	-	-	6-6-6-18	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMX4GX3M2A1600C8(XMP)	4GB(2x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMD4GX3M2A1600C8(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMG4GX3M2A1600C7(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMP6GX3M3A1600C8(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMP6GX3M3A1600C8(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMX6GX3M3A1600C9(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMX6GX3M3C1600C7(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	7-8-7-20	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	TR3X6G1600C8D(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65	•	•	•	•
CORSAIR	CMP8GX3M2A1600C9(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65	•	•	•	•

P9X79 マザーボードQVL (メモリー推奨ベンダーリスト) DDR3 1600 MHz (続き)

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップ NO.	タイミ ング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
CORSAIR	CMZ8GX3M2A1600C8(XMP)	8GB(2x 4GB)	D5	-	-	8-8-8-24	1.5	*	*		
CORSAIR	CMZ8GX3M2A1600C9(XMP)	8GB(2x 4GB)	D5	-	-	9-9-9-24	1.5	*	*	*	*
CORSAIR	CMD8GX3M4A1600C8(XMP)	8GB(4x 2GB)	D5	-	-	8-8-8-24	1.65	*	*		
Crucial	BL12864BN1608.8FF(XMP)	2GB(2x 1GB)	SS	-	-	8-8-8-24	1.65	*	*		
Crucial	BL25664BN1608.16FF(XMP)	2GB	D5	-	-	8-8-8-24	1.65	*	*		
Crucial	BL25664BN1608.16FF(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	8-8-8-24	1.65	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL7Q-16GBXH(XMP)	16GB(4x 4GB)	D5	-	-	7-8-7-24	1.6	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL9Q-16GBXL(XMP)	16GB(4x 4GB)	D5	-	-	9-9-9-24	1.5	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBRM(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	7-8-7-24	1.6	*	*		
G.SKILL	F3-12800CL8D-4GBRM(XMP)	4GB(2 x 2GB)	D5	-	-	8-8-8-24	1.6	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL9D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	D5	-	-	9-9-9-24	1.35	*	*		
G.SKILL	F3-12800CL7D-8GBRH(XMP)	8GB(2x 4GB)	D5	-	-	7-8-7-24	1.6	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL7D-8GBXH(XMP)	8GB(2x 4GB)	D5	-	-	7-8-7-24	1.6	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL9D-8GBRL(XMP)	8GB(2x 4GB)	D5	-	-	9-9-9-24	1.5	*	*		
G.SKILL	F3-12800CL9D-8GBSR2(XMP)	8GB(2x 4GB)	D5	-	-	9-9-9-24	1.25	*	*	*	*
G.SKILL	F3-12800CL8D-8GBECO(XMP)	8GB(2x4GB)	D5	-	-	8-8-8-24	1.35	*	*		
GEIL	GET316GB1600C9QC(XMP)	16GB(4x 4GB)	D5	-	-	9-9-9-28	1.6	*	*	*	*
GEIL	GUP34GB1600C7DC(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	7-7-7-24	1.6	*	*	*	*
KINGMAX	FLGD45F-B8MF7(XMP)	1GB	SS	-	-	-	-	*	*		
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/12GX(XMP)	12GB(3x 4GB)	D5	-	-	9	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3T1BK3/12GX(XMP)	12GB(3x 4GB)	D5	-	-	9	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/12GX(XMP)	12GB(3x 4GB)	D5	-	-	-	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3K6/24GX(XMP)	24GB(6x 4GB)	D5	-	-	9	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C7D3K2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	-	1.65	*	*		
KINGSTON	KHX1600C8D3K2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	8	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3B1K2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	9-9-9-24	1.65	*	*		
KINGSTON	KHX1600C9D3K2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	-	1.65	*	*		
KINGSTON	KHX1600C9D3K2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	-	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3LK2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	-	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3X1K2/4G	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	-	1.65	*	*		
KINGSTON	KHX1600C9D3X2K2/4GX(XMP)	4GB(2x 2GB)	D5	-	-	9	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/6GX(XMP)	6GB(3x 2GB)	D5	-	-	9	1.65	*	*	*	*

P9X79 マザーボードQVL (メモリー推奨ベンダーリスト)

DDR3 1600 MHz

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
KINGSTON	KHX1600C9D3T1BK3/ 6GX(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	9	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3T1K3/ 6GX(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	-	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3T1K3/ 6GX(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	9	1.65	*	*	*	*
KINGSTON	KHX1600C9D3P1K2/8G	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9	1.5	*			
OCZ	OCZ3G16004GK	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	8-8-8	1.7	*			
OCZ	OCZ3BE1600C8LV4GK	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	8-8-8	1.65	*	*		
OCZ	OCZ3OB1600LV4GK	4GB (2 x GB)	DS	-	-	9-9-9	1.65	*	*		
OCZ	OCZ3X1600LV4GK(XMP)	4GB (2 x GB)	DS	-	-	8-8-8	1.65	*			
OCZ	OCZ3G1600LV6GK	6GB (3 x GB)	DS	-	-	8-8-8	1.65	*			
OCZ	OCZ3X1600LV6GK(XMP)	6GB (3 x GB)	DS	-	-	8-8-8	1.65	*	*	*	*
OCZ	OCZ3X1600LV6GK(XMP)	6GB (3 x GB)	DS	-	-	8-8-8	1.65	*	*	*	*
Super Talent	WP160UX4G9(XMP)	4GB (2 x GB)	DS	-	-	9	-	*	*	*	*
Super Talent	WB160UX6G8(XMP)	6GB (3 x GB)	DS	-	-	-	-	*	*		
Super Talent	WB160UX6G8(XMP)	6GB (3 x GB)	DS	-	-	8	-	*	*		
Transcend	JM1600KLN-8GK	8GB	DS	Transcend	TK483PCW3	-	-	*	*	*	*
Asint	SLZ3128M8-EGJ1D(XMP)	2GB	DS	Asint	3128M8-GJ1D	-	-	*	*	*	*
EK Memory	EKM324L28BP8-I16(XMP)	4GB (2x GB)	DS	-	-	9	-	*	*		
EK Memory	EKM324L28BP8-I16(XMP)	4GB (2 x GB)	DS	-	-	9	-	*	*		
GoodRam	GR1600D364L9/2G	2GB	DS	GoodRam	GF1008KC-JN	-	-	*	*	*	*
KINGTIGER	KTG2G1600PG3(XMP)	2GB	DS	-	-	-	-	*	*	*	*
Mushkin	996805(XMP)	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	6-8-6-24	1.65	*	*	*	*
Mushkin	998805(XMP)	6GB (3x 2GB)	DS	-	-	6-8-6-24	1.65	*	*	*	*
Patriot	PX7312G1600LLK(XMP)	12GB (3x 4GB)	DS	-	-	8-9-8-24	1.65	*	*	*	*
Patriot	PGS34G1600LLKA2	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.7	*	*	*	*
Patriot	PGS34G1600LLKA	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.7	*	*		
PATRIOT	PGS34G1600LLKA	4GB (2 x GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.7	*			
Patriot	PXS38G1600LLK(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	8-9-8-24	1.65	*	*	*	*
Team	TXD31024M1600C8-D(XMP)	1GB	SS	Team	T3D1288RT-16	8-8-8-24	1.65	*	*	*	*
Team	TXD32048M1600C7-L(XMP)	2GB	DS	Team	T3D1288LT-16	7-7-7-24	1.65	*			
Team	TXD32048M1600HC8-D(XMP)	2GB	DS	Team	T3D1288RT-16	8-8-8-24	1.65	*	*	*	*

P9X79 マザーボードQVL（メモリー推奨ベンダーリスト） DDR3 1333 MHz（続き）

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/ DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
A-DATA	AD631I180823EV	2GB	SS	A-DATA	3CCA-1509A	-	-	•	•	•	
A-DATA	AXDU1333GC2G9(XMP)	2GB	SS	-	-	9-9-9-24	1.25~1.35	•	•	•	•
A-DATA	AD631I1C1624EV	4GB	DS	A-DATA	3CCA-1509A	-	-	•	•	•	•
A-DATA	SU3U1333W8G9(XMP)	8GB	DS	ELPIDA	J4208BASE-DJ-F	-	-	•	•	•	•
Apacer	78.01GC6.9L0	1GB	SS	Apacer	AM5D5808DEJSBG	9	-	•	•	•	•
Apacer	78.A1GC6.9L1	2GB	DS	Apacer	AM5D5808FEQS8G	9	-	•	•	•	•
Apacer	78.B1GDE.9L10C	4GB	DS	Apacer	AM5D5908CEHSBG	9	-	•	•	•	•
CORSAIR	TW3X4G1333C9A	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•			
CORSAIR	CMX8GX3M2A1333C9(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•		
CORSAIR	CMX8GX3M4A1333C9	8GB (4x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•		
Crucial	BL25664BN1337.16FF(XMP)	2GB	DS	-	-	7-7-7-24	1.65	•	•	•	
ELPIDA	EBJ10UE8BDF0-DJ-F	1GB	SS	ELPIDA	J1108BDSE-DJ-F	-	-	•	•	•	
ELPIDA	EBJ10UE8EDF0-DJ-F	1GB	SS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	-	•	•	•	•
ELPIDA	EBJ20UF8BFCF0-DJ-F	2GB	SS	Elpida	J2108BCSE-DJ-F	-	-	•	•	•	
ELPIDA	EBJ21UE8BDF0-DJ-F	2GB	DS	ELPIDA	J1108BDSE-DJ-F	-	-	•	•	•	
G.SKILL	F3-10600CL9D-4GBNT	4GB (2x 2GB)	DS	G.SKILL	D3 128M8CE9 2GB	9-9-9-24	1.5	•	•	•	
G.SKILL	F3-10666CL7D-4GBRH(XMP)	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-21	1.5	•	•		
G.SKILL	F3-10666CL8D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.35	•	•	•	
G.SKILL	F3-10666CL7D-8GBRH(XMP)	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	7-7-7-21	1.5		•		
G.SKILL	F3-10666CL9D-8GBRL	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•		
G.SKILL	F3-10666CL9D-8GBRL	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•		
G.SKILL	F3-10666CL9D-8GBXL	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•	•	•
GEIL	GG34GB1333C9DC	4GB (2x 2GB)	DS	GEIL	GL1L128M88BA115FW	9-9-9-24	1.3	•	•		
GEIL	GG34GB1333C9DC	4GB (2x 2GB)	DS	GEIL	GL1L128M88BA15B	9-9-9-24	1.3	•	•	•	
GEIL	GVP34GB1333C9DC	4GB (2x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•	•	
GEIL	GB34GB1333C7DC	4GB(2 x 2GB)	DS	GEIL	GL1L128M88BA15FW	7-7-7-24	1.5	•	•		
GEIL	GG34GB1333C9DC	4GB(2 x 2GB)	DS	GEIL	GL1L128M88BA12N	9-9-9-24	1.3	•	•	•	
GEIL	GVP38GB1333C9DC	8GB (2x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5	•	•	•	•
Hynix	HMT112U6TFR8A-H9	1GB	SS	Hynix	H5TC1G83TFR	-	-	•	•	•	
Hynix	HMT325U6BFR8C-H9	2GB	SS	Hynix	H5TQ2G83BFR	-	-	•	•	•	
Hynix	HMT125U6BFR8C-H9	2GB	DS	Hynix	H5TQ1G83BFRH9C	9	-	•	•	•	•
Hynix	HMT125U6TFR8A-H9	2GB	DS	Hynix	H5TC1G83TFR	-	-	•	•	•	
Hynix	HMT351U6BFR8C-H9	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83BFR	-	-	•	•	•	•
KINGMAX	FLFE85F-C8KL9	2GB	SS	KINGMAX	KFC8FN1XF-BXX-15A	-	-	•	•	•	
KINGMAX	FLFE85F-C8KM9	2GB	SS	Kingmax	KFC8FNMXF-BXX-15A	-	-	•	•	•	•
KINGMAX	FLFE85F-B8KL9	2GB	DS	KINGMAX	KFB8FN1XL-BNF-15A	-	-	•			
KINGMAX	FLFF65F-C8KL9	4GB	DS	KINGMAX	KFC8FN1XF-BXX-15A	-	-	•	•	•	•
KINGMAX	FLFF65F-C8KM9	4GB	DS	Kingmax	KFC8FNMXF-BXX-15A	-	-	•	•	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/1G	1GB	SS	Elpida	J1108BDSE-DJ-F	9	1.5	•	•	•	
KINGSTON	KVR1333D3S8N9/2G	2GB	SS	Micron	1FD77 D9LKG	-	1.5	•	•	•	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	Elpida	J1108BDBG-DJ-F	-	1.5				•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	Kingston	D1288JPNDPLD9U	9	1.5	•	•	•	

P9X79 マザーボードQVL (メモリー推奨ベンダーリスト) DDR3 1333 MHz (続き)

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
KINGSTON	KHX1333C9D3UK2/4GX(XMP)	4GB (2x 2GB)	D5	-	-	9	1.25	*	*	*	*
KINGSTON	KVR1333D3N9K2/4G	4GB (2x 2GB)	D5	KINGSTON	D1288JEMFPGD9U	-	1.5	*	*	*	*
KINGSTON	KVR1333D3E95/4G	4GB	D5	Elpida	J2108ECSE-DJ-F	9	1.5	*	*	*	*
MICRON	MT4JTF12864AZ-1G4D1	1GB	SS	Micron	D9LGQ	-	-	*	*	*	*
MICRON	MT8JTF25664AZ-1G4D1	2GB	SS	Micron	D9LGK	-	-	*	*	*	*
MICRON	MT8JTF25664AZ-1G4D1	2GB	SS	Micron	D9LGK	-	-	*	*	*	*
MICRON	MT8JTF25664AZ-1G4M1	2GB	SS	MICRON	D9PFJ	-	-	*	*	*	*
MICRON	MT16JTF51264AZ-1G4D1	4GB	D5	Micron	D9LGK	-	-	*	*	*	*
MICRON	MT16JTF51264AZ-1G4M1	4GB	D5	Micron	IGM22 D9PFJ	-	-	*	*	*	*
OCZ	OCZ3P1333LV3GK	3GB (3x 1GB)	SS	-	-	7-7-7	1.65	*	*	*	*
OCZ	OCZ3G1333LV4GK	4GB (2x 2GB)	D5	-	-	9-9-9	1.65	*	*	*	*
OCZ	OCZ3P1333LV4GK	4GB (2x 2GB)	D5	-	-	7-7-7	1.65	*	*	*	*
OCZ	OCZ3G1333LV8GK	8GB (2x 4GB)	D5	-	-	9-9-9	1.65	*	*	*	*
OCZ	OCZ3G1333LV8GK	8GB (2x 4GB)	D5	-	-	9-9-9	1.65	*	*	*	*
OCZ	OCZ3RPR1333C9LV8GK	8GB (2x 4GB)	D5	-	-	9-9-9	1.65	*	*	*	*
PSC	PC310600U-9-10-A0	1GB	SS	PSC	A3P1GF3FGF	-	-	*	*	*	*
PSC	PC310600U-9-10-B0	2GB	D5	PSC	A3P1GF3FGF	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B2873EH1-CH9	1GB	SS	SAMSUNG	K4B1G0846E	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B2873FH5-CH9	1GB	SS	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B5773DH0-CH9	2GB	SS	SAMSUNG	K4B2G08460	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B5673EH1-CH9	2GB	D5	SAMSUNG	K4B1G0846E	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B5673FH0-CH9	2GB	D5	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B5273BH1-CH9	4GB	D5	SAMSUNG	K4B2G0846B-HCH9	9	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B5273CH0-CH9	4GB	D5	SAMSUNG	K4B2G0846C	K4B2G0846C	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B5273DH0-CH9	4GB	D5	SAMSUNG	K4B2G08460	-	-	*	*	*	*
SAMSUNG	M378B1G73AH0-CH9	8GB	D5	SAMSUNG	K4B4G0846A-HCH9	-	-	*	*	*	*
SuperTalent	WT1333UX2G8(XMP)	2GB (2 x 1GB)	SS	-	-	8	1.8	*	*	*	*
Transcend	JM1333KLN-2G (582670)	2GB	SS	Micron	ICD77 C9LGK	-	-	*	*	*	*
Transcend	JM1333KLN-2G	2GB	SS	Transcend	TK483PCW3	-	-	*	*	*	*
Transcend	TS256MLK64V3N (585541)	2GB	SS	Micron	ICD77 D9LGK	9	-	*	*	*	*
Transcend	TS256MLK64V3N (566577)	2GB	SS	Hynix	H5TQ2G83BFR	9	-	*	*	*	*
Transcend	TS256MLK64V3N (574206)	2GB	SS	Micron	D9LGK	9	-	*	*	*	*
Transcend	JM1333KLN-4G (583782)	4GB	D5	Transcend	TK483PCW3	9	-	*	*	*	*
Transcend	JM1333KLN-4G	4GB	D5	Transcend	TK483PCW3	9-9-24	-	*	*	*	*
Transcend	TS512MLK64V3N (585538)	4GB	D5	Micron	IED27 D9LGK	9	-	*	*	*	*
Transcend	TS512MLK64V3N (389889)	4GB	D5	Hynix	H5TQ2G83BFR	9	-	*	*	*	*
Transcend	TS512MLK64V3N (574831)	4GB	D5	Micron	D9LGK	9	-	*	*	*	*

P9X79 マザーボードQVL（メモリー推奨ベンダーリスト） DDR3 1333 MHz（続き）

ベンダー	パーツ No.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロットサポート (オプション)			
								2枚	4枚	6枚	8枚
ACTICA	ACT1GHU6488F1333S	1GB	SS	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT1GHU72C8G1333S	1GB	SS	SAMSUNG	K4B1G0846F(ECC)	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT2GHU6488G1333M	2GB	DS	Micron	D9KPT	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT2GHU6488G1333S	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT2GHU72D8G1333M	2GB	DS	Micron	D9KPT(ECC)	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT2GHU72D8G1333S	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F(ECC)	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT4GHU6488H1333H	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83AFR	-	-	*	*	*	*
ACTICA	ACT4GHU72D8H1333H	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83AFR(ECC)	-	-	*	*	*	*
ATP	AQ36M72E8BJH9S	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F(ECC)	-	-	*	*	*	*
ATP	AQ12M72E8BKH9S	4GB	DS	SAMSUNG	K4B2G0846C(ECC)	-	-	*	*	*	*
BUFFALO	D3U1333-1G	1GB	SS	Elpida	J1108BFBG-DJ-F	-	-	*	*	*	*
BUFFALO	D3U1333-2G	2GB	DS	Elpida	J1108BFBG-DJ-F	-	-	*	*	*	*
BUFFALO	D3U1333-4G	4GB	DS	NANYA	NT5CB256M8BN-CG	-	-	*	*	*	*
EK Memory	EKM324L28BP8-I13	4GB (2 x 2GB)	DS	-	-	9	-	*	*	*	*
Elixir	M2F2G64C8887N-CG	2GB	SS	Elixir	N2CB2G808N-CG	-	-	*	*	*	*
Elixir	M2F2G64C8887N-CG	2GB	SS	Elixir	M2CB2G88DN-CG	-	-	*	*	*	*
Elixir	M2F2G64C8887N-CG	2GB	SS	Elixir	N2CB2G80GN-CG	-	-	*	*	*	*
Elixir	M2F4G64C88B5N-CG	4GB	DS	Elixir	N2CB2G808N-CG	-	-	*	*	*	*
Elixir	M2F4G64C88D5N-CG	4GB	DS	Elixir	M2CB2G88DN-CG	-	-	*	*	*	*
GoodRam	GR1333D364L9/2G	2GB	DS	Qimonda	ID9HG0A1FC13H	-	-	*	*	*	*
KINGTIGER	F10DA2T1680	2GB	DS	KINGTIGER	KTG133P51208N5T-C9	-	-	*	*	*	*
KINGTIGER	KTG2G1333PG3	2GB	DS	-	-	-	-	*	*	*	*
Patriot	PSD32G13332	2GB	DS	Patriot	PM128M8D3BU-15	9	-	*	*	*	*
Patriot	PG534G1333LLKA	4GB (2 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.7	*	*	*	*
RIDATA	C304627CB1AG22Fe	2GB	DS	RIDATA	C304627CB1AG22Fe	9	-	*	*	*	*
RIDATA	E304459CB1AG32CF	4GB	DS	RIDATA	E304459CB1AG32CF	9	-	*	*	*	*
Silicon Power	SP001GBLTE133501	1GB	SS	NANYA	NT5CB128M8AN-CG	-	-	*	*	*	*
Silicon Power	SP001GBLTU133501	1GB	SS	NANYA	NT5CB128M8AN-CG	-	-	*	*	*	*
Silicon Power	SP001GBLTU133502	1GB	SS	S-POWER	10YT3E5	9	-	*	*	*	*
Silicon Power	SP002GBLTE133501	2GB	DS	NANYA	NT5CB128M8AN-CG	-	-	*	*	*	*
Silicon Power	SP002GBLTU133502	2GB	DS	S-POWER	10YT3E0	9	-	*	*	*	*
Team	TXD31024M1333C7(XMP)	1GB	SS	Team	T3D1288LT-13	7-7-7-21	1.75	*	*	*	*
Team	TXD31048M1333C7-D(XMP)	1GB	SS	Team	T3D1288LT-13	7-7-7-21	1.75	*	*	*	*
Team	TXD32048M1333C7-D(XMP)	2GB	DS	Team	T3D1288LT-13	7-7-7-21	1.5-1.6	*	*	*	*
UMAX	E41302GP0-73BD8	2GB	DS	UMAX	U2524D30PT-13	-	-	*	*	*	*



- メモリーの割り当てに関する制限により、32bit Windows OSでは4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、OSが実際に利用可能な物理メモリーは4GB未満となります。メモリーリソースを効果的にご使用いただくため、Windows 32bit OSでは、4GB未満のシステムメモリー構成にすることをお勧めします。
- デフォルトのメモリー動作周波数はメモリーのSPDに依存します。デフォルト設定では、特定のメモリーはオーバークロックしてもメーカーが公表する値より低い値で動作する場合があります。



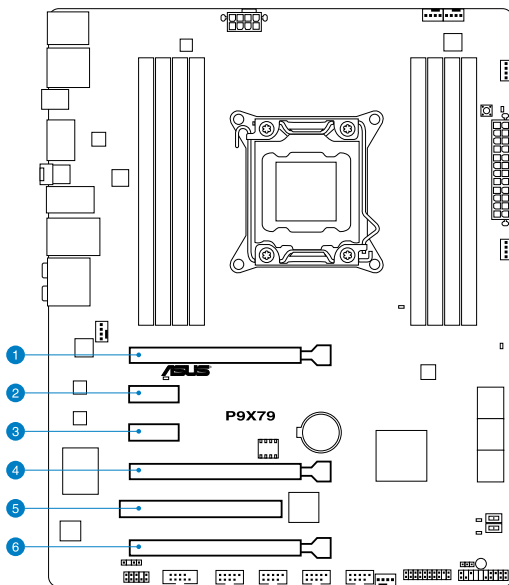
- Hyper DIMMのサポートはASUSのみです。
- Hyper DIMMのサポートはご利用になるCPU個々の物理的特性に依存します。また、Hyper DIMMを取り付ける場合は、UEFI BIOS Utilityで **[X.M.P.]** または **[D.O.C.P.]** 設定をロードしてください。
- 最新のQVLはASUSオフィシャルサイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

2.2.4

拡張スロット



拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷や、マザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。



スロットNo.	スロットの説明
1	PCIEX16_1 スロット(PCI Express 3.0対応)
2	PCIEX1_1 スロット
3	PCIEX1_2 スロット
4	PCIEX16_2 スロット(PCI Express 3.0対応)
5	PCI 1 スロット
6	PCIEX16_3 スロット(PCI Express 3.0対応)(@x8動作)

VGA構成	PCI Express 動作モード		
	PCIEX16_1	PCIEX16_2	PCIEX16_3
シングルVGA/PCIeカード	x16 シングルVGA 構成時推奨	-	-
デュアルVGA/PCIe カード	x16	x16	-



- パフォーマンスの観点からシングルVGAモードでは、PCI Express x16 ビデオカードを PCIEX16_1 スロット (ブルー) に取り付けることを推奨します。
- パフォーマンスの観点からCrossFireX™ またはSLI™では、PCI Express x16 ビデオカードを PCIEX16_1 スロットとPCIEX16_2 スロットに取り付けることを推奨します。
- CrossFireX™またはSLI™では、**十分な電源装置をご用意ください**。
- 複数のビデオカードを使用する場合は、熱管理の観点からケースファンをマザーボード コネクター CHA_FAN1に接続してください。(詳細は: ページ 2-28 参照)

本マザーボード用のIRQ割り当て

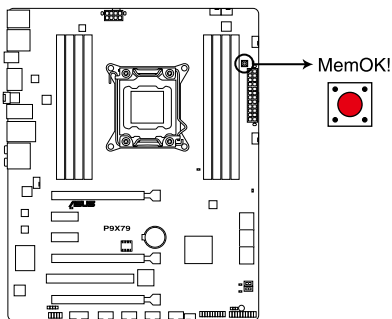
	A	B	C	D	E	F	G	H
PCIEX16_1	共有	-	-	-	-	-	-	-
PCIEX16_2	共有	-	-	-	-	-	-	-
PCIEX16_3	共有	-	-	-	-	-	-	-
PCIEX1_1	-	-	-	共有	-	-	-	-
PCIEX1_2	共有	-	-	-	-	-	-	-
PCI1	共有	-	-	-	-	-	-	-
USB 3.0 #1	-	共有	-	-	-	-	-	-
USB 3.0 #2	-	-	-	共有	-	-	-	-
ASM 1061 eSATA	共有	-	-	-	-	-	-	-
Intel LAN 82579V	-	-	共有	-	-	-	-	-
オンチップ USB1	-	-	-	-	-	-	-	共有
オンチップ USB2	-	-	-	-	-	-	-	共有
オンチップ SATA	-	-	-	-	共有	-	-	-
IEEE 1394	-	共有	-	-	-	-	-	-
HD オーディオ	-	-	-	-	-	-	共有	-

2.2.5 オンボードスイッチ

ベアシステムまたはオープンケースシステムでの作業中に、パフォーマンスを微調整することができます。このスイッチはシステムパフォーマンスを頻繁に変更するオーバークロックユーザー、ゲーマーに理想的なソリューションです。

1. MemOK! スイッチ

本マザーボードと互換性のないメモリーを取り付けると、システムが起動せず、このスイッチの側にあるDRAM_LEDが点灯します。DRAM_LEDが点滅するまでこのスイッチを押し続けると、互換性が調整され起動する確率が上がります。



P9X79 MemOK! switch



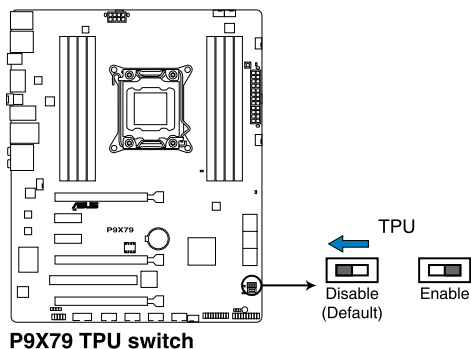
- DRAM_LEDの正確な位置は、セクション「**2.2.6 オンボードLED**」でご参照ください。
- DRAM_LEDはメモリーが正しく取り付けられていない場合にも点灯します。MemOK! 機能を利用する前にシステムの電源をOFFにし、メモリーが正しく取り付けられているか確認してください。
- MemOK! スイッチはWindows™ OS 環境では機能しません。
- 調整作業中は、システムはフェイルセーフメモリー設定をロードしテストを実行します。1つのフェイルセーフ設定のテストには約30秒かかります。テストに失敗した場合、システムは再起動し次のフェイルセーフ設定のテストを実行します。DRAM_LEDの点滅が速くなった場合は、異なるテストが実行されていることを示します。
- メモリー調整を行うため、各タイミング設定のテスト実行時にシステムは自動的に再起動します。なお、調整作業が終了しても取り付けたメモリーで起動しない場合は、DRAM_LEDが点灯し続けます。その場合はQVLに記載のメモリーをご使用ください。QVLは本書またはASUS公式サイトでご確認ください。
- 調整作業中にコンピューターの電源をOFFにする、またはメモリー交換するなどした場合、システム再起動後にメモリー調整作業を続行します。調整作業を終了するには、コンピューターの電源をOFFにし、電源コードを5秒から10秒取り外してください。
- UEFI BIOSでのオーバークロック設定によりシステムが起動しない場合は、MemOK! スイッチを押してシステムを起動しUEFI BIOSのデフォルト設定をロードしてください。POSTでUEFI BIOSがデフォルト設定に復元されたことが表示されます。
- MemOK! 機能をご利用の際は、事前にUEFI BIOSを最新バージョンに更新することをお勧めします。最新UEFI BIOSはASUS公式サイトにて公開しております。
(<http://www.asus.co.jp>)

2. TPUスイッチ

このスイッチを有効にすると、システムを自動的に高速で安定したクロックスピードへ最適化します。



システムパフォーマンスを最大限に発揮するためには、システム電源がOFFの時にスイッチのON/OFFを行うことを推奨します。



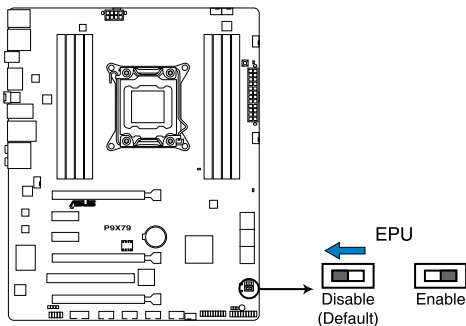
- スイッチの設定を有効にすると、TPUスイッチの側にあるTPU LED (O2LED2)が点灯します。TPU LEDの正確な位置は、セクション「**2.2.6 オンボードLED**」をご参照ください。
- システムが起動している状態でスイッチの設定を有効にすると、システムを次回起動した際にTPU機能が有効になります。
- TurboV EVOアプリケーションによるTurboV、Auto Tuning、UEFI BIOSによるオーバークロック、TPUスイッチ、これら機能は同時に設定を有効にすることが可能ですが、システムは最後に保存・適用された設定でのみ動作します。

3. EPUスイッチ

このスイッチを有効にすると、自動的にコンピューターの負荷を感知し、電力消費を抑えます。



システムパフォーマンスを最大限に発揮するためには、システム電源がOFFの時にスイッチのON/OFFを行うことを推奨します。



P9X79 EPU switch



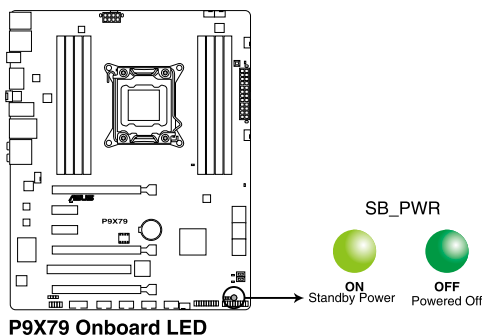
- スwitchの設定を有効にすると、EPUスイッチの側にあるEPU LED (O2LED3)が点灯します。EPU LEDの正確な位置は、セクション「**2.2.6 オンボードLED**」をご参照ください。
- システムが起動している状態でスイッチの設定を有効にすると、システムを次回起動した際にEPU機能が有効になります。
- ソフトウェアアプリケーション、UEFI BIOSによるオーバークロック、EPUスイッチ、これら機能は同時に有効に設定することは可能ですが、システムは最後に保存・適用された設定でのみ動作します。

2.2.6 オンボードLED

1. スタンバイ電源LED

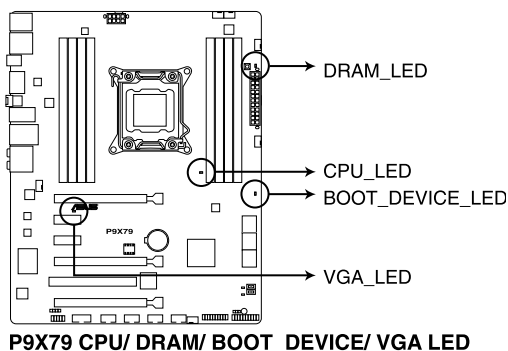
本マザーボードにはスタンバイ電源LEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します（スリープモード、ソフトオフモードも含む）。マザーボードに各パーツの取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし電源ケーブルを取り外してから実行してください。

下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。



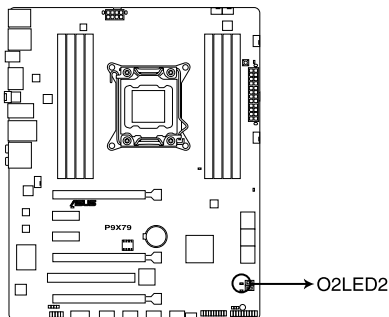
2. Q-LED

システムは起動時にPOST (Power-on Self Test) と呼ばれる動作チェックを実行します。Q-LEDはPOST時のキーコンポーネント状態をわかりやすく知らせます。Q-LEDはPOST時に順番で点滅し、キーコンポーネントに不具合が発見されるとエラーが見つかったデバイスのLEDを点灯させます。LEDが点灯している場合、システムは正常に動作することができません。Q-LEDは、素早くエラー箇所を発見することができる非常に便利な機能です。



3. TPU LED

TPUスイッチを有効にすると、TPU LED (O2LED2) が点灯します。



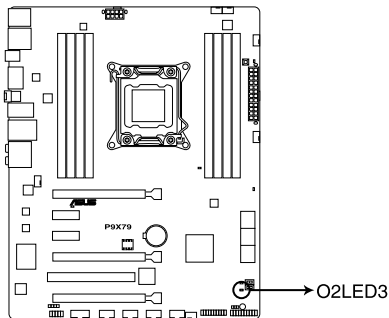
P9X79 TPU LED



- スイッチの設定を有効にすると、TPUスイッチの側にあるTPU LED (O2LED2) が点灯します。TPU LEDの正確な位置は、セクション「**2.2.6 オンボードLED**」をご参照ください。
- システムが起動している状態でスイッチの設定を有効にすると、システムを次回起動した際にTPU機能が有効になります。
- TurboV EVOアプリケーションによるTurboV、Auto Tuning、UEFI BIOSによるオーバークロック、TPUスイッチ、これら機能は同時に設定を有効にすることが可能ですが、システムは最後に保存・適用された設定でのみ動作します。

4. EPU LED

EPUスイッチを有効にすると、EPU LED (O2LED3) が点灯します。



P9X79 EPU LED

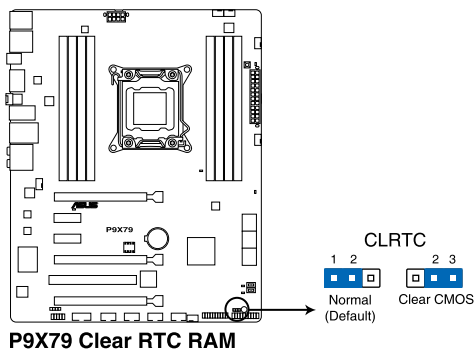


- スイッチの設定を有効にすると、EPUスイッチの側にあるEPU LED (O2LED3) が点灯します。EPU LEDの正確な位置は、セクション「**2.2.6 オンボードLED**」をご参照ください。
- システムが起動している状態でスイッチの設定を有効にすると、システムを次回起動した際にEPU機能が有効になります。
- ソフトウェアアプリケーション、UEFI BIOSによるオーバークロック、EPUスイッチ、これら機能は同時に有効に設定することは可能ですが、システムは最後に保存・適用された設定でのみ動作します。

2.2.7 ジャンパ

Clear CMOS ジャンパスイッチ (3ピン CLRRTC)

このジャンパは、CMOSのRTC (Real Time Clock) RAMデータをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン型電池により行われています。



RTC RAMをクリアする手順

1. コンピューターの電源をOFFにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. ジャンパをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
3. 電源コードを差し込み、コンピューターの電源をONにします。
4. 起動プロセスの間キーを押し、BIOS設定に入ったらデータを再入力します。



RTC RAMをクリアしている場合を除き、CLRRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。

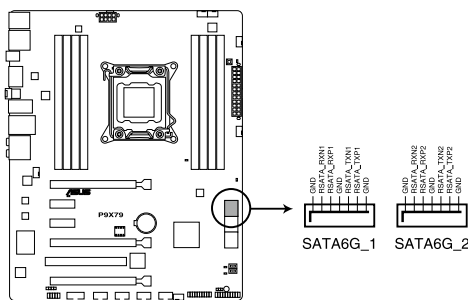


- 上記の手順を踏んでもRTC RAMがクリアできない場合は、マザーボードのボタン型電池を取り外し、ジャンパの設定を行ってください。なお、クリアが終了した後は、電池を元に戻してください。
- オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall) 機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、UEFI BIOSは自動的にパラメータ設定を初期設定値にリセットします。この場合、CMOSクリアの必要はありません。
- チップセットの制限により、C.P.R. 機能を有効にする前にAC電源をオフの状態にする必要があります。システムを再起動する前に、電源を一度オフにしてからオンにするか、電源コードを抜いてから再度接続してください。

2.2.8 内部コネクタ

1. Intel® X79 SATA 6Gb/s コネクタ (7ピン SATA6G_1/2 [グレー])

これらコネクタは SATA 6Gb/s ケーブルを使用し、SATA記憶装置を接続します。SATA記憶装置を取り付けると、オンボード Intel® X79 Express チップセットで、Intel® Rapid Storage Technology を使用し、RAID 0、1、5、10 設定を構築することができます。



P9X79 Intel® SATA 6.0 Gb/s connectors



- 光学ドライブはIntel® X79 SATAコネクタに接続することを推奨します。
- 仕様により、本製品はIntel® X79 Express チップセットによるWindows® XPの [AHCI/RAID] モードをサポートしていません。
- コネクタはデフォルト設定で [AHCI Mode] に設定されています。このコネクタで SATA RAIDを構築する場合は、UEFI BIOS Utility で「SATA Mode」を[RAID Mode] に設定してください。詳細はセクション「3.5.4 SATA設定」をご参照ください。
- SATA RAIDをご利用になる場合は、Windows® Vista およびそれ以降のOSをご使用ください。
- RAIDを構築する際は、本マニュアルのセクション「4.4 RAID」、またはマザーボードのサポートDVDに収録されているマニュアルをご参照ください。
- ホットプラグ機能とNCQを使用する場合は、UEFI BIOS Utility で「SATA Mode」を [AHCI Mode] または [RAID Mode] に設定してください。詳細はセクション「3.5.4 SATA設定」をご参照ください。

OSインストール時のご注意

Windows® XP

仕様により、本製品はIntel® X79 Express チップセットによるWindows® XPの [AHCI/RAID] モードをサポートしていません。Windows® XPをインストールする場合は、UEFI BIOS Utility で「SATA Mode」を [IDE Mode] に設定してからインストールを開始してください。

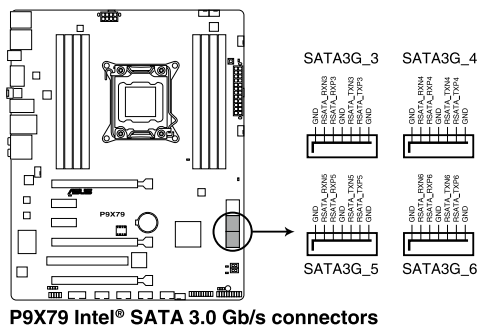
Windows® Vista/7 (32bit/64bit)

「SATA Mode」を [RAID Mode] に設定した場合、SATAインターフェースデバイスを認識させるためWindows® Vista/7 OSのインストール中に Intel® Rapid Storage Technology ドライバー (IRSTドライバー) を読み込む必要があります。OSのインストールを開始する前に別のコンピューターでサポートDVDに収録されているIRSTドライバーをUSBメモリーに保存し、OSインストール時にIRSTドライバーの保存されたUSBメモリーを接続しIRSTドライバーを読み込ませてください。

2. Intel® X79 SATA 3Gb/s コネクタ (7ピン SATA3G_3-6 [ブルー])

これらコネクタは SATA 3Gb/s ケーブルを使用し、SATA 3Gb/s 記憶装置と光学ディスクドライブを接続します。

SATA記憶装置を取り付けた場合は、Intel® Rapid Storage Technology 対応のオンボード Intel® X79 Express チップセットを使用して、RAID 0/1/5/10を構築することができます。



- 光学ドライブはIntel® X79 SATAコネクタに接続することを推奨します。
- 仕様により、本製品はIntel® X79 Express チップセットによるWindows® XPの [AHCI/RAID] モードをサポートしていません。
- コネクタはデフォルト設定で [AHCI Mode] に設定されています。このコネクタで SATA RAIDを構築する場合は、UEFI BIOS Utility で「SATA Mode」を [RAID Mode] に設定してください。詳細はセクション「3.5.4 SATA設定」をご参照ください。
- SATA RAIDをご利用になる場合は、Windows® Vista およびそれ以降のOSをご使用ください。
- RAIDを構築する際は、本マニュアルのセクション「4.4 RAID」、またはマザーボードのサポート DVDに収録されているマニュアルをご参照ください。
- ホットプラグ機能とNCQを使用する場合は、UEFI BIOS Utility で「SATA Mode」を [AHCI Mode] または [RAID Mode] に設定してください。詳細はセクション「3.5.4 SATA設定」をご参照ください。

OSインストール時のご注意

Windows® XP

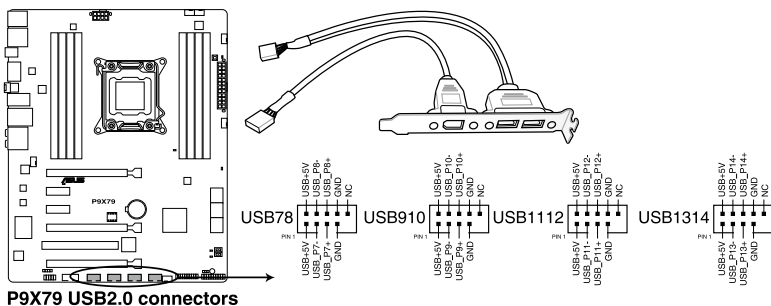
仕様により、本製品はIntel® X79 Express チップセットによるWindows® XPの [AHCI/RAID] モードをサポートしていません。Windows® XP をインストールする場合は、UEFI BIOS Utility で「SATA Mode」を [IDE Mode] に設定してからインストールを開始してください。

Windows® Vista/7 (32bit/64bit)

「SATA Mode」を [RAID Mode] に設定した場合、SATAインターフェースデバイスを認識させるためWindows® Vista/7 OSのインストール中に Intel® Rapid Storage Technology ドライバー (IRSTドライバー) を読み込む必要があります。OSのインストールを開始する前に別のコンピュータでサポート DVDに収録されているIRSTドライバーをUSBメモリーに保存し、OSインストール時にIRSTドライバーの保存されたUSBメモリーを接続しIRSTドライバーを読み込ませてください。

5. USB 2.0 コネクタ (10-1 ピン USB78;USB910;USB1112;USB1314)

USB 2.0 ポート用のコネクタです。USBケーブルをこれらのコネクタに接続します。このコネクタは最大 480 Mbps の接続速度を持つUSB 2.0 規格に準拠しています。



1394モジュールをUSBコネクタに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。



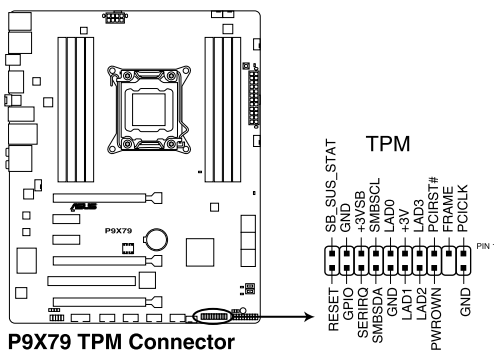
フロントパネルなどのUSBピンヘッダコネクタが個別に分かれている場合、USBピンヘッダコネクタをASUS Q-Connector (USB、ブルー) に接続することで脱着を容易にすることができます。



USB 2.0 モジュールは別途お買い求めください。

4. TPM コネクタ (20-1 ピン TPM)

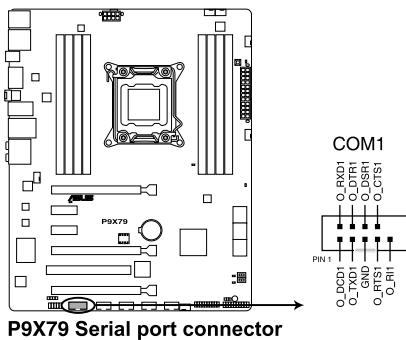
このコネクタはTPM(Trusted Platform Module)をサポートしています。TPMはプラットフォームの監視やデータの暗号化、電子証明書を保管といった高レベルなセキュリティ機能を備えています。



TPMモジュールは別途お買い求めください。

5. シリアルポートコネクタ (10-1 ピン COM1)

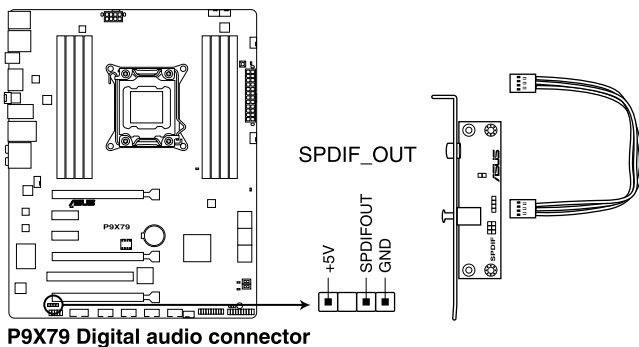
シリアル(COM)ポート用です。シリアルポートモジュールのケーブルを接続し、モジュールをバックパネルの任意のスロットに設置します。



シリアルポートモジュールは別途お買い求めください。

6. デジタルオーディオ出力コネクタ (4-1 ピン SPDIF_OUT)

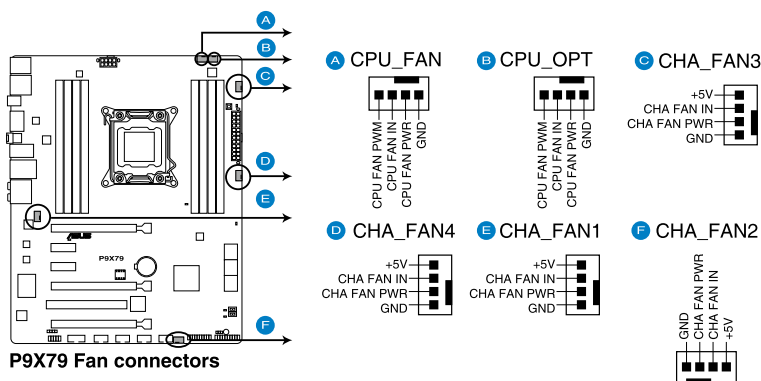
S/PDIFポート追加用のコネクタです。S/PDIF出力モジュールを接続します。S/PDIF出力モジュールケーブルをこのコネクタに接続し、PCケースの後方にあるスロットにモジュールを設置します。



S/PDIF出力モジュール、S/PDIF出力モジュールケーブルは別途お買い求めください。

7. CPUファン、CPU オプションファン、ケースファンコネクター (4ピン CPU_FAN、4ピン CPU_OPT、4ピン CHA_FAN1/2/3/4)

ファンケーブルをマザーボードのファンコネクターに接続し、各ケーブルの黒いワイヤーがコネクターのアースピン (GND) に接続されていることを確認します。



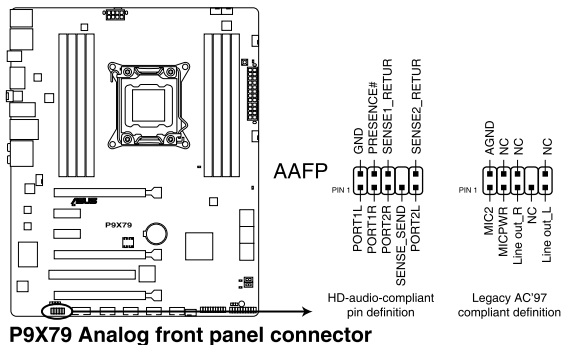
PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが損傷する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。また、吸/排気ファンの電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクターにジャンパキャップを取り付けないでください。



- CPU_FAN コネクターは、最大1A (12W) までのCPUファンをサポートします。
- CPU_FAN、CHA_FAN 1/2/3/4 コネクターのみが ASUS FAN Xpert+ 機能に対応しています。
- ビデオカードを2枚以上取り付ける場合は、システムの温度上昇を防ぐため、リアケースファンケーブルをマザーボード側の CHA_FANと表示のあるコネクターに接続することをお勧めします。

8. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1 ピン AAFP)

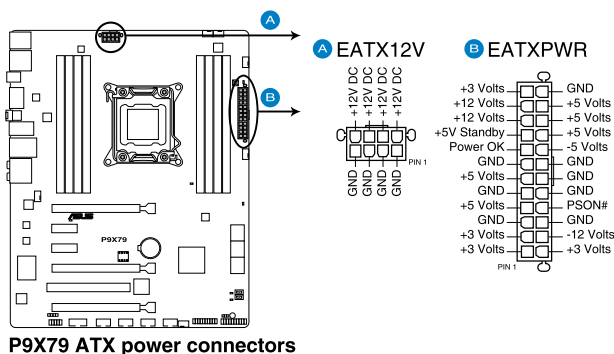
PCケースのフロントパネルオーディオI/Oモジュール用コネクタで、HDオーディオ及びAC'97オーディオをサポートしています。オーディオ I/Oモジュールケーブルの一方をこのコネクタに接続します。



- HDオーディオ機能を最大限に活用するため、HD フロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HDフロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、UEFI BIOSで「**Front Panel Type**」の項目を **[HD]** に設定します。AC'97フロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、この項目を **[AC97]** に設定します。デフォルト設定は **[HD]** に設定されています。

9. ATX 電源コネクタ (24ピン EATXPWR; 8ピン EATX12V)

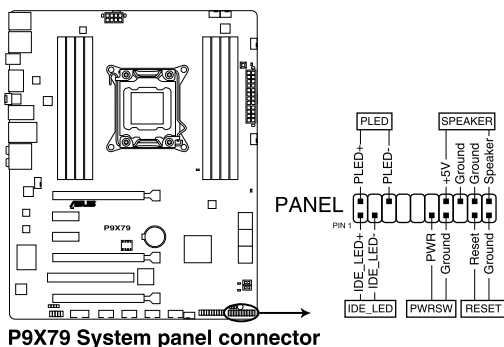
ATX 電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



- システムの快適なご利用のために、容量 450W以上のATX 12V Version2.0(またはそれ以降)規格の電源ユニットを使用することをお勧めします。
- 最小構成として[EATX12V]コネクタに4ピンのATX12Vコネクタを 1 基接続することでも動作します。
- CPUへの安定した電流を確保するために8ピンのEPS12Vコネクタを[EATX12V]に接続することを推奨します。8ピンのEPS12Vコネクタの有無は電源ユニットにより異なります。電源ユニットの仕様については、電源ユニット各メーカーまたは代理店にお問い合わせください。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。
- 2枚以上のハイエンドPCI Express x16カードを使用する場合は、システム安定のため、1000W以上の電源ユニットをご利用ください。
- システムに最低限必要な電源が分からない場合は、<http://support.asus.com/PowerSupplyCalculator/PSCalculator.aspx?SLanguage=ja-jp>の「電源用ワット数計算機」をご参照ください。

10. システムパネルコネクタ (20-8 ピン PANEL)

このコネクタはPCケースに付属する各機能に対応しています。



- **システム電源LED (2ピン PLED)**

システム電源LED用2ピンコネクタです。PCケース電源LEDケーブルを接続してください。システム電源LEDはシステムの電源をONにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **ハードディスクドライブアクティビティ LED (2ピン IDE_LED)**

ハードディスクドライブアクティビティLED用2ピンコネクタです。ハードディスクドライブアクティビティLEDケーブルを接続してください。ハードディスクアクティビティLEDは、データがハードディスクドライブと読み書きを行っているときに点灯するか点滅します。

- **ビープスピーカー (4ピン SPEAKER)**

システム警告スピーカー用4ピンコネクタです。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を発します。

- **ATX 電源ボタン/ソフトオフボタン (2ピン PWRSW)**

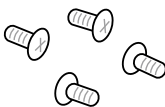


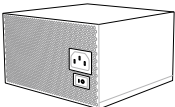
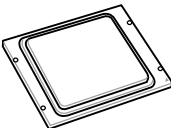
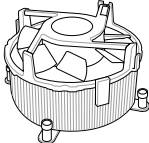
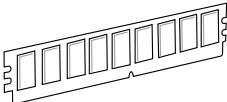
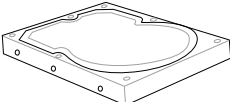
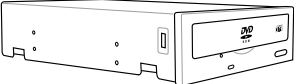
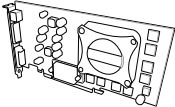
システムの電源ボタン用2ピンコネクタです。電源ボタンを押すとシステムの電源がONになります。OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にOFFになります。

- **リセットボタン (2ピン RESET)**

リセットボタン用2ピンコネクタです。システムの電源をOFFにせずにシステムを再起動します。

2.3 コンピューターシステムを構築する

2.3.1 PCシステムを構築するためのツールとコンポーネント

	
各種取付用ネジ	プラスドライバー
	
PCケース	電源ユニット
	
Intel LGA 2011 CPU	Intel LAG 2011対応CPUクーラー
	
メモリー	SATA記憶装置
	
SATA 光学ディスクドライブ	ビデオカード

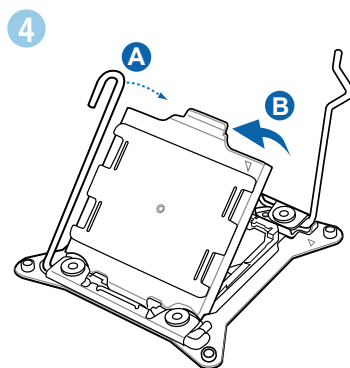
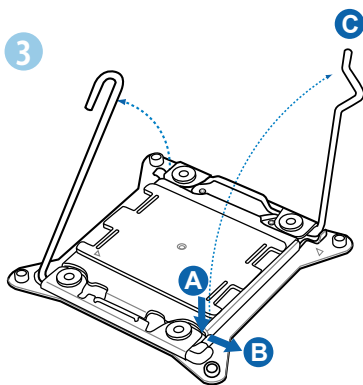
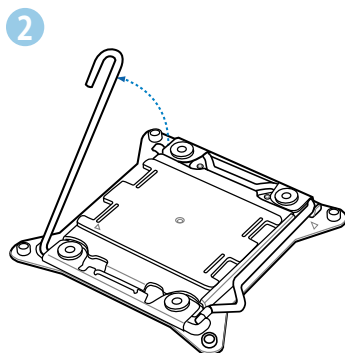
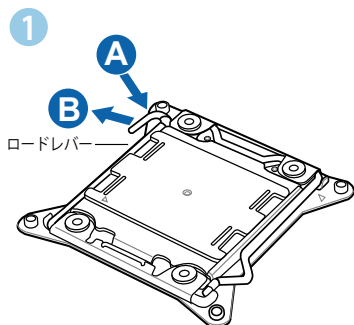


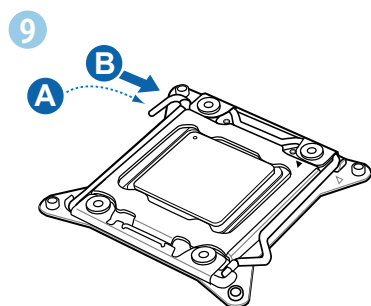
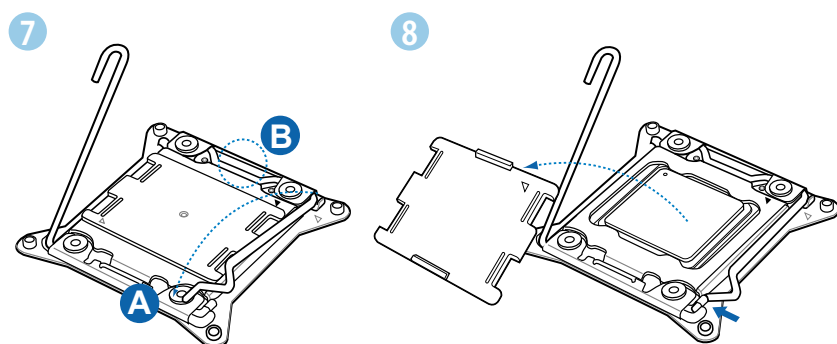
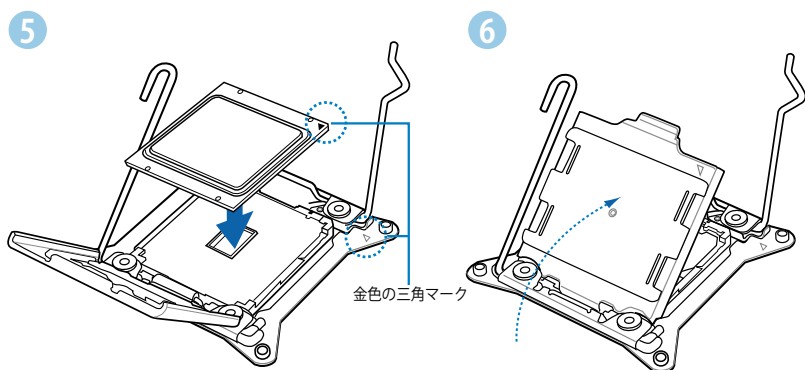
上記の工具、コンポーネントはマザーボードのパッケージには同梱されていません。

2.3.2 CPUの取り付け

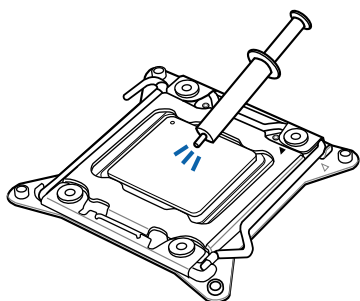


- CPUソケットのロードレバー開閉順に十分ご注意ください。
- 本マニュアルは参考用です。詳しい取り付け方法については、CPUに付属のマニュアルをご覧ください。
- ソケットキャップはCPUを取り付けロードプレート(金属のハッチ)を閉じ、ロードレバーを下げると自動的に外れます。



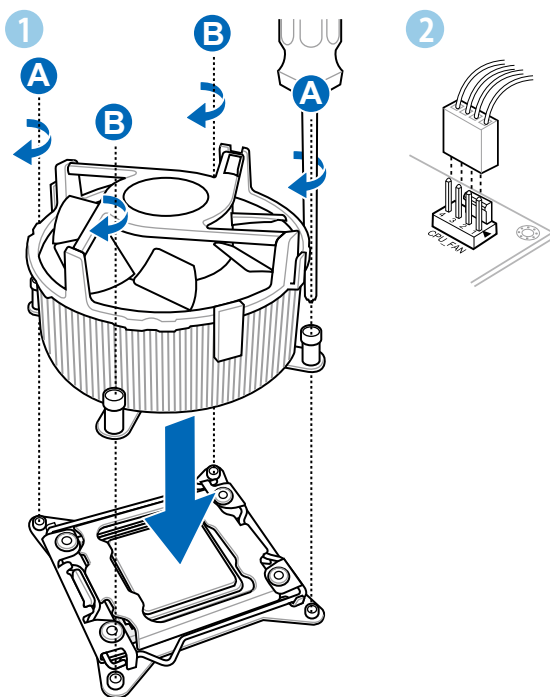


2.3.3 CPUクーラーを取り付ける



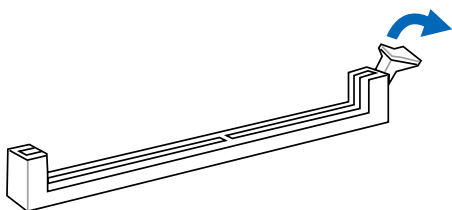
CPUクーラーを取り付ける前に、必ずCPUにサーマルグリス(シリコングリス)を塗布してください。CPUファンによって、サーマルグリスや熱伝導体シートなどが購入時からついているものもあります。

手順

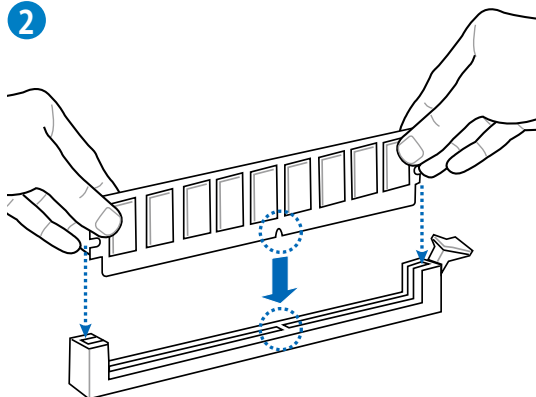


2.3.4 メモリーを取り付ける

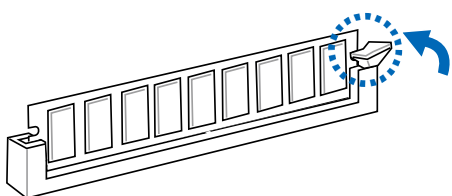
1



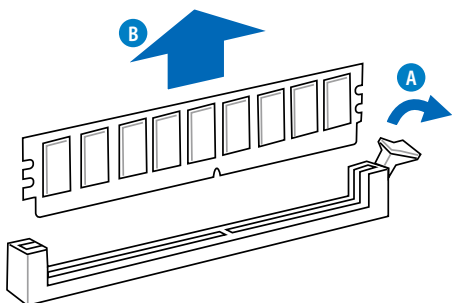
2



3



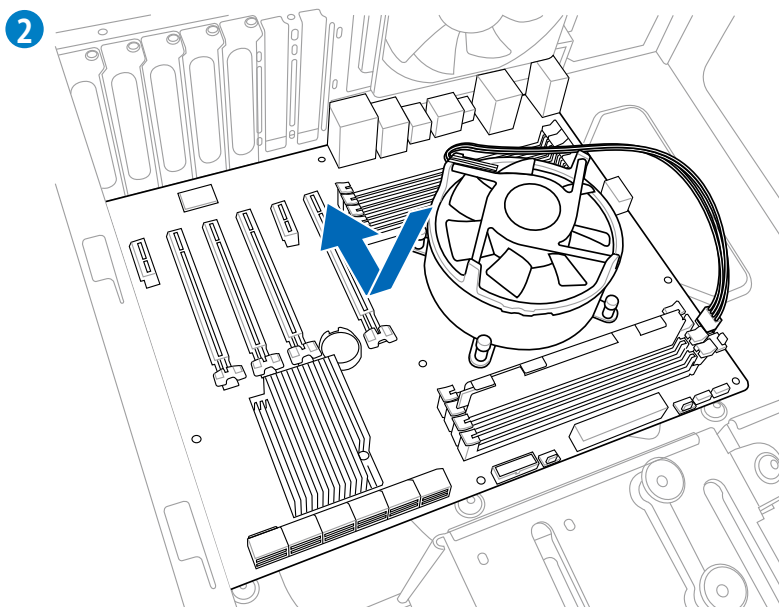
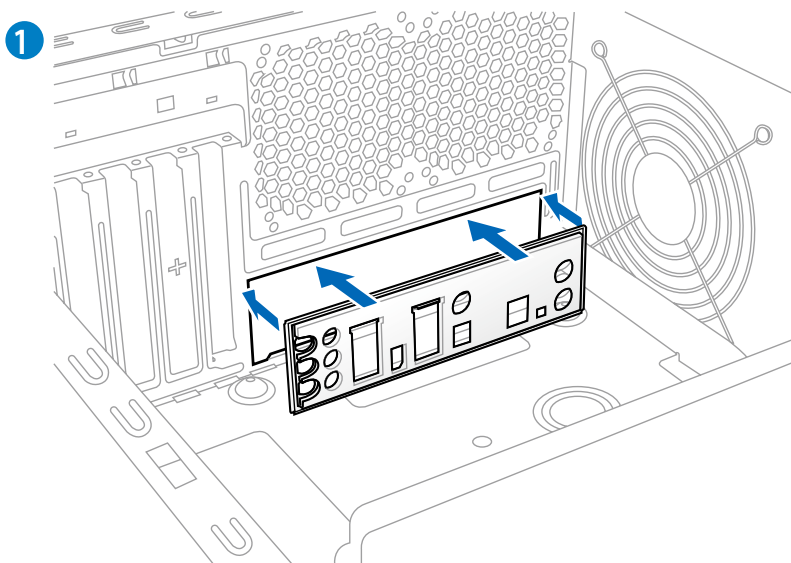
メモリーを取り外す



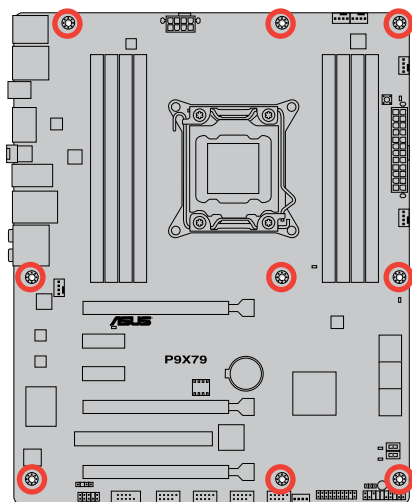
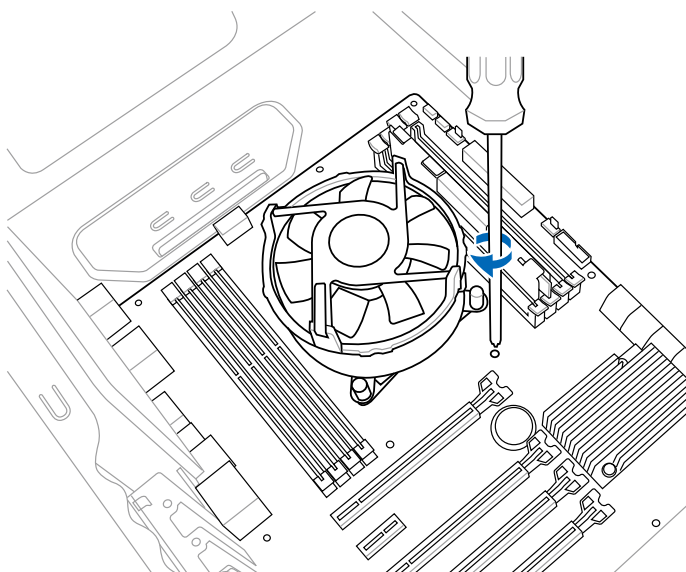
2.3.5 マザーボードを取り付ける



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。マザーボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、取り付け方法は同じです。



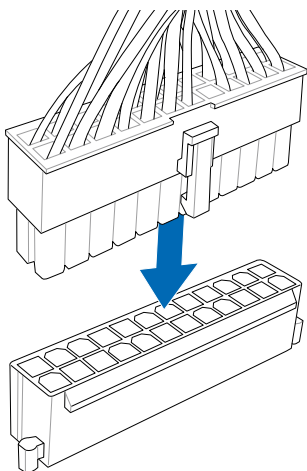
3



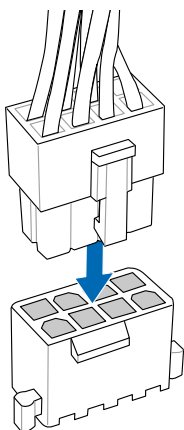
ネジはきつく締めすぎないように注意してください。

2.3.6 ATX電源接続

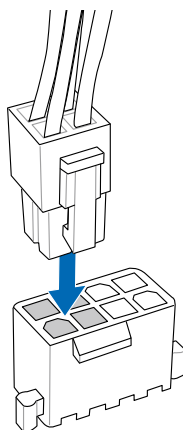
1



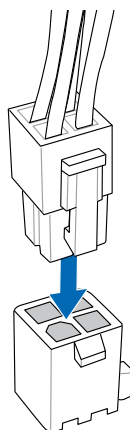
2



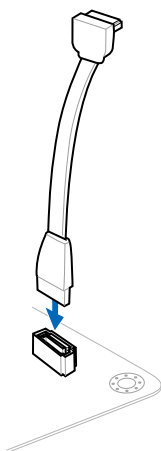
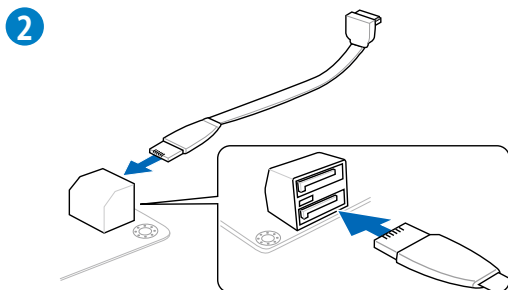
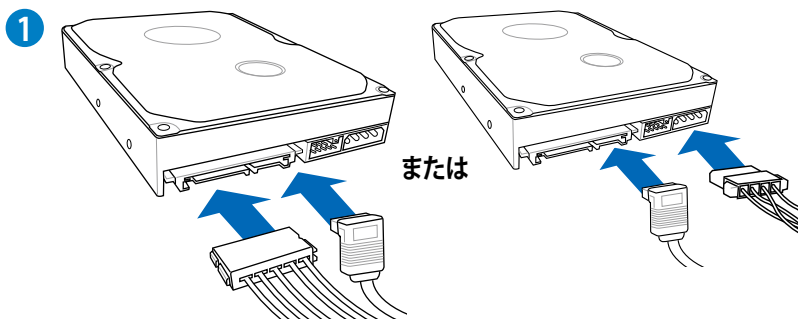
または



または

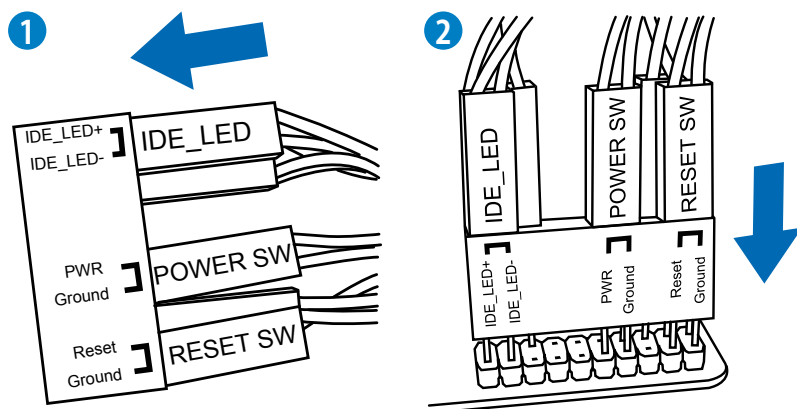


2.3.7 SATAデバイス接続

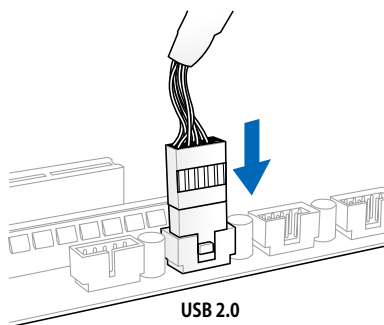


2.3.8 フロントI/O コネクター

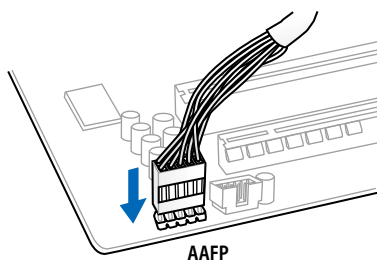
ASUS Q-Connectorを取り付ける



USB 2.0コネクターを取り付ける

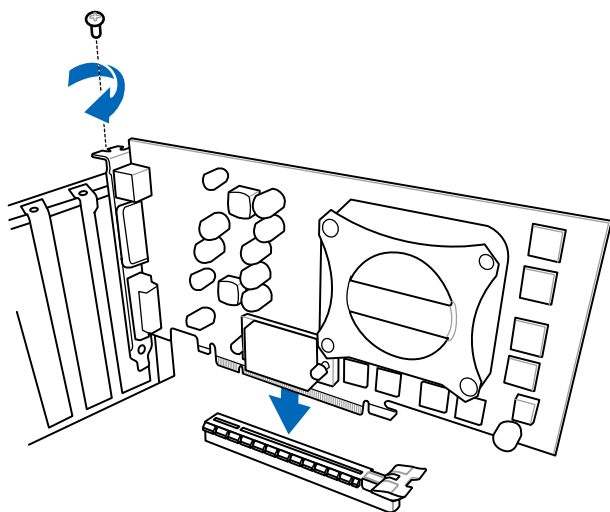


フロントパネルオーディオコネクターを取り付ける

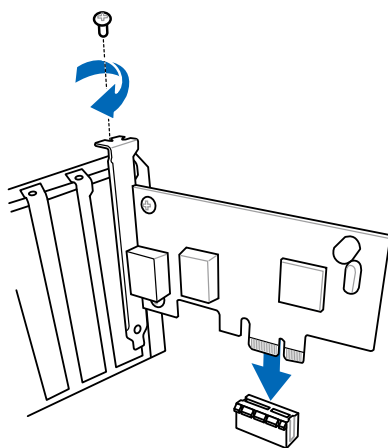


2.3.9 拡張カードを取り付け

PCI Express x16 カードを取り付ける

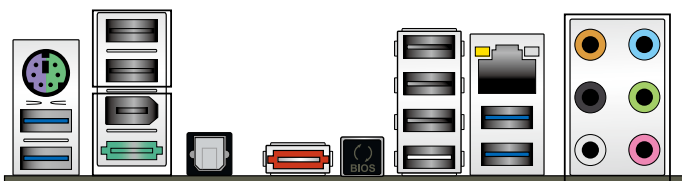


PCI Express x1カードを取り付ける



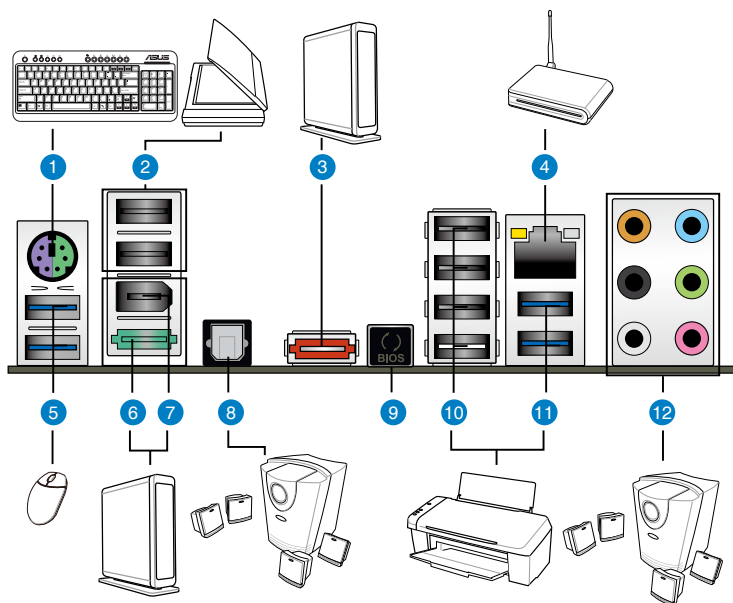
2.3.10 USB BIOS Flashback

1. ASUS公式サイト (<http://www.asus.com>) からBIOS ROMファイルをダウンロードし、USBメモリーに保存します。ROMファイル名を「P9X79.ROM」に変更します。
2. システム電源がOFF (S5) 状態であることを確認し、バックパネルのUSB 2.0ポート (ホワイト) にBIOS ROMファイルを保存したUSBメモリーを接続します。
3. USB BIOS Flashback ボタンをライトが点灯するまで約3秒間押し続けます。
4. USB BIOS Flashback ボタンが点滅し、USB BIOS Flashback が開始されます。進行状態はボタンの点滅で表され、進行状態に合わせてボタンの点滅間隔が早くなります。
5. USB BIOS Flashback 完了後、USB BIOS Flashback ボタンは消灯します。ボタンが完全に消灯したことを確認し、システムを起動してください。



BIOS更新中はシステムへの電源供給が途切れないよう、十分ご注意ください。BIOS更新中に電源供給が途切れると、BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。USB BIOS Flashback に伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

2.3.11 バックパネルコネクタ



バックパネルコネクタ

1. PS/2 キーボード/マウス コンボポート	7. IEEE 1394a ポート
2. USB 2.0 ポート 5/6	8. 光デジタルオーディオ出力ポート
3. eSATA 6Gb/s ポート	9. USB BIOS Flashback ボタン 内1基はUSB BIOS Flashbackと兼用(ホワイト)
4. Intel® LAN (RJ-45) ポート*	10. USB 2.0 ポート 1/2/3/4
5. USB 3.0 ポート 3/4	11. USB 3.0 ポート 1/2
6. Power eSATA 6Gb/s ポート	12. オーディオ I/O ポート**

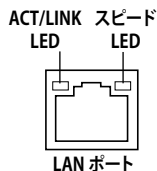
「*」、「**」: LANポートLEDの点灯内容とオーディオ I/O ポートの構成は次のページでご確認ください。



- eSATAポートにサポート外のコネクタを接続しないでください。
- USB 3.0 コントローラーの制限により、USB 3.0 デバイスは、Windows® OS 環境で、USB 3.0 ドライバーをインストールした場合のみ使用することができます。
- USB 3.0 デバイスをブートデバイスとして使用することはできません。
- USB 3.0 デバイスの優れたパフォーマンスを発揮するために、USB 3.0 デバイスはUSB 3.0 ポートに接続してください。
- eSATAのホットプラグ機能を有効にする場合は、UEFI BIOSの「**ASMedia® 1061 SATA controllers**」の項目を [Enabled] にし、マザーボードサポートDVDから **ASMedia® 1061 SATA controllers** をインストールしてください。
(詳細はセクション「3.5.6 オンボードデバイス設定構成」を参照)

* LANポートLED

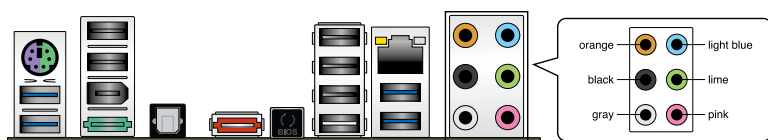
Activity Link LED		スピードLED	
状態	説明	状態	説明
OFF	リンクなし	OFF	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
点滅	データ送受信中	グリーン	1 Gbps



** オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	6チャンネル	8チャンネル
ライトブルー	ライン入力	ライン入力	ライン入力	ライン入力
ライム	ライン出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力	フロントスピーカー 出力
ピンク	マイク入力	マイク入力	マイク入力	マイク入力
オレンジ	-	-	センター/ サブウーファ	センター/ サブウーファ
ブラック	-	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
グレー	-	-	-	サイドスピーカー 出力

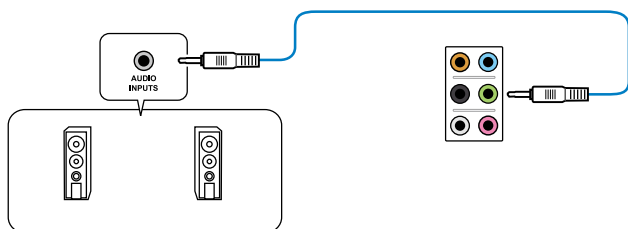
2.3.12 オーディオ I/O接続



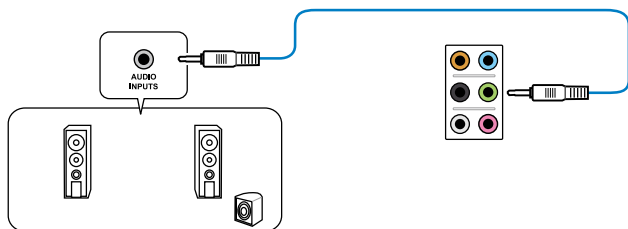
ヘッドホンとマイクを接続



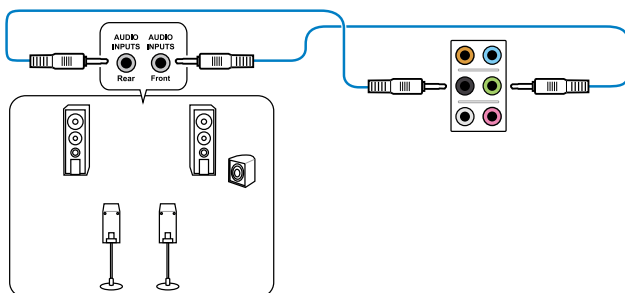
ステレオスピーカーに接続



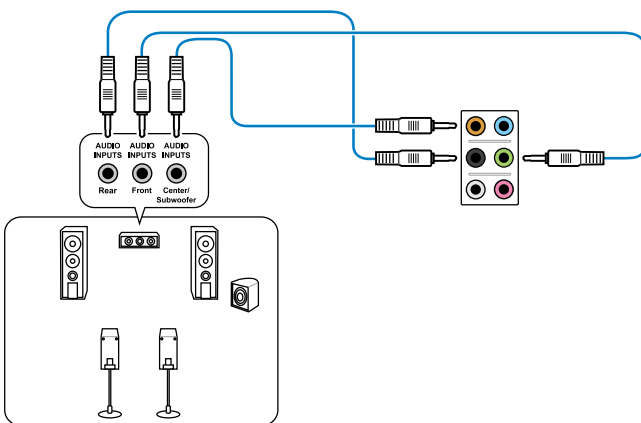
2.1チャンネルスピーカーに接続



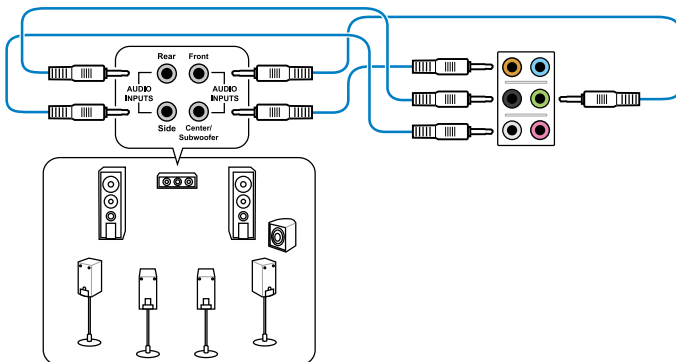
4.1チャンネルスピーカーに接続



5.1チャンネルスピーカーに接続



7.1チャンネルスピーカーに接続



DTS UltraPC II機能が有効のときは、バックパネルスピーカーをグレーのポートに接続してください。

2.4 初めて起動する

1. すべてのコンポーネントやデバイスの接続が終了したら、PCケースのカバーを元に戻してください。
2. すべてのスイッチをオフにしてください。
3. 電源コードをPCケース背面の電源ユニットのコネクタに接続します。
4. 電源コードをコンセントに接続します。
5. 以下の順番でデバイスの電源をオンにします。
 - a. モニター／ディスプレイ
 - b. 外部デバイス類(ダイジェチェーンの最後のデバイスから)
 - c. システム電源

6. ATX電源のスイッチをONにし、システムの電源をONにすると、通常PCケースのシステム電源LEDが点灯します。モニター／ディスプレイがスタンバイ状態をサポートしている場合は、システムの電源をONにすると同時にモニター／ディスプレイは自動的にスタンバイ状態から復帰します。

次にシステムは、起動時の自己診断テスト (POST) を実行します。テストを実行している間に問題が確認された場合は、BIOSがビーブ音を出すか、画面にメッセージが表示されます。システムの電源をONにしてから30秒以上経過しても画面に何も表示されない場合は、電源オンテストの失敗です。各コンポーネントの設置状態を確認してください。問題が解決されない場合は、販売店にお問い合わせください。

UEFI BIOS ビープ	説明
短いビープ 1 回	VGA 検出 キーボード未検出
長いビープ 1 回+短いビープ 2 回、 数秒後同じパターンで繰り返し	メモリー未検出時
長いビープ 1 回+短いビープ 3 回	VGA 未検出時
長いビープ 1 回+短いビープ 4 回	ハードウェアモニタリング エラー

7. システムの電源をONにした直後に、<Delete>キーを押すとUEFI BIOS Utility を起動します。BIOSの設定についてはChapter 3をご参照ください。

2.5 システムの電源をオフにする

OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。この機能は、OSやシステムがハングアップ(ロック)して、通常のシステム終了作業が行えない場合にのみご使用ください。強制終了は各コンポーネントに負担をかけます。万ーの場合を除き頻繁に強制終了をしないようご注意ください。

3.1 UEFIとは



ASUS UEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースです。OSを使用するのと同じくらい簡単に操作することができます。* EFI(UEFI)が従来のBIOSと同じ機能を持つことから、ASUSはEFI(UEFI)を「UEFI BIOS」、「BIOS」と表記します。

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) は、Intel 社が提唱している、従来パソコンのハードウェア制御を担ってきた BIOS に代わる、OS とファームウェアのインターフェース仕様です。UEFI は非常に高機能な最新のファームウェアで従来の BIOS と違い拡張性に富んでいます。UEFI の設定はマザーボードの RTC RAM (CMOS) に保存されています。通常、UEFI のデフォルト設定はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、**デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。**

- ・ システム起動中にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utility を起動するように指示があった場合
- ・ UEFI BIOS の設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合



不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。**設定を変更する際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを強くお勧めします。**

3.2 UEFI BIOS Utility

UEFI BIOS Utility は、UEFI BIOS の設定を変更するためのもので、コンピューターを起動するときに実行することができます。起動時の自己診断テスト (POST) の間に キーを押すと UEFI BIOS Utility が起動します。

POST 終了後に UEFI BIOS Utility を実行する場合は、<Ctrl + Alt + Del> を押すか、ケースのリセットボタンを押してシステムを再起動します。また、システムの電源を OFF にし、それからまた ON にすることによって再起動することもできます。ただし、この方法は最初の 2 つの方法が失敗した場合の最後の手段として行ってください。



- ・ 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。
- ・ マウスで UEFI BIOS Utility の操作を行う場合は、USB マウスをマザーボードに接続してからシステムの電源を ON にしてください。
- ・ 設定を変更した後システムが不安定になる場合は、デフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定に戻すには、終了メニューの下の「**Load Optimized Defaults**」を選択します。(詳細は「**3.9 終了メニュー**」参照)
- ・ 設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOS クリアを実行し、マザーボードのリセットを行ってください。Clear CMOS ジャンパスイッチの位置は「**2.2.7 ジャンパ**」をご参照ください。
- ・ UEFI BIOS Utility は Bluetooth デバイスには対応していません。

本マザーボードの UEFI BIOS Utility はどなたでも簡単に操作できるようにデザインされています。メニュー方式プログラムインターフェースを採用し、マウスでの操作が行えるより親しみやすく使いやすい ASUS 独自のグラフィカルな BIOS 設定ユーティリティです。

UEFI BIOS Utility には、**EZ Mode** と **Advanced Mode** の 2 つのモードがあります。モードの切り替えは、終了メニューから切り替えることが可能です。

3.2.1 EZ Mode

デフォルト設定では、UEFI BIOS Utilityを起動すると、EZ Mode 画面が表示されます。EZ Mode では、基本的なシステム情報の一覧が表示され、表示言語やシステムパフォーマンスモード、ブートデバイスの優先順位などが設定できます。Advanced Mode を開くには、「Exit/Advanced Mode」をボタンをクリックし、「Advanced Mode」を選択します。



UEFI BIOS Utility起動時に表示する画面は、変更可能です。詳細はセクション「3.7 ブートメニュー」の「Setup Mode」をご参照ください。

CPU/マザーボード温度、
CPU/5V/3.3V/12V電圧出力、
CPUファン/CPUオプションファン/ケースファンの
スピードを表示

UEFI BIOS Utilityでの
表示言語を選択

各ファンのスピードを表示

変更を保存せずにUEFI BIOS Utility終了、
変更を保存してシステムをリセット、
Advanced Modeを起動



ショートカットメニュー
の表示

ブートデバイスの優先順位
を選択

選択したモードのシステムバ
ロメータを右側に表示

Power Savingモード

Normalモード

デフォルト設定をロード

ASUS Optimalモード

ブートデバイスを選択



- ブートデバイスの優先順位のオプションは、取り付けたデバイスにより異なります。
- 「Boot Menu(F8)」ボタンは、ブートデバイスがシステムに取り付けられている場合のみ利用可能です。

3.2.2 Advanced Mode

Advanced Mode は上級者向けのモードで、各種詳細設定が可能です。下の図はAdvanced Mode の表示内容の一例です。各設定項目の詳細は、本マニュアル以降の記載をご参照ください。



EZ Mode を起動するには、「Exit」をクリックし、「ASUS EZ Mode」を選択します。



メニューバー

画面上部のメニューバーには次の項目があり、主な設定内容は以下のとおりです。

Main	基本システム設定の変更
Ai Tweaker	オーバークロックに関する設定の変更
Advanced	拡張システム設定の変更
Monitor	システム温度、電力の状態の表示、ファンの各設定の変更
Boot	システム起動設定の変更
Tool	独自機能の設定オプション
Exit	終了オプションとデフォルト設定のロード

メニュー

メニューバーの各項目を選択することにより、各項目に応じた設定メニューが表示されます。例えば、メニューバーで「Main」を選択すると、「Main」の設定メニューが画面に表示されます。

メニューバーのAi Tweaker、Advanced、Monitor、Boot、Tool、Exitにも、それぞれ設定メニューがあります。

Back ボタン

サブメニューの項目が開かれている場合にこのボタンが表示されます。マウスでこのボタンをクリックするか<Esc>キーを押すと、メインメニュー、または前の画面に戻ることができます。

サブメニュー

サブメニューが含まれる項目の前には、「>」マークが表示されます。サブメニューを表示するには、マウスで項目を選択するか、カーソルキーで項目を選択し、<Enter>キーを押します。

ポップアップウィンドウ

マウスで項目を選択するか、カーソルキーで項目を選択し、<Enter>キーを押すと、設定可能なオプションと共にポップアップウィンドウが表示されます。

スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されます。マウスやカーソルキー、または <Page Up>/<Page Down> キーで、画面をスクロールすることができます。

ナビゲーションキー

UEFI BIOSメニュー画面の右下には、メニューの操作をするためのナビゲーションキーが表示されています。表示されるナビゲーションキーに従って、各項目の設定を変更します。

ヘルプ

メニュー画面の右上には、選択した項目の簡単な説明が表示されます。

構成フィールド

構成フィールドには各項目の現在設定されている状態や数値が表示されます。ユーザーによる変更が可能でない項目は、選択することができません。

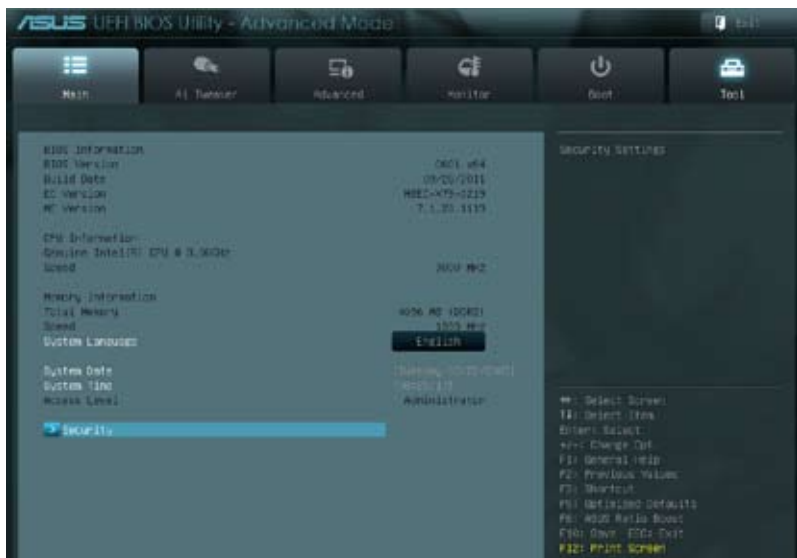
設定可能なフィールドは選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、そのフィールドをマウスで選択するか、表示されるナビゲーションキーに従い数値を変更し、<Enter>キーを押して決定します。



- ・<F12>キーを押してUEFI BIOS画面のスクリーンショットを撮影し、USBフラッシュメモリーに保存することができます。
- ・<F3>キーを押してショートカットメニューを開き、頻繁にアクセスする項目に簡単に移動することができます。

3.3 メインメニュー

UEFI BIOS Utility の Advanced Mode を起動するとメインメニューでは基本的なシステム情報が表示され、システムの日付、時間、言語、セキュリティの設定が可能です。



セキュリティ

システムセキュリティ設定の変更が可能です。



- パスワードを忘れた場合、CMOSクリアを実行しパスワードを削除します。Clear CMOSジャンプスイッチの位置はセクション「2.2.7 ジャンプ」をご参照ください。
- パスワードを削除すると、画面上の「Administrator」または「User Password」の項目にはデフォルト設定の「Not Installed」と表示されます。パスワードを再び設定すると、「Installed」と表示されます。

Administrator Password

管理者パスワードを設定した場合は、システムにアクセスする際に管理者パスワードの入力を要求するように設定することをお勧めします。

管理者パスワードの設定手順

1. 「**Administrator Password**」を選択します。
2. 「**Create New Password**」ボックスにパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

管理者パスワードの変更手順

1. 「**Administrator Password**」を選択します。
2. 「**Enter Current Password**」ボックスに現在のパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**Create New Password**」ボックスに新しいパスワードを入力し、<Enter>を押します。
4. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

管理者パスワードの消去も、管理者パスワードの変更時と同じ手順で行いますが、パスワードの作成/確認を要求された後、なにも入力せずに<Enter>を押します。パスワード消去後は、「**Administrator Password**」の項目は「**Not Installed**」と表示されます。

User Password

ユーザーパスワードを設定した場合、システムにアクセスするときにユーザーパスワードを入力する必要があります。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「**User Password**」を選択します。
2. 「**Create New Password**」にパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

ユーザーパスワードの変更手順

1. 「**User Password**」を選択し、<Enter>を選択します。
2. 「**Enter Current Password**」に現在のパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**Create New Password**」に新しいパスワードを入力し、<Enter>を押します。
4. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

ユーザーパスワードの消去も、ユーザーパスワードの変更時と同じ手順で行いますが、パスワードの作成/確認を要求された後、なにも入力せずに<Enter>を押します。パスワード消去後は、「**User Password**」の項目は「**Not Installed**」と表示されます。

3.4 Ai Tweakerメニュー

オーバークロックに関連する設定を行います。



Ai Tweaker メニューで設定値を変更する際はご注意ください。不正な値の設定はシステム誤作動の原因となります。



このセクションの設定オプションは取り付けたCPUとメモリーにより異なります。



画面を上下方向にスクロールさせると、画面内に収まっていない項目を表示させることができます。





Ai Overclock Tuner [Auto]

オーバークロックオプションを選択して、CPUやメモリーの動作周波数を設定することができます。オプションは以下のとおりです。

- [Auto] システムに最適な設定をロードします。
- [Manual] オーバークロックの値を手動で設定します。
- [X.M.P.] eXtreme Memory Profile (X.M.P.) に対応するメモリーモジュールを取り付けた場合、最適なシステムパフォーマンスを得るために、この項目でご使用のメモリーモジュールがサポートするプロファイルを選択し設定してください。



次の3項目は「**Ai Overclocking Tuner**」を [Manual] にすると表示されます。

BCLK Frequency [XXX]

ベースクロックを調節し、システムパフォーマンスを強化します。数値の調節は <+> <-> キーで行います。または数字キーで直接入力します。
設定範囲は 80.0MHz ~ 300.0MHz です。

CPU Strap [Auto]

設定オプション: [Auto] [100MHz] [125MHz] [166MHz] [250MHz]

ClockGen Full Reset [Enabled]

[Enabled] オーバークロック性能を向上させます。

[Disabled] ベースクロック調整時のシステムシャットダウンをスキップします。

Turbo Ratio [Auto]

Turbo Boost の動作倍率を設定します。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| [Auto] | 全てのTurbo Ratioは Intel CPUデフォルト値に設定されます。 |
| [By ALL Cores (Can Adjust in OS)] | 全てのコアの動作倍率をまとめて設定します。 |
| [By Per Core (Cannot Adjust in OS)] | 各コアの動作倍率を個別に設定します。 |

CPU Clock Gen Filter [Auto]

設定オプション:[Auto] [Enabled] [Disabled]

Memory Frequency [Auto]

メモリーの動作周波数を設定します。

設定オプション:[Auto] [DDR3-800MHz] [DDR3-1066MHz] [DDR3_1333MHz]
[DDR3-1600MHz] [DDR3-1866MHz] [DDR3_2133MHz] [DDR3_2400MHz]
[DDR3_2666MHz]



メモリー周波数の設定値が高すぎると、システムが不安定になる場合があります。不安定になった場合は、設定をデフォルト設定値に戻してください。

EPU Power Saving Mode [Disabled]

EPU省電力機能の有効/無効を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

EPU Setting [Auto]

この項目は「**EPU Power Saving MODE**」を有効にすると表示され、EPU省電力モードを選択できます。

設定オプション:[Auto] [Light Power Saving Mode] [Medium Power Saving Mode]
[Max Power Saving Mode]

OC Tuner

OC Tuner はメモリーとCPUの電圧と周波数を自動的に調整し、システムパフォーマンスを強化します。

設定オプション:[OK] [Cancel]

3.4.1 DRAM Timing Control

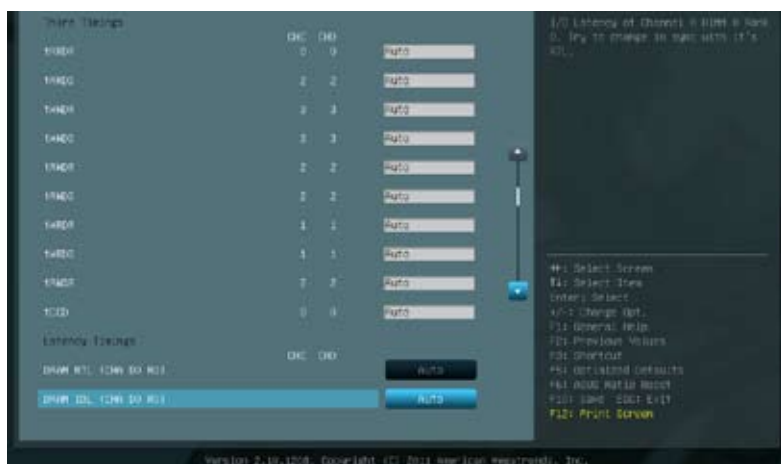
このメニューのサブメニューでは、メモリーのタイミングコントロール機能の設定が可能です。数値の調節は<+> <-> キーで行います。デフォルト設定に戻すには、キーボードで [auto] と入力し、<Enter>キーを押します。



この項目の設定を変更するとシステムが不安定になる場合があります。不安定になった場合は、デフォルト設定に戻してください。



画面を上下方向にスクロールさせると、画面内に収まっていない項目を表示させることができます。





画面を上下方向にスクロールさせると、画面内に収まっていない項目を表示させることができます。



DRAM READ to PRE Time [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は 4～15で、調整単位は1です。

DRAM FOUR ACT WIN Time [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は 16～63で、調整単位は1です。

DRAM WRITE to READ Delay [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は 4～15で、調整単位は1です。

DRAM WRITE Latency [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は 1～15で、調整単位は1です。

Third Timings**tRRDR [Auto]**

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

tRRDD [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

tWWDR [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

tWWDD [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

tRWDR [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～15で、調整単位は1です。

tRWDD [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～15で、調整単位は1です。

tWRDR [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

tWRDD [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

tRWSR [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～15で、調整単位は1です。

tCCD [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～7で、調整単位は1です。

Latency Timings**DRAM RTL (CHA D0 R0) [Auto]**

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
[Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4
Clock] [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHB D0 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHB D0 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHB D0 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHB D0 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHB D1 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHB D1 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHB D1 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHC D1 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHC D1 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHD D0 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHD D0 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHD D0 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHD D0 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHD D1 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock] [Delay 4 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHD D1 R0) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock]
 [Advance 10 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock] [Advance 6 Clock]
 [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock] [Advance 1 Clock]
 [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay 5 Clock]
 [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11 Clock]
 [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM RTL (CHD D1 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 10 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 6
 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 2 Clock] [Normal] [Delay 2 Clock]
 [Delay 4 Clock] [Delay 6 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 12 Clock]
 [Delay 14 Clock]

DRAM IOL (CHD D1 R1) [Auto]

設定オプション:

[Auto] [Advance 14 Clock] [Advance 13 Clock] [Advance 12 Clock] [Advance 11 Clock] [Advance 10
 Clock] [Advance 9 Clock] [Advance 8 Clock] [Advance 7 Clock]
 [Advance 6 Clock] [Advance 5 Clock] [Advance 4 Clock] [Advance 3 Clock] [Advance 2 Clock]
 [Advance 1 Clock] [Normal] [Delay 1 Clock] [Delay 2 Clock] [Delay 3 Clock] [Delay 4 Clock] [Delay
 5 Clock] [Delay 6 Clock] [Delay 7 Clock] [Delay 8 Clock] [Delay 9 Clock] [Delay 10 Clock] [Delay 11
 Clock] [Delay 12 Clock] [Delay 13 Clock] [Delay 14 Clock]

DRAM CLK Period [Auto]

設定オプション:[Auto] [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8]

Enhanced Training (CHA) [Auto]

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

Enhanced Training (CHB) [Auto]

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

Enhanced Training (CHC) [Auto]

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

Enhanced Training (CHD) [Auto]

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

MCH Duty Sense (CHA) [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～31で、調整単位は1です。

MCH Duty Sense (CHB) [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～31で、調整単位は1です。

MCH Duty Sense (CHC) [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～31で、調整単位は1です。

MCH Duty Sense (CHD) [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0～31で、調整単位は1です。

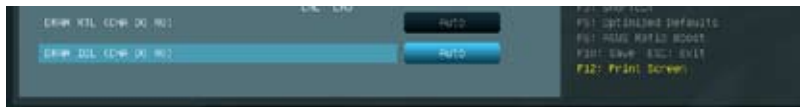
MCH Recheck [Auto]

設定オプション: [Auto] [Disabled] [Enabled]

3.4.2 DIGI+ Power Control



画面を上下方向にスクロールさせると、画面内に収まっていない項目を表示させることができます。



CPU Load-Line Calibration [Auto]

CPUへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、CPUとVRMからの発熱量は増加します。この項目では、電圧の範囲を次の%で設定可能です。

0% (Regular), 25% (Medium), 50% (High), 75% (Ultra High), 100% (Extreme)

設定オプション: [Auto] [Regular] [Medium] [High] [Ultra High] [Extreme]



実際のパフォーマンスは取り付けたCPUの仕様により異なります。

CPU Current Capability [Auto]

オーバークロック用にCPUへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、電力供給量が増加しオーバークロック可能な範囲は広がりますが、VRMの消費電力は増加します。

設定オプション: [Auto] [100%] [110%] [120%] [130%] [140%]



この項目に関連するパラメータの変更を行っている際は、各種設定をモニタリングするため、サマルモジュールを取り外さないでください。



項目によっては、数字キーまたは<+>と<->キーで数値を入力します。数値の入力を終えたら<Enter>を押し数値を決定します。なお、デフォルト設定に戻す場合は、キーボードで [auto] と入力し<Enter>を押します。

CPU VCORE Boot Up Voltage [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0.800V～1.700Vで、0.005V刻みで調節します。

VCCSA Load-line calibration [Auto]

VCCSAへの供給電圧を調整します。VCCSAはシステムエージェント(メモリーコントローラーやPCI ExpressなどのI/Oを含む部分)の動作に影響します。高い値を設定することによりシステムパフォーマンスが向上し、低い値に設定することにより発生熱量は低下します。

設定オプション: [Auto] [Regular] [High] [Extreme]



実際のパフォーマンスは取り付けたCPUとメモリーの仕様により異なります。



この項目に関連するパラメータの変更を行っている際は、各種設定をモニタリングするため、サマルモジュールを取り外さないでください。

VCCSA Current Capability [100%]

設定オプション: [100%] [110%] [120%] [130%]

CPU VCCSA Boot Up Voltage [Auto]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は0.800V～1.700Vで、0.005V刻みで調節します。

CPU Voltage Frequency [Auto]

スイッチング周波数はVRMの過渡応答と各部コンポーネントの温度に影響します。周波数を高く設定することで、電圧の変動を抑え高速過渡応答を得ることができます。ただし、発熱量は増加します。

[Auto] [Spread Spectrum] の設定を変更することが可能です。

[Manual] 周波数を10kHz刻みで調節することができます。

CPU Fixed Frequency [350]

数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定範囲は300kHz～500kHzで、10kHz刻みで調節します。

CPU Spread Spectrum [Disabled]

電磁波低減機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

CPU Power Duty Control [T.Probe]

- [T.Probe] VRMの温度バランスを維持します。
 [Extreme] VRMの電流バランスを維持します。

CPU Power Phase Control [Auto]

動作中のCPU用VRM回路(フェーズ)の制御方法を設定します。システム負荷の高い状態で稼働フェーズ数を増やすことにより、高速過渡応答と高い伝熱性能を得ることができます。システム負荷の低い状態で稼働フェーズ数を減らすことにより、VRMの変換効率が向上し発熱を抑えることができます。

- [Standard] CPUの負荷状態によってフェーズをコントロールします。
 [Optimized] ASUSが最適化したフェーズ調整プロファイルを使用します。
 [Extreme] 全てのフェーズを稼働することによってシステムパフォーマンスを向上させます。
 [Manual Adjustment] 手動調節をすることができます。

DRAM-AB Current Capability [100%]

オーバークロックやシステム安定性を高めるためにメモリーチャンネルA/Bへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、電力供給量が増加しオーバークロックの可能範囲を広げることができます。

設定オプション:[100%] [110%] [120%] [130%]

DRAM-AB Voltage Frequency [Auto]

メモリーチャンネルA/Bのスイッチング周波数を調節します。オーバークロックの範囲を広げるにはDRAM周波数を高く設定し、システムの安定性を高めるにはDRAM周波数を低く設定します。

設定オプション:[Auto] [manual]

DRAM-AB Power Phase control [Auto]

- [Auto] 自動モードを使用します。
 [Optimized] ASUSが最適化したフェーズ調整プロファイルを使用します。
 [Extreme] 全てのフェーズを稼働することによってシステムパフォーマンスを向上させます。

DRAM-CD Current Capability [100%]

オーバークロックやシステム安定性を高めるためにメモリーチャンネルC/Dへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、電力供給量が増加しオーバークロックの可能範囲を広げることができます。

設定オプション:[100%] [110%] [120%] [130%]

DRAM-CD Voltage Frequency [Auto]

メモリーチャンネルC/Dのスイッチング周波数を調節します。オーバークロックの範囲を広げるにはDRAM周波数を高く設定し、システムの安定性を高めるにはDRAM周波数を低く設定します。

設定オプション:[Auto] [manual]

DRAM-CD Power Phase control [Auto]

- [Auto] 自動モードを使用します。
 [Optimized] ASUSが最適化したフェーズ調整プロファイルを使用します。
 [Extreme] 全てのフェーズを稼働することによってシステムパフォーマンスを向上させます。

3.4.3 CPU Performance Settings

CPUの動作倍率や各機能に関する設定を行います。



CPU Ratio [Auto]

非Turbo時のCPU動作倍率の最大値を設定します。設定可能範囲は取り付けたCPUによって異なります。

Enhanced Intel SpeedStep Technology [Enabled]

Enhanced Intel® SpeedStep Technologyの有効/無効を設定します。この機能はCPUの負荷に応じて動作周波数や電圧を段階的に調整することで、消費電力と発熱量を抑える省電力機能です。
設定オプション:[Disabled] [Enabled]

Turbo Mode [Enabled]

CPU負荷が高まった時にCPUの動作周波数を自動的にオーバークロックし、一時的にパフォーマンスを向上させます。
設定オプション:[Disabled] [Enabled]



次の項目は「**Turbo Mode**」の項目を[Enabled]にすると表示されます。

Turbo Mode Parameters

Long Duration Power Limit [Auto]

Turbo Boost 時のTDP制限を設定します。パフォーマンス向上のために、Turbo Boost 時の電力値(TDP)を最大255Wまで設定することができます。デフォルト値は130Wです。数値の調節は <+> <-> キーで行います。

Long Duration Maintained [Auto]

システムパフォーマンスが上限に達した場合の最大電力 (TDP制限) 持続時間を設定します。値は1〜32の間で設定することができます。数値の調節は <+> <-> キーで行います。

Short Duration Power Limit [Auto]

「Long Duration Power Limit」で設定されたTDP制限を超えてしまった場合、迅速に保護を行うための第2電力制限値を設定します。通常この値は「Long Duration Power Limit」で設定された数値の1.25倍の値が設定されます。数値の調節は <+> <-> キーで行います。

Additional Turbo Voltage [Auto]

Turbo Boost 時のパフォーマンスと安定性を高めるために、Turbo Boost 時の追加電圧量を設定します。数値の調節は <+> <-> キーで行います。

CPU Core Current Limit [Auto]

CPUコアへの電流制限値を設定します。電流制限値は 0.125A 刻みで設定することができます。数値の調節は <+> <-> キーで行います。

CPU VCORE Voltage [Offset Mode]

[Manual Mode] CPU Vcore 固定電圧を設定します。

[Offset Mode] CPU Vcore オフセット電圧を設定します。

CPU VCORE Manual Voltage [Auto]

「**CPU VCORE Voltage**」を [Manual Mode] にすると表示されます。
設定範囲は0.800V〜1.700Vで、0.005V刻みで調節します。

CPU VCCSA Voltage [Offset Mode]

[Manual Mode] CPU VCCSA固定電圧を設定します。

[Offset Mode] CPU VCCSAオフセット電圧を設定します。

CPU VCCSA Manual Voltage [Auto]

この項目は「**CPU VCCSA Voltage**」を [Manual Mode] にすると表示されます
設定範囲は0.800V〜1.700Vで、0.005V刻みで調節します。

Offset Mode Sign [+]

この項目は「**CPU VCORE/VCCSA Voltage**」を [Offset Mode] にすると表示されます。

[+] 電圧を正の数でオフセットします。

[-] 電圧を負の数でオフセットします。

CPU VCORE/VCCSA Offset Voltage [Auto]

オフセット電圧を調節します。

設定範囲は0.005V〜0.635Vで、0.005V刻みで調節します。



CPU電圧の設定を行う前にCPUの説明書をご参照ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。

DRAM Voltage (CHA, CHB) [Auto]

メモリー (チャンネルA/B) の電圧を調節します。
設定範囲は 1.20V～1.99Vで、0.005V刻みで調節します。

DRAM Voltage (CHC, CHD) [Auto]

メモリー (チャンネルC/D) の電圧を調節します。
設定範囲は 1.20V～1.99Vで、0.005V刻みで調節します。



1.65Vを超過する電圧の必要なメモリーを取り付けるとCPUが損傷することがあります。1.65V未満の電圧を必要とするメモリーを取り付けることをお勧めします。

CPU PLL Voltage [Auto]

CPU内部のPLL電圧を調節します。
設定範囲は 1.80V～2.10Vで、0.00625V刻みで調節します。

VTTCPU Voltage [Auto]

CPUのアンコア部 (VTT) の電圧を調節します。
設定範囲は 1.05V～1.70Vで、0.00625V刻みで調節します。

PCH 1.1v Voltage [Auto]

Platform Controller Hub 1.1v 電圧を調節します。
設定範囲は 1.10V～1.70Vで、0.00625V刻みで調節します。

PCH 1.5v Voltage [Auto]

Platform Controller Hub 1.5v 電圧を調節します。
設定範囲は 1.50V～1.80Vで、0.00625V刻みで調節します。



- ・ 「CPU VCORE/VCCSA Manual Voltage」、「CPU VCORE/VCCSA Offset Voltage」、「DRAM Voltage」、「CPU PLL Voltage」、「VTTCPU Voltage」、「PCH 1.1V/1.5V Voltage」の各項目の数値は高電圧設定時にリスクレベルに応じて数値が色分けして表示されます。
- ・ 電圧を高く設定する場合は、冷却システムを増強することをお勧めします。

VTTDDR Voltage (CHA, CHB) [Auto]

メモリー (チャンネルA/B) の終端電圧を調節します。
設定範囲は0.6250V～1.10Vで、0.00625V刻みで調節します。

VTTDDR Voltage (CHC, CHD) [Auto]

メモリー (チャンネルC/D) の終端電圧を調節します。
設定範囲は0.6250V～1.10Vで、0.00625V刻みで調節します。

DRAM CTRL REF Voltage on CHA [Auto]

メモリー (チャンネルA) を制御するコントロール信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x～0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM DATA REF Voltage on CHA [Auto]

メモリー (チャンネルA) のデータ信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM CTRL REF Voltage on CHB [Auto]

メモリー (チャンネルB) を制御するコントロール信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM DATA REF Voltage on CHB [Auto]

メモリー (チャンネルB) のデータ信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM CTRL REF Voltage on CHC [Auto]

メモリー (チャンネルC) を制御するコントロール信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM DATA REF Voltage on CHC [Auto]

メモリー (チャンネルC) のデータ信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM CTRL REF Voltage on CHD [Auto]

メモリー (チャンネルD) を制御するコントロール信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM DATA REF Voltage on CHD [Auto]

メモリー (チャンネルD) のデータ信号の基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3950x~0.6300xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM Read REF Voltage on CHA [Auto]

メモリー (チャンネルA) の読み込み基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3850x~0.6150xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM Read REF Voltage on CHB [Auto]

メモリー (チャンネルB) の読み込み基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3850x~0.6150xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM Read REF Voltage on CHC [Auto]

メモリー (チャンネルC) の読み込み基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3850x~0.6150xで、0.005x刻みで調節します。

DRAM Read REF Voltage on CHD [Auto]

メモリー (チャンネルD) の読み込み基準電圧を調節します。
設定範囲は0.3850x~0.6150xで、0.005x刻みで調節します。

CPU Freq Spread Spectrum [Auto]

- [Auto] 自動モードを使用します。
[Disabled] ベースクロックのオーバークロックがしやすくなる可能性があります。
[Enabled] 常に信号伝送時の電磁波低減機能を有効にします。

PCIe Freq Spread Spectrum [Auto]

- [Auto] 自動モードを使用します。
[Disabled] PCI Express のオーバークロックがしやすくなる可能性があります。
[Enabled] 常に信号伝送時の電磁波低減機能を有効にします。

3.5 アドバンスドメニュー

CPUとその他のシステムデバイスの設定を変更します。



アドバンスドメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。設定の変更は十分にご注意ください。



3.5.1 CPU設定

UEFI BIOSが自動的に検出するCPU 関連の情報です。



この画面に表示される項目は、取り付けたCPUにより異なります。



Intel Adaptive Thermal Monitor [Enabled]

[Disabled] CPU熱保護機構 (Thermal Monitor) を無効にします。

[Enabled] CPUの温度が過度に上昇した場合、自動的に動作周波数を下げ冷却を図ります。

Hyper-threading [Enabled]

Intel Hyper-Threading Technology は Hyper-Threading 対応プロセッサをOS環境で2つの論理プロセッサとして動作させることで、OSが同時に2つのスレッドを処理できるようにします。

[Disabled] アクティブなコア1につき、1つのスレッドのみ実行することができます。

[Enabled] アクティブなコア1につき、2つのスレッドを同時に実行することができます。

Active Processor Cores [All]

アクティブにするプロセッサパッケージのCPUコア数を選択します。表示される設定オプションは取り付けられたCPUにより異なります。

設定オプション: [All]

Limit CPUID Maximum [Disabled]

[Enabled] CPUID拡張機能搭載のCPUをサポートしていない場合でも、レガシーOSを起動させます。

[Disabled] この機能を無効にします。

Execute Disable Bit [Enabled]

[Enabled] No-Execution Page Protection テクノロジーを有効にします。

[Disabled] XD機能を強制的に常にゼロ (0) に戻します。

Intel Virtualization Tech [Enabled]

[Enabled] ハードウェアプラットフォームで複数のOSを別々に、かつ同時に動作させることで、1つのシステムを仮想的に複数のシステムとして動作させます。

[Disabled] この機能を無効にします。

3.5.2 CPU電源管理設定



CPU Ratio [Auto]

非Turbo時のCPU動作倍率の最大値を設定します。数値の調節は <+> <-> キーで行います。設定可能範囲は取り付けたCPUによって異なります。

Enhanced Intel SpeedStep Technology [Enabled]

Enhanced Intel® SpeedStep Technology の有効/無効を設定します。この機能はCPUの負荷に応じて動作周波数や電圧を段階的に調整することで、消費電力と発熱量を抑える省電力機能です。

[Disabled] CPUは定格速度で動作します。

[Enabled] CPUの負荷に応じて動作周波数や電圧を段階的に調整することで、消費電力と発熱量を抑えます。

Turbo Mode [Enabled]

[Disabled] Turbo Boost 機能を無効にします。

[Enabled] CPU負荷が高まった時にCPUの動作周波数を自動的にオーバークロックし、一時的にパフォーマンスを向上させます。

CPU C1E [Auto]

[Auto] 自動モードを使用します。
[Disabled] C1Eステート機能を無効にします。
[Enabled] C1E サポートを有効にします。Enhanced Halt State を有効にするには、この項目を有効にします。

CPU C3 Report [Auto]

CPU C3のOSへのレポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled] [Auto]

CPU C6 Report [Auto]

CPU C6のOSへのレポートの有効/無効を設定します。

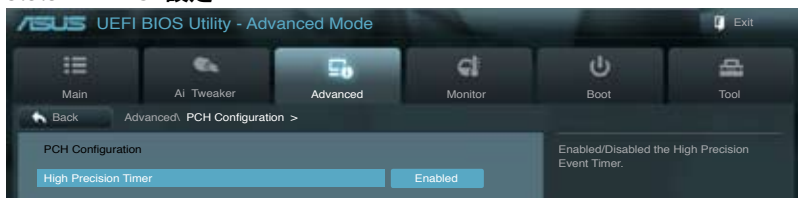
設定オプション: [Enabled] [Disabled] [Auto]

CPU C7 Report [Auto]

CPU C7のOSへのレポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled] [Auto]

3.5.3 PCH設定



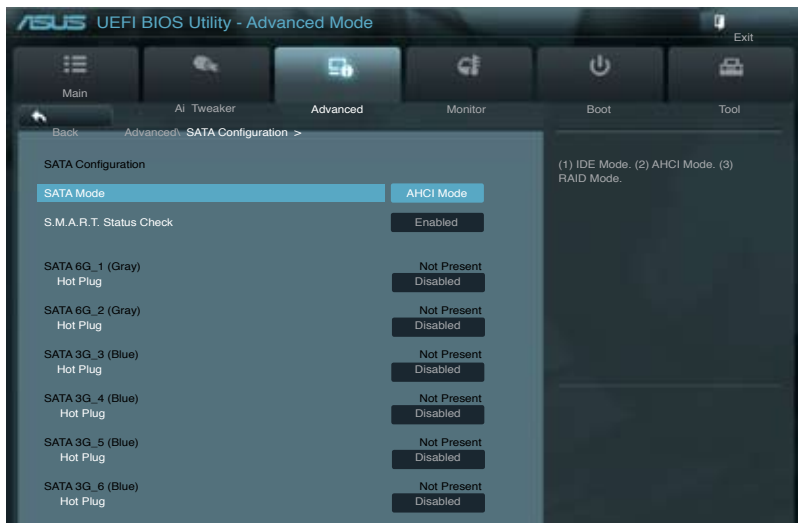
High Precision Timer [Enabled]

High Precision Event Timer の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

3.5.4 SATA設定

UEFI BIOS Utility の起動中は、UEFI BIOSは自動的にシステムに取り付けられたSATAデバイスを検出します。取り付けられていない場合は、SATA Portの項目は「**Not Present**」と表示されます。



SATA Mode [AHCI Mode]

SATAの設定を行います。

- [Disabled] SATA機能を無効にします。
- [IDE Mode] SATA記憶装置をPATA記憶装置として使用する際にこのオプションを選択します。
- [AHCI Mode] SATA記憶装置でAHCI (Advanced Host Controller Interface) を利用する場合はこのオプションを選択します。AHCI を有効にすると、オンボードストレージドライバによりSATAに関連する詳細機能が有効になります。これにより、ランダムな負荷に対してドライブ内部でコマンドの順序を最適化できるようになるため、ストレージのパフォーマンスが向上します。
- [RAID Mode] SATAデバイスでRAIDを構築する場合は、このオプションを選択します。



次の項目は「SATA Mode」の項目を[IDE Mode]にすると表示されます。

Serial-ATA Controller 0 [Enhanced]

前の項目を [IDE Mode] にすると表示されます。

- [Disabled] SATA機能を無効にします。
- [Enhanced] SATA 6Gb/s デバイスを2基、SATA 3Gb/sデバイスを2基サポートします。
- [Compatible] Windows 98/NT/2000/MS-DOSを使用する場合、このオプションを選択します。SATAデバイスを最大4基までサポート可能です。

Serial-ATA Controller 1 [Enhanced]

- [Disabled] SATA機能を無効にします。
- [Enhanced] SATA 3Gb/sデバイスを2基サポートします。

S.M.A.R.T. Status Check [Enabled]

S.M.A.R.T. (Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology) はハードディスクドライブやSSDの記憶装置に内蔵された自己診断機能で、記憶装置で読み込み/書き込みエラーが発生すると、POST実行中に警告メッセージが表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

SATA6G_1 (Gray) Hot Plug [Disabled]

前の項目を [AHCI Mode]、[RAID Mode] にすると表示されます。SATA6G_1ポートでのSATA Hot Plugサポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

SATA6G_2 (Gray) Hot Plug [Disabled]

前の項目を [AHCI Mode]、[RAID Mode] にすると表示されます。SATA6G_2ポートでのSATA Hot Plugサポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled].

SATA3G_3 (Blue)**Hot Plug [Disabled]**

前の項目を **[AHCI Mode]**、**[RAID Mode]** にすると表示されます。SATA3G_3ポートでのSATA Hot Plugサポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

SATA3G_4 (Blue)**Hot Plug [Disabled]**

前の項目を **[AHCI Mode]**、**[RAID Mode]** にすると表示されます。SATA3G_4ポートでのSATA Hot Plugサポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

SATA3G_5 (Blue)**Hot Plug [Disabled]**

前の項目を **[AHCI Mode]**、**[RAID Mode]** にすると表示されます。SATA3G_5ポートでのSATA Hot Plugサポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

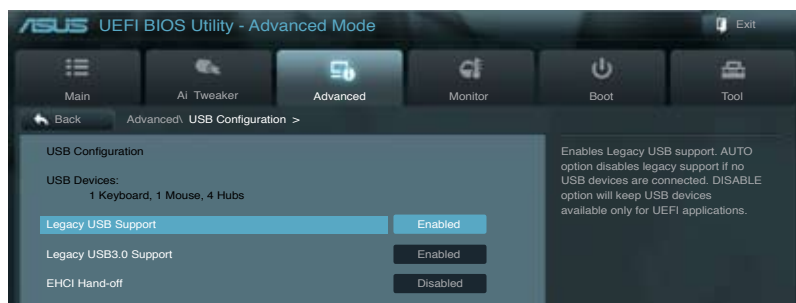
SATA3G_6 (Blue)**Hot Plug [Disabled]**

前の項目を **[AHCI Mode]**、**[RAID Mode]** にすると表示されます。SATA3G_6ポートでのSATA Hot Plugサポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

3.5.5 USB設定

USB関連の機能を変更することができます。



「USB Devices」の項目には自動検出した値が表示されます。USB デバイスが検出されない場合は「None」と表示されます。

Legacy USB Support [Enabled]

- [Disabled] USBデバイスはUEFI BIOS Utilityでのみ使用できます。
- [Enabled] レガシーOS用にUSBデバイスのサポートを有効にします。
- [Auto] 起動時にUSBデバイスを検出します。USBデバイスが検出されると、USBコントローラーのレガシーモードが有効になり、検出されないレガシーUSBのサポートは無効になります。

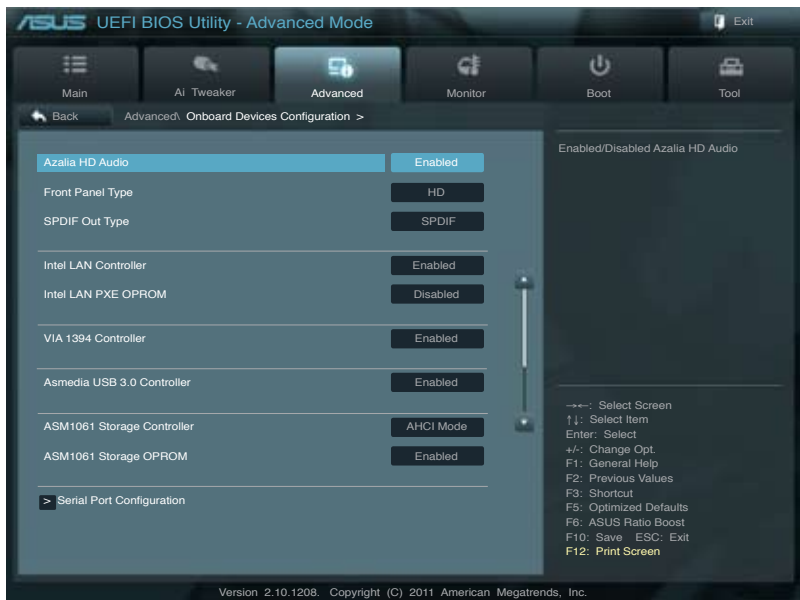
Legacy USB3.0 Support [Enabled]

- [Disabled] この機能を無効にします。
- [Enabled] レガシーOS用にUSB 3.0デバイスのサポートを有効にします。

EHCI Hand-off [Disabled]

- [Disabled] この機能を無効にします。
- [Enabled] EHCIハンドオフ機能のないOSでも問題なく動作させることができます。

3.5.6 オンボードデバイス設定構成



Azalia HD Audio [Enabled]

[Disabled] オンボードHDオーディオコントローラーを無効にします。

[Enabled] オンボードHDオーディオコントローラーを有効にします。



次の項目は「Azalia HD Audio」を有効にすると表示されます。

Front Panel Type [HD]

フロントパネルオーディオモジュールがサポートするオーディオ規格により、フロントパネルオーディオコネクタ（AAFP）の動作モードをAC'97またはHDオーディオに設定することができます。

[HD] フロントパネルオーディオコネクタをHDオーディオにします。

[AC97] フロントパネルオーディオコネクタをAC'97にします。

SPDIF Out Type [SPDIF]

[SPDIF] S/PDIF端子からの出力信号を、S/PDIFモードで出力します。

[HDMI] S/PDIF端子からの出力信号を、HDMIモードで出力します。

Intel LAN Controller [Enabled]

[Disabled] Intel LANコントローラーを無効にします。

[Enabled] Intel LANコントローラーを有効にします。

Intel LAN PXE OPROM [Disabled]

この項目は前の項目を有効にすると表示されます。Intel LANコントローラーのPXE OptionRomの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

VIA 1394 Controller [Enabled]

VIA 1394 コントローラーの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Asmedia USB 3.0 Controller [Enabled]

Asmedia USB 3.0 コントローラーの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

ASM1061 Storage Controller [AHCI Mode]

ASM1061ストレージコントローラーの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [IDE Mode] [AHCI Mode]



ASM1061ストレージコントローラーの機能を最大限に使用するには、この項目を **[AHCI Mode]** 有効に設定し、サポートDVDに収録の「**JSM1061 Controller Driver**」をインストールすることをお勧めします。

ASM1061 Storage OPROM [Enabled]

この項目は前の項目を **[IDE Mode]** または **[AHCI Mode]** にすると表示されます。ASM1061 ストレージコントローラーのOptionRomの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Serial Port Configuration

Serial Port [Enabled]

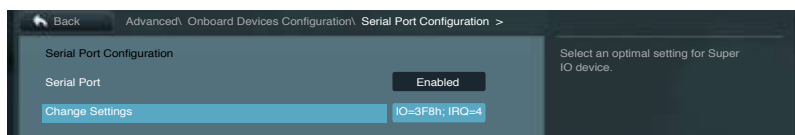
Serial ポート (COM) の有効/無効を設定します。

[Disabled] この機能を無効にします。

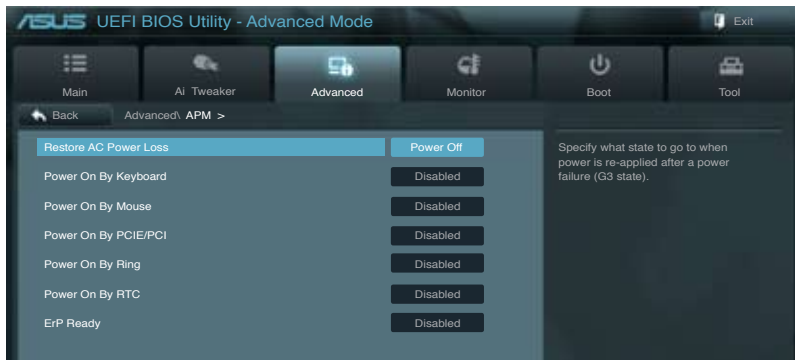
[Enabled] 「**Change Settings**」が表示されます。Super IOデバイスに最適な設定を選択することができます。

Change Settings [IO=3F8h; IRQ=4]

設定オプション: [IO=3F8h; IRQ=4] [IO=2F8h; IRQ=3] [IO=3E8h; IRQ=4] [IO=2E8h; IRQ=3]



3.5.7 APM



Restore AC Power Loss [Power Off]

- [Power On] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源はONとなります。
- [Power Off] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源はOFFのままとなります。
- [Last State] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源は遮断される直前の状態に戻ります。

Power On By Keyboard [Disabled]

- [Disabled] PS/2 キーボードで電源をONにする機能を無効にします。
- [Space Bar] PS/2 キーボードのスペースキー（スペースバー）でシステムをONにします。
- [Ctrl-Esc] PS/2 キーボードの <Ctrl+Esc> キーでシステムをONにします。
- [Power Key] PS/2 キーボードのPower キーでシステムをONにします。この機能を利用するには、+5VSBリード線で最低1Aを供給するATX電源を必要とします。

Power On By Mouse [Disabled]

- [Disabled] PS/2 マウスで電源をONにする機能を無効にします。
- [Enabled] PS/2 マウスで電源をONにする機能を有効にします。

Power On By PCIe/PCI [Disabled]

- [Disabled] PCIe/PCI デバイスが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を無効にします。
- [Enabled] PCIe/PCI デバイスが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を有効にします。

Power On By Ring [Disabled]

- [Disabled] モデムが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を無効にします。
- [Enabled] モデムが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を有効にします。

Power On By RTC [Disabled]

- [Disabled] RTCによるウェイクアップ機能を無効にします。
- [Enabled] 「RTC Alarm Date (Days)」と「Hour/Minute/Second」の項目がユーザー設定可能になります。

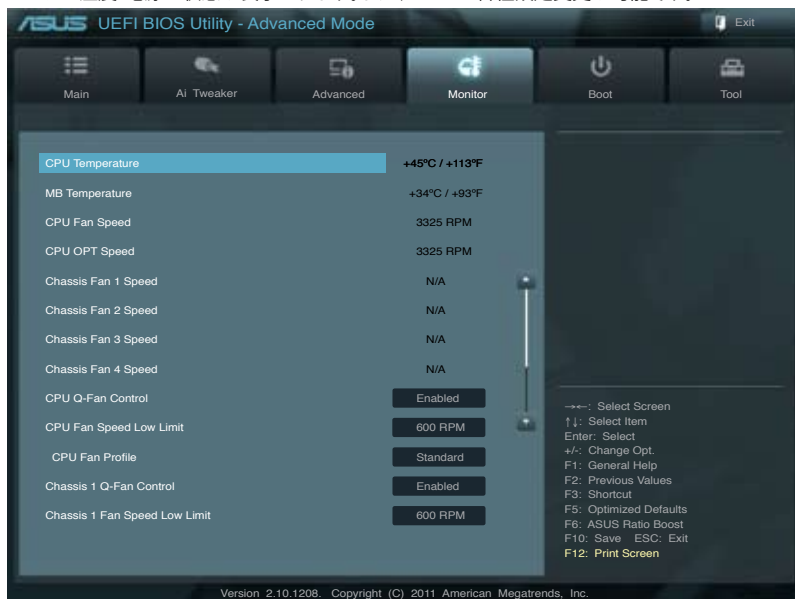
ErP Ready [Disabled]

ErP (Energy-related Products) の条件を満たすよう、S5状態になるとBIOSが特定の電源をOFFにすることを許可します。[Enabled]に設定すると、他のすべてのPME(Power Management Event)オプションはOFFに切り替えられます。

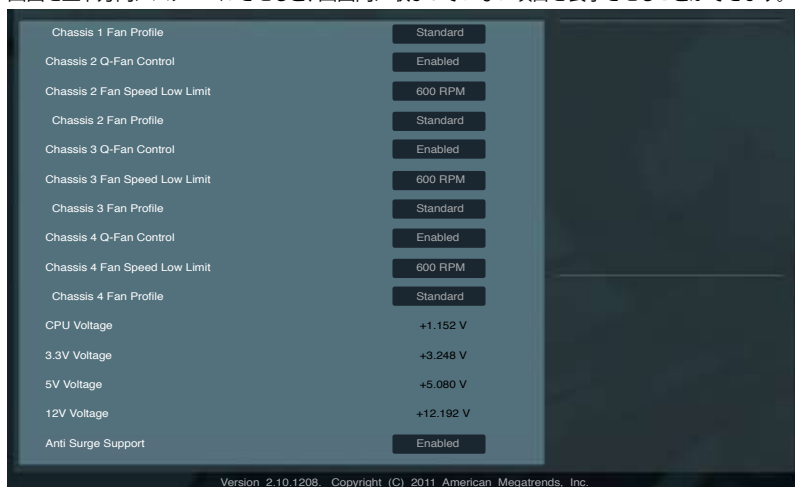
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

3.6 モニターメニュー

システム温度/電源の状態が表示されます。また、ファンの各種設定変更が可能です。



画面を上下方向にスクロールさせると、画面内に収まっていない項目を表示させることができます。



CPU Temperature [xxx°C/xxx°F]

オンボードハードウェアモニターはCPUの温度を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore]にすると、表示されなくなります。

MB Temperature [xxx°C/xxx°F]

オンボードハードウェアモニターはマザーボードの温度を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

CPU Fan Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A]

CPU OPT Fan Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A]

Chassis Fan 1/2/3/4 Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A]

オンボードハードウェアモニターはCPUファン、CPUオプションファン、ケースファンのスピードを自動検出し、RPMの単位で表示します。マザーボードにファンが接続されていない場合は、[N/A] と表示されます。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

CPU Q-Fan Control [Enabled]

[Disabled] CPUファンのQ-Fan コントロール機能を無効にします。

[Enabled] CPUファンのQ-Fan コントロール機能を有効にします。

CPU Fan Speed Low Limit [600 RPM]

この項目は「**CPU Q-Fan Control**」を有効にすると表示されます。CPUファン警告スピードの設定を行います。

設定オプション:[Ignore] [200 RPM] [300 RPM] [400 RPM] [500 RPM] [600 RPM]

CPU Fan Profile [Standard]

この項目は「**CPU Q-Fan Control**」機能を有効にすると表示されます。CPUファンの最適なパフォーマンスレベルを設定できます。

[Standard] CPUファン速度をCPU温度に合わせて自動的に調節します。

[Silent] CPUファン速度を最低限に抑え、静音環境を実現します。

[Turbo] CPUファン速度は最大になります。

[Manual] CPUファン速度を手動で設定します。



次の4つの項目は「**CPU Fan Profile**」を [Manual] にすると表示されます。

CPU Upper Temperature [70]

<+> <-> キーでCPU温度の上限を設定します。

設定範囲は 20°C~75°Cです。

CPU Fan Max. Duty Cycle(%) [100]

<+> <-> キーでCPUファンのデューティーサイクルの最大値を設定します。

設定範囲は 0% ~100%です。最小値はデューティーサイクルの最小値以上である必要があります。

CPU Lower Temperature [20]

CPU温度の下限が表示されます。

CPU Fan Min. Duty Cycle(%) [20]

<+> <-> キーでCPUファンのデューティーサイクルの最小値を設定します。

設定範囲は 0% ~100%です。

CPU温度が40°Cを下回ると、CPUファンはデューティーサイクルの最小値で動作します。

Chassis 1/2/3/4 Q-Fan Control [Enabled]

[Disabled] ケースファンのQ-Fan コントロール機能を無効にします。

[Enabled] ケースファンのQ-Fan コントロール機能を有効にします。

Chassis 1/2/3/4 Fan Speed Low Limit [600 RPM]

この項目は「**Chassis Q-Fan Control**」を有効にすると表示されます。ケースファン警告スピードの設定を行います。

設定オプション: [Ignore] [200 RPM] [300 RPM] [400 RPM] [500 RPM] [600 RPM]

Chassis 1/2/3/4 Fan Profile [Standard]

この項目は「**Chassis Q-Fan Control**」機能を有効にすると表示されます。ケースファンの最適なパフォーマンスレベルを設定できます。

[Standard] ケースファン速度をCPU温度に合わせて自動的に調節します。

[Silent] ケースファン速度を最低限に抑え、静音環境を実現します。

[Turbo] ケースファン速度は最大になります。

[Manual] ケースファン速度を手動で設定します。



次の4つの項目は「**Chassis Fan Profile**」を [Manual] にすると表示されます。

Chassis 1/2/3/4 Upper Temperature [70]

<+> <-> キーでケースの温度の上限を設定します。

設定範囲は 40°C～90°Cです。

Chassis 1/2/3/4 Fan Max. Duty Cycle(%) [100]

<+> <-> キーでケースファンのデューティサイクルの最大値を設定します。

設定範囲は 60%～100%です。最小値はデューティサイクルの最小値以上である必要があります。

Chassis 1/2/3/4 Lower Temperature [40]

ケース温度の下限が表示されます。

Chassis 1/2/3/4 Fan Min. Duty Cycle(%) [60]

<+> <-> キーでケースファンのデューティサイクルの最小値を設定します。

設定範囲は 60%～100%です。

ケース温度が40°Cを下回ると、ケースファンはデューティサイクルの最小値で動作します。

CPU Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage

オンボードハードウェアモニターは電圧レギュレータを通して電圧出力を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

Anti Surge Support [Enabled]

アンチサージ機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

3.7 ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。



Bootup NumLock State [On]

- [On] システム電源ON時、キーボードのNumLock 機能をONにします。
 [OFF] システム電源ON時、キーボードのNumLock 機能はOFFの状態です。

Full Screen Logo [Enabled]

- [Enabled] フルスクリーンロゴを表示します。
 [Disabled] フルスクリーンロゴを表示しません。



ASUS MyLogo™ 機能をご利用になる場合は「Full Screen Logo」の項目を [Enabled] に設定してください。

Wait For 'F1' If Error [Enabled]

- [Disabled] この機能を無効にします。
 [Enabled] POSTエラー発生時に<F 1> キーを押すまでシステムを待機させます。

Option ROM Messages [Force BIOS]

- [Force BIOS] サードパーティのROMメッセージをブートシーケンス時に強制的に表示させます。
 [Keep Current] アドオンデバイスの設定に従い、サードパーティROMメッセージを表示させます。

Setup Mode [EZ Mode]

[Advanced Mode] UEFI BIOS Utility起動時の初期画面として、Advanced Mode を表示します。

[EZ Mode] UEFI BIOS Utility起動時の初期画面として、EZ Mode を表示します。

Boot Option Priorities

使用可能なデバイスから、ブートデバイスの起動優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数に依存します。



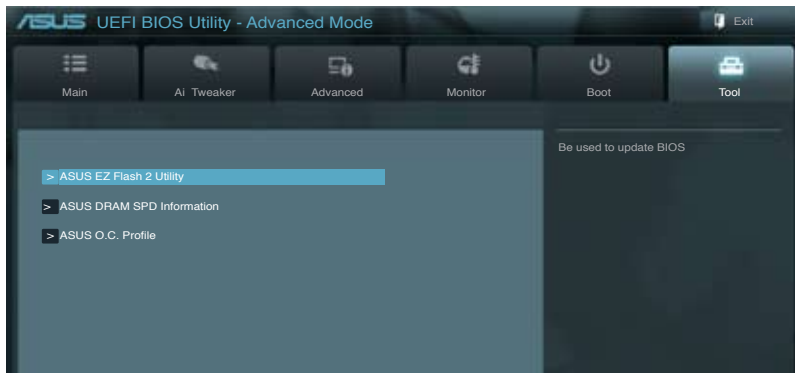
- システム起動中にブートデバイスを選択するには、POST時に<F8> キーを押します。
- セーフモードでWindows ® OSを起動するには、POSTの後に<F8> キーを押します。ブートデバイスの選択画面が表示されてしまう場合は、ブートデバイスの選択画面で<ESC>キーを押した後にはすばや<F8>キーを押すことで詳細ブート オプションを起動することが可能です。

Boot Override

利用可能なデバイスが表示されます。画面に表示されるデバイスの項目の数は、システムに接続されたデバイスの数により異なります。項目(デバイス)を選択すると、選択したデバイスからシステムを起動します。

3.8 ツールメニュー

スペシャル機能のオプション設定をします。マウスで項目を選択するか、キーボードのカーソルキーで項目を選択し、<Enter>キーを押してサブメニューを表示させることができます。



3.8.1 ASUS EZ Flash 2 Utility

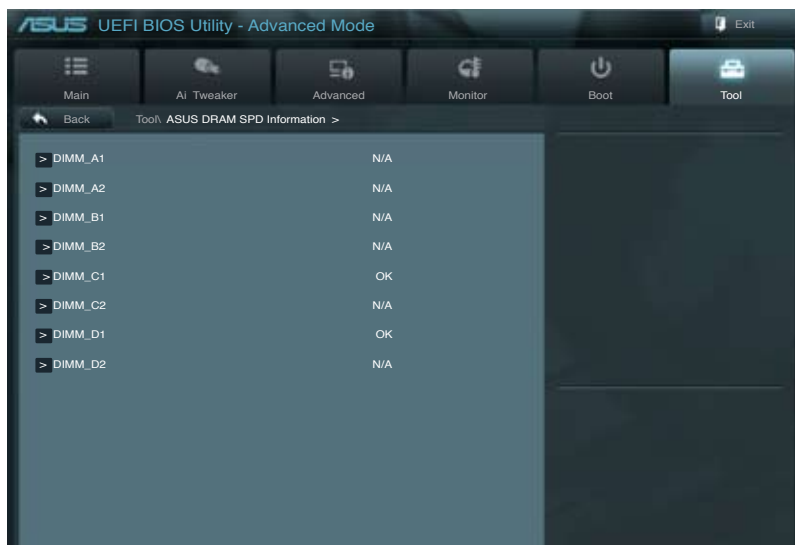
ASUS EZ Flash 2 を起動します。<Enter>を押すと、確認メッセージが表示されます。カーソルキーを使って [Yes] または [No] を選択し <Enter> を押して選択を決定します。



詳細はセクション「3.10.2 ASUS EZ Flash 2」をご参照ください。

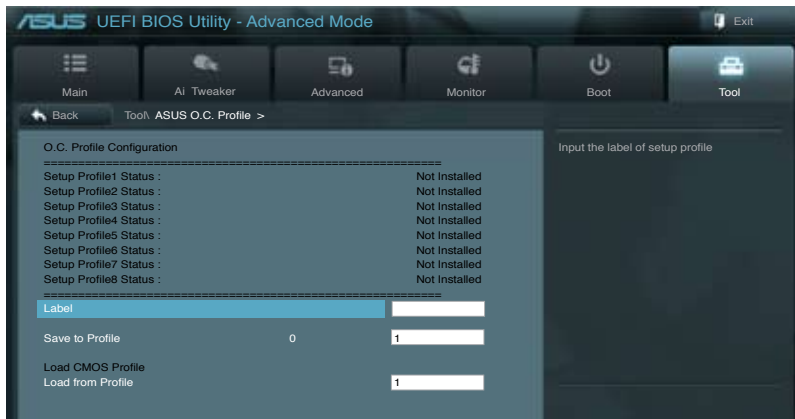
3.8.2 ASUS DRAM SPD情報

メモリスロットに関連する情報が表示されます。



3.8.3 ASUS O.C. Profile

複数のUEFI BIOS設定を保存/ロードすることができます。



プロファイルが作成されていない場合、「Setup Profile Status」には「Not Installed」と表示されます。

Label

セットアッププロファイルのタイトルを入力します。

Save to Profile

現在の設定をBIOS Flash に保存しプロファイルを作成します。キーボードで1から8の数字を入力しプロファイル番号を割り当て、<Enter>を押し「Yes」を選択します。

Load from Profile

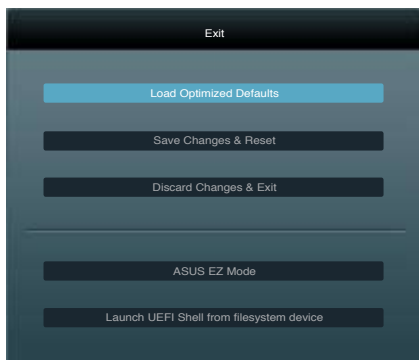
BIOS Flash に保存した設定をロードすることができます。保存したプロファイルの番号をキーボードで入力し、<Enter>を押し「Yes」を選択します。



- 設定をロード中はシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。
- 設定をロードする場合は、保存された設定の構成時と同一のハードウェア (CPU、メモリーなど) とBIOSバージョンでのご使用をお勧めします。異なったハードウェアやBIOSバージョン設定をロードすると、システム起動エラーやハードウェアが故障する可能性があります。

3.9 終了メニュー

設定の保存や取り消しのほか、デフォルト設定の読み込みを行います。終了メニューから**EZ Mode**を起動することができます。



Load Optimized Defaults

それぞれの値に、デフォルト設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択してデフォルト設定値をロードします。

Save Changes & Reset

設定が終了したら、「**Exit**」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAMに保存して終了します。このオプションを選択するか、<F10>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択して設定変更を保存し、UEFI BIOS Utilityを閉じます。

Discard Changes & Exit

UEFI BIOS Utilityで行った設定を破棄し、UEFI BIOS Utilityを終了する場合にこの項目を選択します。このオプションを選択するか<Esc>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択して、設定変更を保存せずに、UEFI BIOS Utilityを閉じます。

ASUS EZ Mode

EZ Modeを起動します。

Launch UEFI Shell from filesystem device

UEFI Shellアプリケーション(shellx64.UEFI)を利用可能なファイルシステムのデバイスから起動します。

3.10 UEFI BIOS更新

ASUSオフィシャルサイトでは、最新のUEFI BIOSバージョンを公開しております。UEFI BIOSを更新することで、システムの安定性や互換性、パフォーマンスが上がる場合があります。ただし、UEFI BIOS更新にはリスクが伴います。現在のバージョンで問題がない場合は、**UEFI BIOS更新を行わないでください**。不適切な更新は、システム起動エラーの原因となります。更新は必要な場合のみ行い、更新の際は次の手順に従い慎重に行ってください。



本マザーボード用の最新バージョンのBIOSファイルは、ASUSオフィシャルサイトからダウンロード可能です。(http://www.asus.co.jp)

次の各ユーティリティで本マザーボードのUEFI BIOSの更新と管理が可能です。

1. **ASUS Update**: Windows® 環境でUEFI BIOS更新を行います。
2. **ASUS EZ Flash 2**: USBフラッシュメモリーを使用してUEFI BIOS更新を行います。
3. **ASUS CrashFree BIOS 3**: BIOSファイルが破損した場合、サポートDVDまたはUSBフラッシュメモリーを使用して、BIOSファイルの復旧を行います。
4. **ASUS BIOS Updater**: DOS環境でサポートDVDまたはUSBフラッシュメモリーを使用してUEFI BIOSの更新とバックアップを行います。

各ユーティリティの詳細については、本項以降の説明をご参照ください。



UEFI BIOSを復旧できるように、オリジナルのマザーボードBIOSファイルをUSBフラッシュメモリーにコピーしてください。UEFI BIOSのバックアップにはASUS Update またはASUS BIOS Updaterをご使用ください。

3.10.1 ASUS Update utility

ASUS Update は、Windows® 環境でマザーボードのUEFI BIOSを管理、保存、更新するユーティリティです。以下の機能を実行することができます。

- インターネットから直接UEFI BIOSを更新する
- インターネットから最新のBIOSファイルをダウンロードする
- BIOSファイルからUEFI BIOSを更新する
- マザーボードのBIOSファイルを保存する
- UEFI BIOSのバージョン情報を表示する

このユーティリティはマザーボードに付属しているサポートDVDからインストールします。



ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。

ASUS Updateを起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーの「Update」→「ASUS Update」の順にクリックします。



このユーティリティを使用してUEFI BIOSを更新する場合は、すべてのWindows® アプリケーションを終了してください。

インターネットを通してUEFI BIOSを更新する

手順

1. ASUS Update 画面から「Update BIOS from Internet」→「Next」の順にクリックします。



2. BIOSファイルをダウンロードするFTPサイトを選択し「Next」をクリックします。ネットワークトラフィックを避けるために、最寄りのASUS FTPサイトを選択してください。UEFI BIOSのダウングレード機能とバックアップ機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。



3. ダウンロードしたいバージョンを選択し、「Next」をクリックします。



4. ブートロゴを変更することができます。ブートロゴはPOSTで表示されるイメージです。ブートロゴを変更する場合は、「Yes」を変更しない場合は、「No」を選択し次に進みます。
5. 画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。



BIOSファイルからUEFI BIOSを更新する

手順

1. ASUS Update 画面から「Update BIOS from file」→「Next」の順にクリックします。



2. 「Browser」をクリックして、アップデートに使用するBIOSファイルを選択し、「Open」→「Next」の順にクリックします。



3. ブートロゴを変更することができます。ブートロゴを変更する場合は「Yes」、変更しない場合は「No」を選択し次に進みます。
4. 画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。



- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアの詳細はサポートDVD、または各種ソフトウェアに収録されているマニュアルをご参照ください。ソフトウェアマニュアルはASUS公式サイトでも公開しております。(http://www.asus.com.jp)

3.10.2 ASUS EZ Flash 2 utility

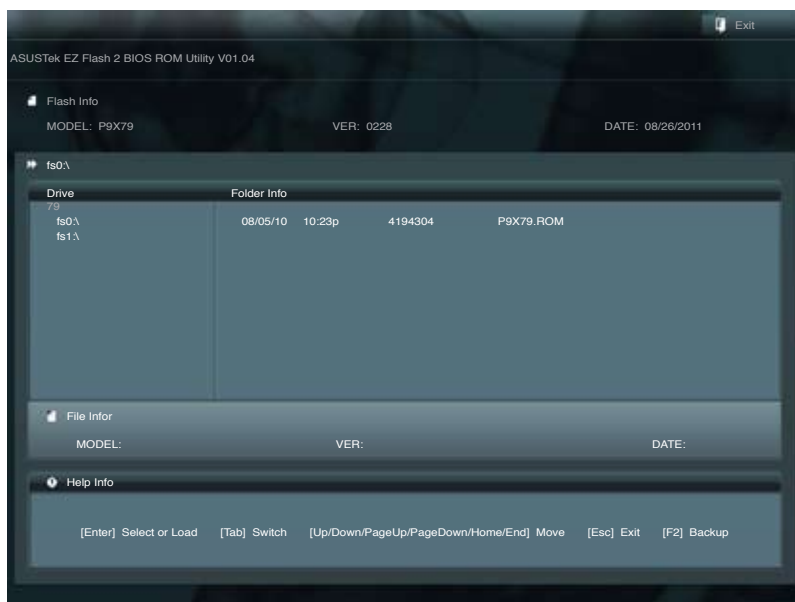
ASUS EZ Flash 2 は起動フロッピーディスクまたはOSベースのユーティリティを使うことなく、UEFI BIOSを短時間で更新します。



このユーティリティをご利用になる前に、最新のUEFI BIOSをASUS公式サイトからダウンロードしてください。(http://www.asus.co.jp)

ASUS EZ Flash 2 を使用してUEFI BIOSを更新する手順

1. 最新のBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーをシステムにセットします。
2. UEFI BIOS Utility のAdvanced Mode を起動し、**Tool** メニューの「**ASUS EZ Flash Utility**」を選択します。



3. <Tab> を使って **Drive** フィールドに切り替えます。
4. マウス、またはカーソルキーで最新のBIOSファイルを保存したUSBフラッシュドメモリーを選択し<Enter>を押します。
5. <Tab> を使って **Folder Info** フィールドに切り替えます。
6. マウス、またはカーソルキーでBIOSファイルを選択し、<Enter>を押してUEFI BIOSの更新を実行します。更新作業が完了したら、システムを再起動します。



- FAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションのUSBフラッシュメモリーのみサポートします。
- UEFI BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。



UEFI BIOS更新後はシステムの互換性/安定性の観点から、必ずUEFI BIOSのデフォルト設定をロードしてください。ロードの際は、終了メニューの「**Load Optimized Defaults**」を選択します。詳細は本マニュアル「**3.9 終了メニュー**」をご参照ください。

3.10.3 ASUS CrashFree BIOS 3 utility

ASUS CrashFree BIOS 3 はUEFI BIOSの自動復旧ツールで、更新時に障害を起こした場合や破損したBIOSファイルを復旧します。破損したBIOSファイルはサポートDVD、またはBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーを使用して、BIOSファイルの復旧をすることができます。



サポートDVDに収録のBIOSファイルは最新のものではない場合もあります。最新バージョンのBIOSファイルはASUS公式サイトで公開しております。USBフラッシュメモリーにダウンロードしてご使用ください。(http://www.asus.co.jp)

UEFI BIOSを復旧する

手順

1. システムの電源をONにします。
2. BIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリー/サポートDVDをシステムにセットします。
3. BIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリー/サポートDVDの検出が始まります。検出されると、BIOSファイルを読み込み、ASUS EZ Flash 2 が自動的に起動します。
4. UEFI BIOS Utility でデフォルト設定をロードするように指示が表示されます。システムの互換性/安定性の観点から、UEFI BIOSのデフォルト設定をロードすることをお勧めします。



UEFI BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

3.10.4 ASUS BIOS Updater

ASUS BIOS Updater は、DOS環境でUEFI BIOSファイルを更新するツールです。また、使用中の BIOSファイルのコピーも可能ですので、BIOS更新中にBIOSが作動しなくなったときやBIOSファイルが破損したときのためにBIOSファイルのバックアップをすることが可能です。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

更新の前に

1. サポートDVDとFAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションの USBフラッシュメモリーを手元に準備します。
2. 最新のBIOSファイルとBIOS Updater をASUSのWeb サイトからダウンロードし、USBフラッシュメモリーに保存します。(http://www.asus.co.jp)

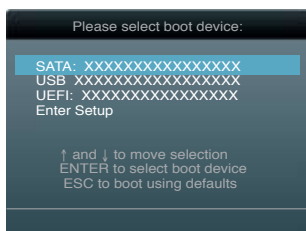


- DOS環境ではNTFSはサポートしません。BIOSファイルとBIOS Updater を NTFS フォーマットの記憶装置またはUSBフラッシュメモリーに保存しないでください。
- 容量が足りないため、BIOSファイルをフロッピーディスクに保存することはできません。

3. コンピューターをOFFにし、全てのSATA記憶装置を取り外します。(推奨)

DOS環境でシステムを起動する

1. 最新のBIOSファイルとBIOS Updater を保存したUSBフラッシュメモリーをUSBポートに接続します。
2. コンピューターを起動します。POST中に <F8> を押します。続いてBoot Device Select Menu が表示されたら、サポートDVDを光学ドライブに入れ、光学ドライブを 1 番目に起動するデバイスに設定します。カーソルキーで光学ドライブを選択し<Enter>を押します。



3. **Make Disk** メニューが表示されたら、項目の番号を押し「**FreeDOS command prompt**」の項目を選択します。
4. FreeDOSプロンプトで「**d:**」と入力し、<Enter> を押してドライブをDrive C (光学ドライブ) からDrive D (USBフラッシュメモリー) に切り替えます。SATA記憶装置を接続している場合ドライブパスは異なります。

```
Welcome to FreeDOS (http://www.freedos.org) !
C:\>d:
D:\>
```


使用中のBIOSファイルをバックアップする

手順



USBフラッシュメモリーに書き込み保護がされていないこと、十分な空き容量があることをご確認ください。

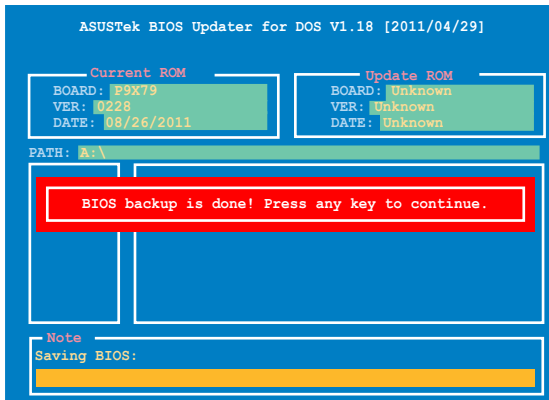
1. FreeDOSプロンプトで、「bupdater /o[filename)」入力し、<Enter>を押します。

```
D:\>bupdater /oOLD BIOS1.rom
```

ファイル名 拡張子

[filename) はファイル名で、自由に決めることができます。ファイル名は 8 文字以下の英数字で、拡張子は 3 文字以下の英数字で入力します。

2. BIOS Updater のバックアップ画面が表示され、バックアップ作業の進行状況が表示されます。BIOSファイルのバックアップが完了したら、任意のキーを押してDOSプロンプトに戻ります。



BIOSファイルを更新する

手順

1. FreeDOSプロンプトで、「bupdater /pc /g」と入力し、<Enter>を押します。

```
D:\>bupdater /pc /g
```

2. 次のようなBIOS Updater 画面が表示されます。

ASUSTek BIOS Updater for DOS V1.18 [2011/04/29]

Current ROM	Update ROM
BOARD: P9X79	BOARD: Unknown
VER: 10228	VER: Unknown
DATE: 08/26/2011	DATE: Unknown

PATH: A:\

A:	
P9X79.ROM	4194304 2011-08-05 17:30:48

Note

[Enter] Select or Load	[Tab] Switch	[V] Drive Info
[Up/Down/Home/End] Move	[B] Backup	[Esc] Exit

3. <Tab> キーで選択フィールドを切り替え、<Up/Down/Home/End> キーでBIOSファイルを選択したら、<Enter>を押します。BIOS Updater は選択したBIOSファイルをチェックし、次のような確認画面が表示されます。

Are you sure to update BIOS?

Yes No

4. 更新を実行するには「Yes」を選択し<Enter>を押します。UEFI BIOSの更新が完了したら<ESC>を押してBIOS Updater を閉じます。続いてコンピューターを再起動します。



BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。



- BIOS Updater バージョン1.04 以降では、更新が終了すると自動的にDOSプロンプトに戻ります。
- システムの互換性/安定性の観点から、更新後は必ずデフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定のロードは「Exit」の「Load Optimized Defaults」の項目で実行します。詳細はセクション「3.9 終了メニュー」をご参照ください。
- SATA記憶装置を取り外した場合は、BIOSファイル更新後に全てのSATA記憶装置を接続してください。

Chapter 4

4.1 OSをインストールする

このマザーボードは Windows® XP/ 64bit XP/ Vista / 64bit Vista / 7 / 64bit 7 OSをサポートしています。ハードウェアの機能を最大限に活用するために、OSは定期的にアップデートしてください。



- ここで説明するセットアップ手順は一例です。詳細については、OSのマニュアルをご参照ください。
- 互換性とシステムの安定性のために、ドライバをインストールする前に、Windows® XPは Service Pack 3 以降のサービスパック適用済みのOSであることをご確認ください。

4.2 サポートDVD情報

マザーボードに付属のサポートDVDには、マザーボードを利用するために必要なドライバ、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のものは、ASUS公式サイトで確認ください。

4.2.1 サポートDVDを実行する

サポートDVDを光学ドライブに入れます。OSの Autorun 機能が有効になっていれば、ドライバメニューが自動的に表示されます。メニュータブを選択し、インストールする項目を選択してください。

ドライバメニュー:
インストールが可能なドライバが表示されます。必要なドライバを上から順番にインストールしてご利用ください。

ディスクの作成メニュー:
RAID/AHCI ドライバディスクを作成します。

マニュアルメニュー:
サードパーティ製のコンポーネント、または各アプリケーションのユーザーマニュアルを閲覧することができます。

ユーティリティメニュー:
マザーボードで利用できるアプリケーションやユーティリティをインストールします。

インストールする項目を選択します。

コンタクトインフォメーション:
ASUSコンタクトインフォメーションを表示します。

サポートDVDとマザーボードの情報を表示します。



Autorun が有効になっていない場合は、サポートDVDの BIN フォルダから ASSETUP.EXE を選択してください。ASSETUP.EXE をダブルクリックすれば、ドライバメニューが表示されます。

4.2.2 ソフトウェアのユーザーマニュアルを閲覧する

各ソフトウェアのユーザーマニュアルはサポートDVDに収録されています。次の手順に従って、各マニュアルをご参照ください。

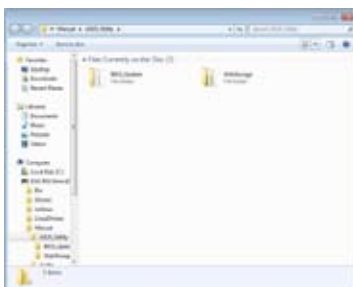


各ソフトウェアのユーザーマニュアルはPDFファイルで収録されています。PDFファイルを開くには、UtilitiesタブのAdobe® Acrobat® Readerをインストールしてください。

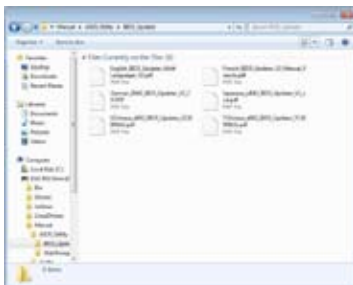
1. 「Manual」タブをクリックし、左のリストから「ASUS Motherboard Utility Guide」をクリックします。



2. サポートDVDの「Manual」フォルダーが表示されます。マニュアルを確認したいソフトウェアのフォルダーをダブルクリックします。



3. ソフトウェアマニュアルによっては、複数の言語のマニュアルが用意されています。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

4.3 ソフトウェア情報

サポートDVDのほとんどのアプリケーションはウィザードを使って簡単にインストールすることができます。詳細はオンラインヘルプまたはアプリケーションのReadmeファイルをご参照ください。

4.3.1 AI Suite II

ASUS AI Suite では各種ASUSユーティリティを簡単に起動することができます。

AI Suite II をインストールする

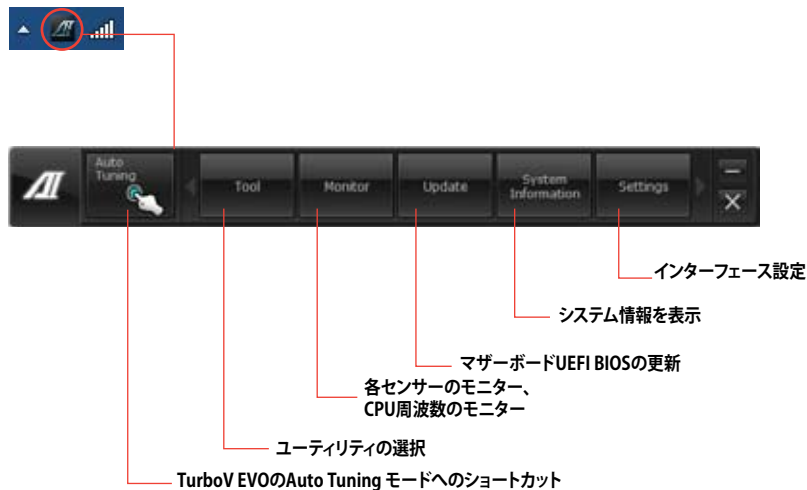
手順

1. サポートDVDを光学ドライブに入れます。OSの自動再生機能 (Autorun) が有効になっていれば、ドライバメニューが表示されます。
2. 「Utilities」タブ→「AI Suite II」の順にクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。

AI Suite IIを使う

AI Suite II はWindows OSを起動すると自動的に起動し、AI Suite II アイコンがWindows® のタスクトレイに表示されます。このアイコンをクリックすると、AI Suite II メインメニューバーが表示されます。

使用するユーティリティのボタンをクリックし起動します。システムのモニタリング、マザーボード BIOS の更新、システム情報の表示、AI Suite II のカスタマイズ設定等がご利用いただけます。



- Auto Tuning ボタンはTurboV EVO機能搭載モデルにのみ表示されます。
- 利用できるアプリケーションはモデルにより異なります。
- 本マニュアルに記載の図は参考用です。モデルやソフトウェアのバージョンにより実際の画面とは異なる場合がございます。
- ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSオフィシャルサイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

4.3.2 TurboV EVO

ASUS TurboV EVOには、CPU周波数と関連する電圧値を調節できる**TurboV**機能、オーバークロックとシステムのレベルアップが自動的にできる**Auto Tuning**機能が搭載されています。AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「**TurboV EVO**」の順にクリックし、TurboV EVOを起動します。



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSオフィシャルサイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

TurboV

ASUS TurboVは、BCLK周波数、CPU電圧、IMC電圧、DRAM Bus電圧をWindows 環境で調整することができるツールです。設定変更はすぐに適用されます。



CPU電圧の調節を行う前にCPUに付属の説明書や仕様書等を必ずご確認ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。



システム安定のため、ASUS TurboVで行った設定変更はBIOSには保存されず、次回起動する際にも適用されません。設定変更後のオーバークロック設定を保存するには、「Save Profile」機能で設定をプロファイルとして保存し、Windows の起動後にそのプロファイルを手動でロードしてください。

The screenshot shows the ASUS TurboV EVO software interface. Red lines and boxes connect specific UI elements to Japanese labels:

- モード選択** (Mode Selection): Points to the 'Manual Mode' and 'Auto Tuning' tabs at the top.
- プロファイルをロード 変更値** (Load Profile / Change Value): Points to the 'Profile' dropdown menu.
- 現在値** (Current Value): Points to the numerical values in the 'Manual Mode' table.
- 設定を表示** (Show Settings): Points to the 'Show Settings' button.
- 設定をデフォルトに戻す** (Reset Settings to Default): Points to the 'Reset to Default' button.
- 現在の設定を新しいプロファイルとして保存** (Save current settings as a new profile): Points to the 'Save Profile' button.
- 電圧調節バー** (Voltage adjustment bar): Points to the horizontal sliders for voltage.
- 設定を適用しない** (Do not apply settings): Points to the 'Do Not Apply' button.
- 設定を適用する** (Apply settings): Points to the 'Apply' button.

Item	Current Value	Target Value	Unit
BCLK Frequency	100.0	100.0	MHz
CPU VDD1.5 Voltage	1.050	1.050	V
CPU VDD1.8 Voltage	1.800	1.800	V
CPU VDD2.0 Voltage	2.000	2.000	V
CPU VDD2.5 Voltage	2.500	2.500	V
CPU VDD3.0 Voltage	3.000	3.000	V
CPU VDD3.3 Voltage	3.300	3.300	V
CPU VDD3.6 Voltage	3.600	3.600	V
CPU VDD3.8 Voltage	3.800	3.800	V
CPU VDD4.0 Voltage	4.000	4.000	V
CPU VDD4.5 Voltage	4.500	4.500	V
CPU VDD5.0 Voltage	5.000	5.000	V
CPU VDD5.5 Voltage	5.500	5.500	V
CPU VDD6.0 Voltage	6.000	6.000	V
CPU VDD6.5 Voltage	6.500	6.500	V
CPU VDD7.0 Voltage	7.000	7.000	V
CPU VDD7.5 Voltage	7.500	7.500	V
CPU VDD8.0 Voltage	8.000	8.000	V
CPU VDD8.5 Voltage	8.500	8.500	V
CPU VDD9.0 Voltage	9.000	9.000	V
CPU VDD9.5 Voltage	9.500	9.500	V
CPU VDD10.0 Voltage	10.000	10.000	V
CPU VDD10.5 Voltage	10.500	10.500	V
CPU VDD11.0 Voltage	11.000	11.000	V
CPU VDD11.5 Voltage	11.500	11.500	V
CPU VDD12.0 Voltage	12.000	12.000	V
CPU VDD12.5 Voltage	12.500	12.500	V
CPU VDD13.0 Voltage	13.000	13.000	V
CPU VDD13.5 Voltage	13.500	13.500	V
CPU VDD14.0 Voltage	14.000	14.000	V
CPU VDD14.5 Voltage	14.500	14.500	V
CPU VDD15.0 Voltage	15.000	15.000	V
CPU VDD15.5 Voltage	15.500	15.500	V
CPU VDD16.0 Voltage	16.000	16.000	V
CPU VDD16.5 Voltage	16.500	16.500	V
CPU VDD17.0 Voltage	17.000	17.000	V
CPU VDD17.5 Voltage	17.500	17.500	V
CPU VDD18.0 Voltage	18.000	18.000	V
CPU VDD18.5 Voltage	18.500	18.500	V
CPU VDD19.0 Voltage	19.000	19.000	V
CPU VDD19.5 Voltage	19.500	19.500	V
CPU VDD20.0 Voltage	20.000	20.000	V
CPU VDD20.5 Voltage	20.500	20.500	V
CPU VDD21.0 Voltage	21.000	21.000	V
CPU VDD21.5 Voltage	21.500	21.500	V
CPU VDD22.0 Voltage	22.000	22.000	V
CPU VDD22.5 Voltage	22.500	22.500	V
CPU VDD23.0 Voltage	23.000	23.000	V
CPU VDD23.5 Voltage	23.500	23.500	V
CPU VDD24.0 Voltage	24.000	24.000	V
CPU VDD24.5 Voltage	24.500	24.500	V
CPU VDD25.0 Voltage	25.000	25.000	V
CPU VDD25.5 Voltage	25.500	25.500	V
CPU VDD26.0 Voltage	26.000	26.000	V
CPU VDD26.5 Voltage	26.500	26.500	V
CPU VDD27.0 Voltage	27.000	27.000	V
CPU VDD27.5 Voltage	27.500	27.500	V
CPU VDD28.0 Voltage	28.000	28.000	V
CPU VDD28.5 Voltage	28.500	28.500	V
CPU VDD29.0 Voltage	29.000	29.000	V
CPU VDD29.5 Voltage	29.500	29.500	V
CPU VDD30.0 Voltage	30.000	30.000	V
CPU VDD30.5 Voltage	30.500	30.500	V
CPU VDD31.0 Voltage	31.000	31.000	V
CPU VDD31.5 Voltage	31.500	31.500	V
CPU VDD32.0 Voltage	32.000	32.000	V
CPU VDD32.5 Voltage	32.500	32.500	V
CPU VDD33.0 Voltage	33.000	33.000	V
CPU VDD33.5 Voltage	33.500	33.500	V
CPU VDD34.0 Voltage	34.000	34.000	V
CPU VDD34.5 Voltage	34.500	34.500	V
CPU VDD35.0 Voltage	35.000	35.000	V
CPU VDD35.5 Voltage	35.500	35.500	V
CPU VDD36.0 Voltage	36.000	36.000	V
CPU VDD36.5 Voltage	36.500	36.500	V
CPU VDD37.0 Voltage	37.000	37.000	V
CPU VDD37.5 Voltage	37.500	37.500	V
CPU VDD38.0 Voltage	38.000	38.000	V
CPU VDD38.5 Voltage	38.500	38.500	V
CPU VDD39.0 Voltage	39.000	39.000	V
CPU VDD39.5 Voltage	39.500	39.500	V
CPU VDD40.0 Voltage	40.000	40.000	V
CPU VDD40.5 Voltage	40.500	40.500	V
CPU VDD41.0 Voltage	41.000	41.000	V
CPU VDD41.5 Voltage	41.500	41.500	V
CPU VDD42.0 Voltage	42.000	42.000	V
CPU VDD42.5 Voltage	42.500	42.500	V
CPU VDD43.0 Voltage	43.000	43.000	V
CPU VDD43.5 Voltage	43.500	43.500	V
CPU VDD44.0 Voltage	44.000	44.000	V
CPU VDD44.5 Voltage	44.500	44.500	V
CPU VDD45.0 Voltage	45.000	45.000	V
CPU VDD45.5 Voltage	45.500	45.500	V
CPU VDD46.0 Voltage	46.000	46.000	V
CPU VDD46.5 Voltage	46.500	46.500	V
CPU VDD47.0 Voltage	47.000	47.000	V
CPU VDD47.5 Voltage	47.500	47.500	V
CPU VDD48.0 Voltage	48.000	48.000	V
CPU VDD48.5 Voltage	48.500	48.500	V
CPU VDD49.0 Voltage	49.000	49.000	V
CPU VDD49.5 Voltage	49.500	49.500	V
CPU VDD50.0 Voltage	50.000	50.000	V
CPU VDD50.5 Voltage	50.500	50.500	V
CPU VDD51.0 Voltage	51.000	51.000	V
CPU VDD51.5 Voltage	51.500	51.500	V
CPU VDD52.0 Voltage	52.000	52.000	V
CPU VDD52.5 Voltage	52.500	52.500	V
CPU VDD53.0 Voltage	53.000	53.000	V
CPU VDD53.5 Voltage	53.500	53.500	V
CPU VDD54.0 Voltage	54.000	54.000	V
CPU VDD54.5 Voltage	54.500	54.500	V
CPU VDD55.0 Voltage	55.000	55.000	V
CPU VDD55.5 Voltage	55.500	55.500	V
CPU VDD56.0 Voltage	56.000	56.000	V
CPU VDD56.5 Voltage	56.500	56.500	V
CPU VDD57.0 Voltage	57.000	57.000	V
CPU VDD57.5 Voltage	57.500	57.500	V
CPU VDD58.0 Voltage	58.000	58.000	V
CPU VDD58.5 Voltage	58.500	58.500	V
CPU VDD59.0 Voltage	59.000	59.000	V
CPU VDD59.5 Voltage	59.500	59.500	V
CPU VDD60.0 Voltage	60.000	60.000	V
CPU VDD60.5 Voltage	60.500	60.500	V
CPU VDD61.0 Voltage	61.000	61.000	V
CPU VDD61.5 Voltage	61.500	61.500	V
CPU VDD62.0 Voltage	62.000	62.000	V
CPU VDD62.5 Voltage	62.500	62.500	V
CPU VDD63.0 Voltage	63.000	63.000	V
CPU VDD63.5 Voltage	63.500	63.500	V
CPU VDD64.0 Voltage	64.000	64.000	V
CPU VDD64.5 Voltage	64.500	64.500	V
CPU VDD65.0 Voltage	65.000	65.000	V
CPU VDD65.5 Voltage	65.500	65.500	V
CPU VDD66.0 Voltage	66.000	66.000	V
CPU VDD66.5 Voltage	66.500	66.500	V
CPU VDD67.0 Voltage	67.000	67.000	V
CPU VDD67.5 Voltage	67.500	67.500	V
CPU VDD68.0 Voltage	68.000	68.000	V
CPU VDD68.5 Voltage	68.500	68.500	V
CPU VDD69.0 Voltage	69.000	69.000	V
CPU VDD69.5 Voltage	69.500	69.500	V
CPU VDD70.0 Voltage	70.000	70.000	V
CPU VDD70.5 Voltage	70.500	70.500	V
CPU VDD71.0 Voltage	71.000	71.000	V
CPU VDD71.5 Voltage	71.500	71.500	V
CPU VDD72.0 Voltage	72.000	72.000	V
CPU VDD72.5 Voltage	72.500	72.500	V
CPU VDD73.0 Voltage	73.000	73.000	V
CPU VDD73.5 Voltage	73.500	73.500	V
CPU VDD74.0 Voltage	74.000	74.000	V
CPU VDD74.5 Voltage	74.500	74.500	V
CPU VDD75.0 Voltage	75.000	75.000	V
CPU VDD75.5 Voltage	75.500	75.500	V
CPU VDD76.0 Voltage	76.000	76.000	V
CPU VDD76.5 Voltage	76.500	76.500	V
CPU VDD77.0 Voltage	77.000	77.000	V
CPU VDD77.5 Voltage	77.500	77.500	V
CPU VDD78.0 Voltage	78.000	78.000	V
CPU VDD78.5 Voltage	78.500	78.500	V
CPU VDD79.0 Voltage	79.000	79.000	V
CPU VDD79.5 Voltage	79.500	79.500	V
CPU VDD80.0 Voltage	80.000	80.000	V
CPU VDD80.5 Voltage	80.500	80.500	V
CPU VDD81.0 Voltage	81.000	81.000	V
CPU VDD81.5 Voltage	81.500	81.500	V
CPU VDD82.0 Voltage	82.000	82.000	V
CPU VDD82.5 Voltage	82.500	82.500	V
CPU VDD83.0 Voltage	83.000	83.000	V
CPU VDD83.5 Voltage	83.500	83.500	V
CPU VDD84.0 Voltage	84.000	84.000	V
CPU VDD84.5 Voltage	84.500	84.500	V
CPU VDD85.0 Voltage	85.000	85.000	V
CPU VDD85.5 Voltage	85.500	85.500	V
CPU VDD86.0 Voltage	86.000	86.000	V
CPU VDD86.5 Voltage	86.500	86.500	V
CPU VDD87.0 Voltage	87.000	87.000	V
CPU VDD87.5 Voltage	87.500	87.500	V
CPU VDD88.0 Voltage	88.000	88.000	V
CPU VDD88.5 Voltage	88.500	88.500	V
CPU VDD89.0 Voltage	89.000	89.000	V
CPU VDD89.5 Voltage	89.500	89.500	V
CPU VDD90.0 Voltage	90.000	90.000	V
CPU VDD90.5 Voltage	90.500	90.500	V
CPU VDD91.0 Voltage	91.000	91.000	V
CPU VDD91.5 Voltage	91.500	91.500	V
CPU VDD92.0 Voltage	92.000	92.000	V
CPU VDD92.5 Voltage	92.500	92.500	V
CPU VDD93.0 Voltage	93.000	93.000	V
CPU VDD93.5 Voltage	93.500	93.500	V
CPU VDD94.0 Voltage	94.000	94.000	V
CPU VDD94.5 Voltage	94.500	94.500	V
CPU VDD95.0 Voltage	95.000	95.000	V
CPU VDD95.5 Voltage	95.500	95.500	V
CPU VDD96.0 Voltage	96.000	96.000	V
CPU VDD96.5 Voltage	96.500	96.500	V
CPU VDD97.0 Voltage	97.000	97.000	V
CPU VDD97.5 Voltage	97.500	97.500	V
CPU VDD98.0 Voltage	98.000	98.000	V
CPU VDD98.5 Voltage	98.500	98.500	V
CPU VDD99.0 Voltage	99.000	99.000	V
CPU VDD99.5 Voltage	99.500	99.500	V
CPU VDD100.0 Voltage	100.000	100.000	V

Advanced モードを使用する

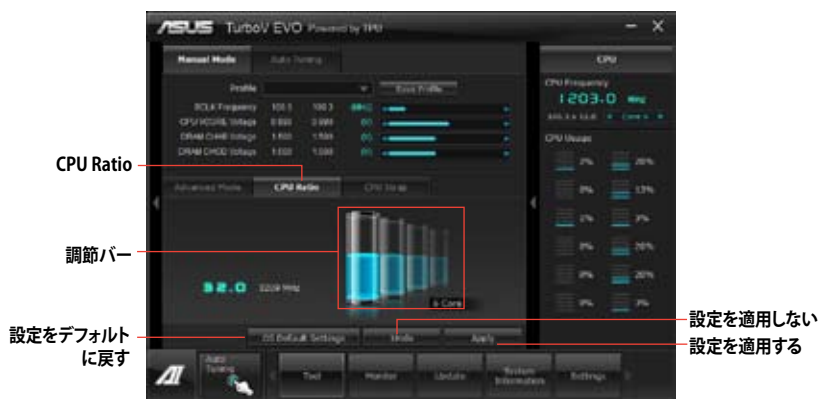
「Advanced Mode」タブをクリックし、電圧の設定を行います。



CPU Ratio

手でCPU動作倍率を調節します。

1. 「CPU Ratio」タブをクリックします。
2. 調節バーを上下に移動させ、数値を設定します。
3. 設定の変更を適用するには、「適用」ボタンをクリックします。



- TurboVのCPU Ratio 機能を使用する前にUEFI BIOS Utilityで「CPU Ratio」の項目を [Auto] にしてください。詳細はユーザーマニュアルのChapter 3をご参照ください。
- CPU Ratio の調節バーにはCPUコアの状態が表示されますが、表示内容は取り付けられたCPUによって異なります。

CPU Strap

手動でCPU Strapを調節します。

1. 「**CPU Strap**」タブをクリックします。
2. 調節バーをクリックし、任意の値を設定します。
3. 設定の変更を適用するには、「**適用**」ボタンをクリックします。



- CPU Ratio の設定はCPU Strap の設定に影響します。
- CPU Strap のサポートは、CPUの物理的特性に依存します。

Auto Tuning

ASUS TurboV EVO には便利な 2 つの自動調節モードがあります。



- オーバークロックの効果は、CPUモデルとシステム構成により異なります。
 - オーバーヒートによるマザーボードの故障を防ぐため、冷却システムの増強を強くお勧めします。
- **Fast Tuning**: CPUをオーバークロック
 - **Extreme Tuning**: CPUとメモリーをオーバークロック

Fast Tuning

1. 「**Auto Tuning**」タブをクリックし、「**Fast**」をクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「**OK**」をクリックします。続いて自動オーバークロックが始まります。



3. CPUのオーバークロックが正常に終了すると、システム再起動時に設定はBIOSへと反映されます。システム再起動後、作業完了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしAutoTuningを完了します。



Extreme Tuning

1. 「Auto Tuning」タブをクリックし、「Extreme」をクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「OK」をクリックします。続いて自動オーバークロックが始まります。



3. TurboVは自動的にCPUとメモリーをオーバークロックし、システムを再起動します。Windows が起動すると、現在のオーバークロックの結果が表示されます。この結果をキープするには「Stop」をクリックします。



4. 「Stop」を選択しなかった場合、TurboVは自動的に更なるシステムオーバークロック設定と安定性のテストを実行し、オーバークロックの経過を示す画面が表示されます。オーバークロック作業をキャンセルするには、「Stop」をクリックします。



5. CPUとメモリーのオーバークロックが正常に終了すると、システム再起動時に設定はBIOSへと反映されます。システム再起動後、作業完了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしAuto Tuningを完了します。



4.3.3 DIGI+ Power Control

新型DIGI+ PowerControl は、CPUとメモリーの周波数とVRM電圧を調節し安定性を強化します。また、非常に優れた電力効率を実現し発生する熱を最小限に抑えますので、コンポーネントの寿命を延ばし、電力消費を抑えます。

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「DIGI+ Power Control」の順にクリックし、DIGI+ Power Controlを起動します。

CPU Power または DRAM Power を選択し、電源調節を設定します。

CPU Power



機能No.	説明
1	CPU Load-line Calibration CPUへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、CPUとVRMからの発熱量は増加します。
2	CPU Current Capability オーバークロック用にCPUへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、VRMの消費電力は増加します。
3	CPU Voltage Frequency スwitchング周波数はVRMの過渡応答と各部コンポーネントの温度に影響します。周波数を高く設定することで、電圧の変動を抑え高速過渡応答を得ることができます。ただし、発熱量は増加します。
4	VCCSA Load-line Calibration VCCSAへの供給電圧を調整します。VCCSAはシステムエージェント（メモリーコントローラーやPCI ExpressなどのI/Oを含む部分）の動作に影響します。高い値を設定することによりシステムパフォーマンスが向上し、低い値に設定することにより発生熱量は低下します。
5	VCCSA Current Capability オーバークロック用にVCCSAへの電力供給量を設定します。高い値を設定することによりメモリーコントローラーへ電力供給量を増やすと同時に、オーバークロックの周波数範囲を拡張します。
6	CPU Power Phase Control 動作中のCPU用VRM回路（フェーズ）の制御方法を設定します。システム負荷の高い状態で稼働フェーズ数を増やすことにより、高速過渡応答と高い伝熱性能を得ることができます。システム負荷の低い状態で稼働フェーズ数を減らすことにより、VRMの変換効率が向上し発熱を抑えることができます。
7	CPU Power Duty Control VRMのフェーズ毎の制御方法を設定します。温度または電流、どちらを重視して制御を行うかを選択します。電流を重視することにより、オーバークロック時に安定した動作を得ることができます。

DRAM Power



機能No.	説明
1	DRAM Current Capability オーバークロック用にDRAMへの電力供給量を設定します。
2	DRAM Voltage Frequency オーバークロック範囲の拡大やシステムの安定性を高めるためにDRAMスイッチング周波数を調整します。
3	DRAM Power Phase Control 動作中のメモリー用VRM回路（フェーズ）の制御方法を設定します。[Extreme] は全てのフェーズを稼働することによってシステムパフォーマンスが向上し、[Optimized] はASUSが最適化したフェーズ調整プロファイルによってVRMの変換効率を向上します。



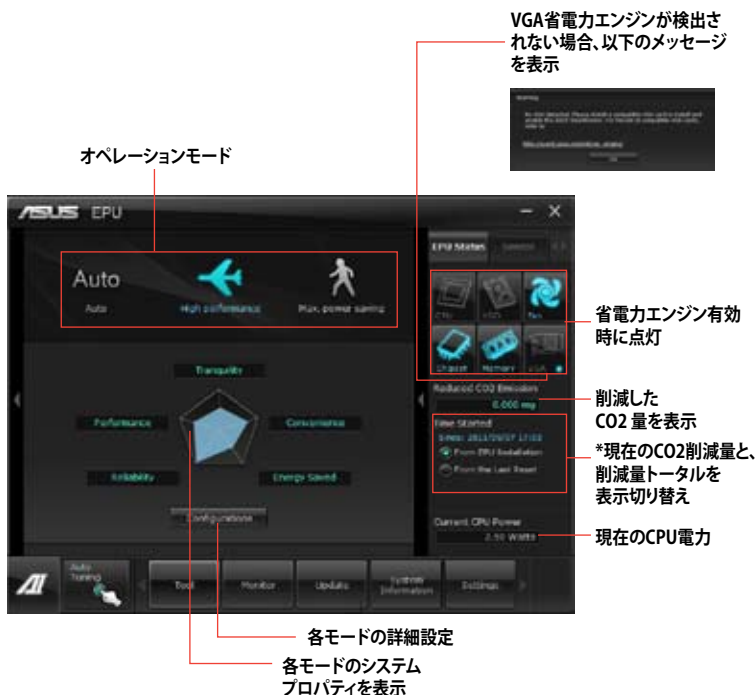
- 実際のパフォーマンスは取り付けられたCPUとメモリーによって異なります。
- サーマルモジュールやサーマルセンサーを取り外さないでください。正常に動作するためには各所の温度状態を常にモニタリングする必要があります。

4.3.4 EPU

EPUは電力管理をアシストするツールで、システムの多様な電力要求に応えます。このユーティリティには複数のモードがあり、システム電源を抑えることができます。「Auto」を選択するとシステムの状態に応じてモードを自動的に選択します。また、各モードは詳細設定も可能で、CPU周波数やGPU周波数、vCore 電圧、ファンコントロール等の設定が可能です。

EPUを起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「EPU」の順にクリックします。



- * 「From EPU Installation」を選択すると、EPUをインストールした時点からのCO2削減量が表示されます。
- * 「From the Last Reset」を選択すると、前回「Clear」ボタンを押した時点からのCO2削減量が表示されます。
- ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSオフィシャルサイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

4.3.5 FAN Xpert+

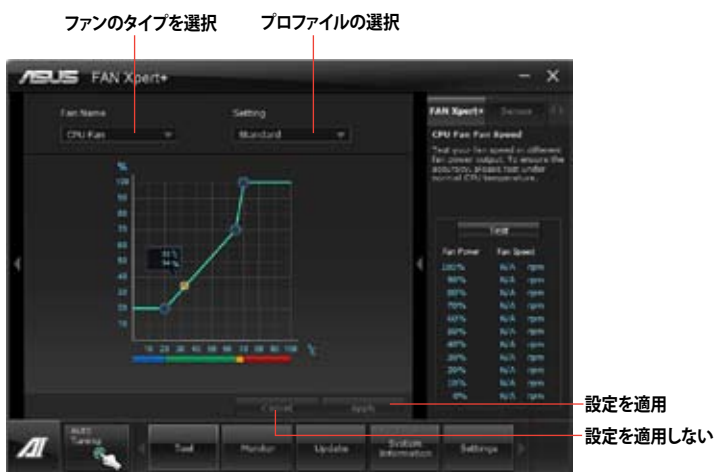
ASUS Fan Xpert+ は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンの速度を調節することができます。予め設定されたオプションから設定を選択することにより、ファン速度を臨機応変にコントロールすることができます。

FAN Xpert+ を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「Fan Xpert+」の順にクリックします。

FAN Xpert+を使用する

「Fan Name」の項目でファンを選択し、「Setting」の項目で予め設定されたモードを選択します。



ファンの設定

- **Disable:** Fan Xpert+ 機能を無効にします。
- **Standard:** 適度にファン速度を自動調節します。
- **Silent:** ファン速度を最低限に抑え、ノイズの低減を優先させます。
- **Turbo:** ファン速度を最大にし、冷却を優先させます。
- **Intelligent:** CPUファン速度を環境温度に応じて自動調整します。
- **Stable:** CPUファン速度を一定に保ち、スピードの切り替えによるノイズを抑えます。ただし、温度が70°Cを超えた場合は、ファン速度を自動的に調節します。
- **User:** ユーザープロファイルを定義します。



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSオフィシャルサイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

4.3.6 Sensor Recorder

Sensor Recorder は、システムの電圧、温度、ファン回転速度を時系列グラフで表示します。History Record 機能は、システムの電圧、温度、ファン回転速度を指定された時間、一定間隔で記録をすることができます。

Sensor Recorder を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「Sensor Recorder」の順にクリックします。

Sensor Recorder を使用する

Voltage/ Temperature/ Fan Speed のタブでモニタリングしたい項目をクリックします。グラフは一定間隔で更新されます。また、グラフの表示・非表示をチェックボックスで選択することが可能です。



History Record を使用する

1. 「History Record」タブをクリックします。必要に応じて「Record Interval」や「Record duration」を設定します。
2. 「Start recording」をクリックし、各センサーの測定と記録を開始します。
3. 記録を中断する場合は、「Recording」をクリックします。
4. 記録した履歴を表示するには、Date/Type/各センサーを選択します。



AI Suite II メインメニューバーから「Monitor」→「Sensor」の順にクリックすると、現在のシステム状態が画面右側に表示されます。

4.3.7 Probe II

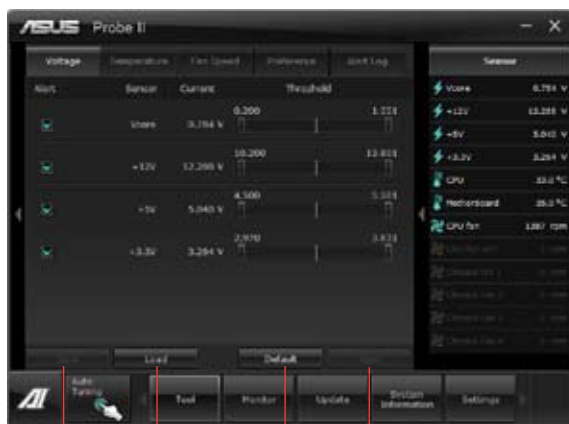
PC Probe II は、重要なコンピューターのコンポーネントを監視し、問題が検出されると警告するユーティリティです。ファン回転数、CPU温度、システム電圧を中心に監視します。このユーティリティで、コンピューターをいつでも正常に動作させることができます。

Probe IIを起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「Probe II」の順にクリックします。

Probe IIの設定

Voltage/Temperature/Fan Speedタブのいずれかをクリックし、センサーを有効にして、センサーのしきい値を設定します。「Preference」タブではセンサーの検出間隔や温度の単位(摂氏・華氏)を設定することができます。



設定を保存

保存した設定を
ロード

各センサーの
デフォルトのしきい値をロード

変更を適用



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSオフィシャルサイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

4.3.8 USB 3.0 Boost

ASUS USB 3.0 Boost は、オンボードのUSB 3.0ポートに接続されたUSB3.0デバイスの高速なデータ転送を実現します。また、最新のUASP (USB Attached SCSI Protocol) をサポートします。USB 3.0 Boosts によって、簡単にUSB 3.0 デバイスの転送速度を向上させることができます。

USB 3.0 Boost を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「USB 3.0 Boost」の順にクリックします。

USB 3.0 Boost を設定する

1. USB 3.0 デバイスをUSB 3.0 ポートに接続します。
2. USB 3.0 Boostは自動的に接続されたデバイスのプロパティを検出し、TurboモードとUASPモードを切り替えます。UASPモードはUASP対応デバイスを接続した場合にのみ選択されます。
3. 動作モードは手動でNormalモードに切り替えることが可能です。



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSオフィシャルサイトをご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。

4.3.9 ASUS Update

ASUS Update はWindows OS上でシステムのBIOSアップデートを簡単に行うことができるユーティリティです。また、インターネット接続によって最新のBIOSバージョンを直接ダウンロードしたり、現在のシステムBIOSをファイルとして保存することも可能です。

ASUS Update を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Update」→「ASUS Update」の順にクリックします。

ASUS Update を使用する

実行する動作選択して「Next」をクリックし、表示される指示に従いBIOSの操作を実行します。



- **BIOSをインターネットから更新**
ASUS専用サーバーからBIOSファイルをダウンロードし、システムのBIOSアップデートを実行します。
- **BIOSをインターネットからダウンロード**
ASUS専用サーバーからBIOSファイルをダウンロードし、BIOSファイルをコンピューターに保存します。システムのBIOSのアップデートは行われません。
- **ファイルからBIOSを更新**
指定されたBIOSファイルを使用して、BIOSのアップデートを実行します。
- **BIOSをファイルに保存**
現在のシステムBIOSをコンピューターにファイルとして保存します。



BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。BIOSのアップデートを行う前に、念のため現在のシステムBIOSのバックアップを実施することを推奨いたします。BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。予めご了承ください。

4.3.10 MyLogo2

MyLogo はBIOSの起動画面（ブートロゴ）を変更することのできるユーティリティです。POST（Power-On-Self-Test）時に表示される画面をカスタマイズし、お気に入りの画像に変更することが可能です。

ASUS Update を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「**Tool**」→「**MyLogo**」の順にクリックします。



MyLogoを使用する

ブートロゴの変更方法を選択し、「**Next**」をクリックします。

現在のマザーボードBIOSのブートロゴを変更

1. 「**Browse**」をクリックして使用する画像ファイルを選択し、「**Next**」をクリックします。



2. 「**Auto Tune**」をクリックし画像を自動調整するか、調整バーをドラッグして解像度を調節します。
3. 「**Booting Preview**」をクリックすると、ブートロゴのプレビューを表示する事ができます。プレビュー画面に問題がなければ「**Next**」をクリックします。
4. 「**Flash**」をクリックすると、BIOSのブートロゴの更新が開始されます。
5. 「**Yes**」をクリックし、システムを再起動します。システム再起動時に起動ロゴが正常に変更されていることを確認します。



ディスクに保存されたBIOSファイルのブートロゴを変更

1. BIOS Fileの「**Browser**」をクリックし、ご使用のマザーボード用のBIOSファイルを選択します。
2. Picture Fileの「**Browser**」をクリックし、使用する画像ファイルを選択して「**Next**」をクリックします。
3. 以降は「**現在のマザーボードBIOSのブートロゴを変更**」手順2～5と同じです。



フルスクリーンロゴの表示はBIOS設定に準じます。

4.3.11 オーディオ構成

本マザーボードはRealtek® オーディオコーデックの8チャンネルオーディオをサポートしており、またソフトウェアにより、ジャック検出機能、S/PDIF 出力サポート、割り込み機能に対応しています。このコーデックはRealtek® 開発の UAJ® (Universal Audio Jack) テクノロジーを採用しており、全てのポートでこのテクノロジーをサポートしていますので、ケーブル接続エラーが起こらず、プラグアンドプレイ対応で接続が短時間で簡単に行えます。

これらの機能を使用するには、マザーボードに付属のサポートDVDからインストールウィザードに従い、Realtek® オーディオドライバーをインストールしてください。

Realtek オーディオソフトウェアがインストールされると、タスクバーに Realtek HD Audio Manager アイコンが表示されます。設定画面を表示するには、タスクバーのダブルクリックし Realtek HD Audio Manager を表示します。

A. Realtek HD Audio Manager with DTS UltraPC II: Windows® 7™ / Vista™



B. Realtek HD Audio Manager: Windows XP



DTS UltraPC II、およびDTS Connect はWindows® 7/Vistaのみサポートします。



4.4 RAID

本マザーボードには Intel® X79 チップセットが搭載されており、次の SATA RAID ソリューションをサポートします。

- Intel® Rapid Storage Technology は RAID 0/1/5/10 をサポートします。



- SATA記憶装置を使用する際は、Windows® Vista 以降のOSをご使用ください。
- Windows® Vista の制限により、トータル容量が2TB以上のRAIDアレイを起動ディスクに設定することはできません。トータル容量が2TB以上のRAIDアレイはデータディスクとしてご使用ください。
- RAIDアレイに組み込まれた記憶装置にWindows® OSをインストールする場合、RAIDドライバディスクを作成し、RAIDドライバをOSインストール中にロードする必要があります。詳細はセクション「**4.5 RAIDドライバディスクを作成する**」をご参照ください。

4.4.1 RAIDの定義

RAID 0（データストライピング）：

記憶装置に対しパラレル方式でデータを読み/書きします。それぞれの記憶装置の役割はシングルドライブと同じですが、転送率はアレイに参加している台数倍に上り、データへのアクセス速度を向上させます。セットアップには、最低2台の記憶装置（同じモデル、同容量）が必要です。

RAID 1（データミラーリング）：

1台目のドライブから、2台目のドライブに、同じデータイメージをコピーし保存します。ドライブが1台破損しても、ディスクアレイマネジメントソフトウェアが、アプリケーションを正常なドライブに移動することによって、完全なコピーとして残ります。システム全体のデータプロテクションとフォールト・トレランスを向上させます。セットアップには、最低2台の新しい記憶装置、または、既存のドライブと新しいドライブが必要です。既存のドライブを使う場合、新しいドライブは既存のものと同じサイズかそれ以上である必要があります。

RAID 5：3台以上の記憶装置間のデータとパリティ情報をストライピングします。利点は、記憶装置のパフォーマンスの向上、フォールト・トレランス、記憶容量の増加です。データのやり取り、相関的なデータベースのアプリケーション、企業内のリソース作成など、ビジネスにおけるシステムの構築に最適です。セットアップには最低3台の同じ記憶装置が必要です。

RAID 10：

データストライピングとデータミラーリングをパリティ（冗長データ）なしで結合したものです。RAID 0とRAID 1構成のすべての利点が得られます。セットアップには、最低4台の記憶装置が必要です。



仕様により、本製品はIntel® X79 Express チップセットによるWindows® XPの [AHCI/RAID] モードをサポートしていません。

4.4.2 SATA記憶装置を取り付ける

本マザーボードは、SATA記憶装置をサポートします。最適なパフォーマンスのため、ディスクアレイを作成する場合は、モデル、容量が同じ記憶装置をご使用ください。

手順

1. SATA記憶装置をドライブベイに取り付けます。
2. SATA信号ケーブルを接続します。
3. SATA電源ケーブルを各ドライブの電源コネクタに接続します。

4.4.3 UEFI BIOSでRAIDを設定する

RAIDを作成する前に、UEFI BIOS Utility でRAIDを設定してください。

1. POST実行中にUEFI BIOS Utility に入ります。
2. 「**Advanced Menu**」で「**SATA Configuration**」を選択し、<Enter>を押します。
3. 「**SATA Mode**」を [RAID Mode] に設定します。
4. 設定の変更を保存し、UEFI BIOS Utility を終了します。



UEFI BIOS Utility の起動方法、設定方法は Chapter 3 を参照ください。

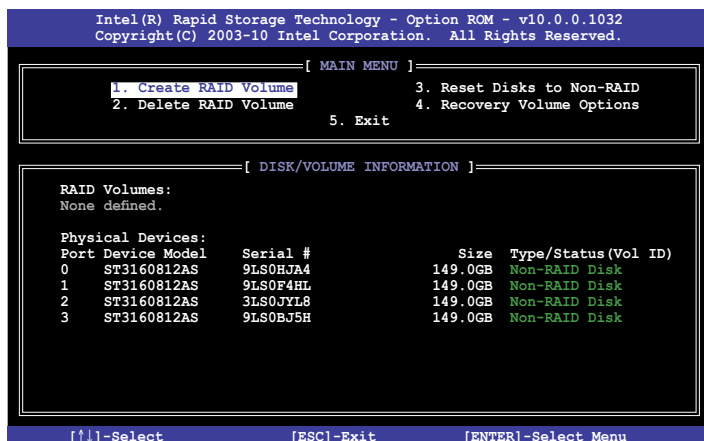


チップセットの制限により、SATAポートのいずれかをRAIDモードにすると、全てのSATAポートがRAIDモードで動作します。

4.4.4 Intel® Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティ

Intel® Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティを開く

1. システムの電源をONにします。
2. POSTで<Ctrl + I>を押し、メインメニューを開きます。



メニューを選択する際は画面の下に表示されるナビゲーションキーを使用します。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

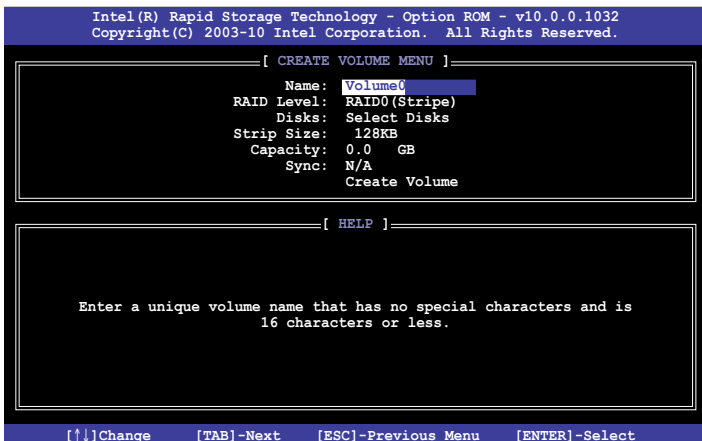


本ユーティリティはRAID設定として最大4台の記憶装置をサポートします。

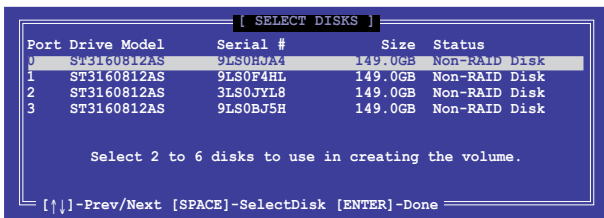
RAIDボリュームを作成する

RAIDセットを作成する

1. ユーティリティメニューから「1. Create RAID Volume」を選択し、<Enter>を押します。次のような画面が表示されます。



2. RAIDボリュームを入力し、<Enter>を押します。
3. 「RAID Level」の項目がハイライト表示されたら、カーソルキーで作成するRAIDモードを選択し、<Enter>を押します。
4. 「Disks」の項目がハイライト表示されたら<Enter> を押し、RAIDに使用する記憶装置を選択します。選択すると次のような画面が表示されます。



- カーソルキーでドライブをハイライト表示させ、<Space> を押して選択します。小さな三角のマークが選択したドライブを表示しています。設定を確認したら<Enter>を押します。
- RAID 0/10/5のいずれかを構築した場合は、カーソルキーでRAIDアレイのストライプのサイズを選択し、<Enter>を押します。設定可能な値は 4 KB から 128 KB です。次の数値は各アレイの一般的な数値です。
RAID 0: 128KB
RAID 10: 64KB
RAID 5: 64KB



サーバーには低めの値、オーディオ、サウンドなどの編集用のマルチメディアコンピュータシステムには高めの値をお勧めします。

- Capacity** 項目を選択し、希望のRAIDボリューム値を入力し <Enter> を押します。デフォルト設定値は許容最大値です。
- Create Volume** 項目を選択し、<Enter> を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。

WARNING: ALL DATA ON SELECTED DISKS WILL BE LOST.
Are you sure you want to create this volume? (Y/N):

- RAID ボリュームを作成し、メインメニューに戻る場合は <Y> を、**CREATE VOLUME** メニューに戻る場合は <N> を押してください。

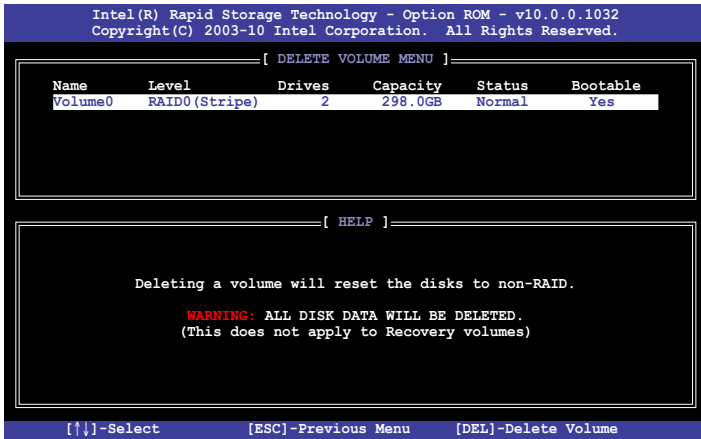
RAIDセットを削除する



RAIDセットを削除すると記憶装置内のデータは全て削除されます。ご注意ください。

手順

1. ユーティリティメニューから「2. Delete RAID Volume」を選択し <Enter> を押します。続いて次のような画面が表示されます。



2. カーソルキーで削除するRAIDセットを選択し、を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。

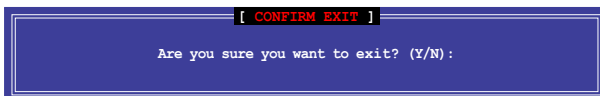


3. RAID ボリュームを削除し、メインメニューに戻る場合は <Y> を、DELETE VOLUMEに戻る場合は <N> を押してください。

Intel® Rapid Storage Technology Option ROM ユーティリティを閉じる

手順

1. ユーティリティメニューから「5. Exit」を選択し <Enter> を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。



2. ユーティリティを閉じるには <Y> を、ユーティリティメニューに戻るには <N> を押します。

5.1 AMD CrossFireX™ テクノロジー

本マザーボードはAMD CrossFireX™ テクノロジーをサポートしており、マルチGPUビデオカードを取り付けることができます。

5.1.1 システム要件

- CrossFireX™ テクノロジーをデュアルモードで使用する場合は、同一のCrossFireX対応カード 2 枚、またはCrossFireX対応デュアルGPUビデオカード 1 枚
- ビデオカードドライバーがAMD CrossFireXテクノロジーをサポートしていること。最新のドライバーはAMD公式サイト (<http://www.amd.com>) でダウンロード可能。
- 最低電源条件を満たす電源装置 (PSU)。



-
- 熱管理の観点から、ケースファンの追加をお勧めします。
 - サポートするビデオカードの詳細は、AMD公式サイトでご確認ください。
-

5.1.2 始める前に

AMD CrossFireX を動作させるには、AMD CrossFireXビデオカードを取り付ける前に、システムにインストールされているビデオカードドライバーを削除する必要があります。

手順

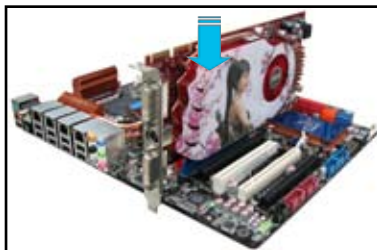
1. 全てのアプリケーションを閉じます。
2. Windows XPをご使用の場合は、「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開きます。
Windows Vista 以降をご使用の場合は、「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順に開きます。
3. システムにインストールされているビデオカード ドライバーを選択します。
4. Windows XPをご使用の場合は、「変更と削除」を選択します。
Windows Vista 以降をご使用の場合は、「アンインストール」を選択します。
5. コンピューターをOFFにします。

5.1.3 CrossFireX™ AMD CrossFireX ビデオカードを取り付ける

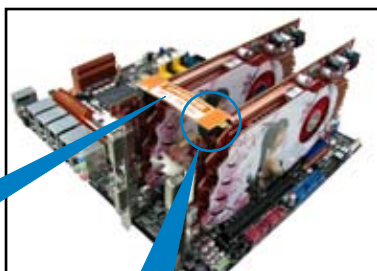


本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。ビデオカードとマザーボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、セットアップ手順は同じです。

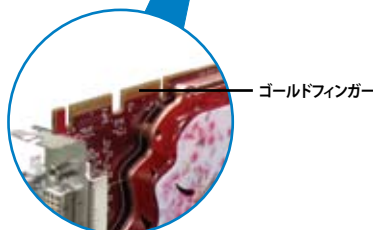
1. CrossFire対応ビデオカード2枚を手元に準備します。
2. 両方のビデオカードをPCIEX16スロットに取り付けます。マザーボードにPCIEX16スロットが2基以上ある場合は、Chapter 2でビデオカードを2枚以上取り付ける際に推奨するPCIEX16スロットをご確認ください。
3. 各カードをしっかりと取り付けます。



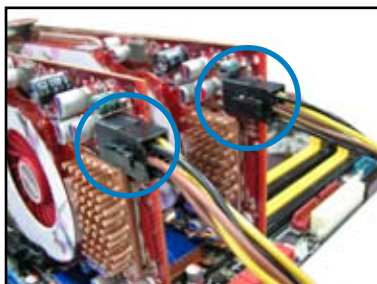
4. CrossFireXブリッジケーブルを各ビデオカードのゴールドフィンガーに挿入します。コネクタはしっかりと取り付けます。



CrossFireX ブリッジ
(ビデオカードに付属)



5. 各ビデオカードに補助電源装置を接続します。
6. VGAケーブルまたはDVIケーブルをビデオカードに接続します。



5.1.4 デバイスドライバーをインストールする

デバイスドライバーのインストールの詳細は、ビデオカードに付属のマニュアルをご参照ください。



PCI Express ビデオカードドライバーがAMD® CrossFire™ テクノロジーをサポートしていることをご確認ください。最新のドライバーはAMD公式サイト (<http://www.amd.com>) でダウンロード可能です。

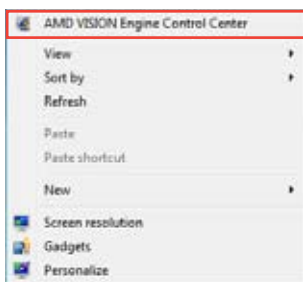
5.1.5 AMD® CrossFire™ テクノロジーを有効にする

ビデオカードとデバイスドライバーをセットアップしたら、Windows® OSを起動し、AMD VISION Engine Control Centerで CrossFire™ 機能を有効にします。

CrossFireX 設定を有効にする

手順

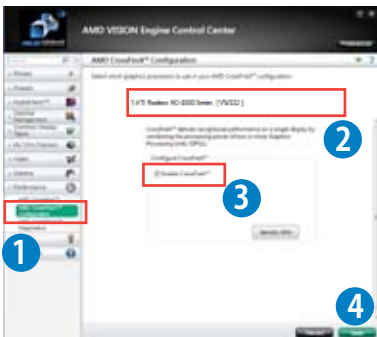
1. デスクトップの何もないところで右クリックしコンテキストメニューを表示させるか、タスクバーのアイコンを右クリックし、「AMD VISION Engine Control Center」を起動します。



2. 複数のビデオカードが検出されると、「VISION Engine Control Center セットアップアシスタント」の画面が表示されます。続いて「移動する」をクリックし、「VISION Engine Control Center」に移動します。



3. 「VISION Engine Control Center」のウィンドウが開き、AMD CrossFire™ の画面が表示されます。
4. 表示された内容を確認し、「CrossFire™を有効にする」にチェックがされていることを確認します。
5. 「適用」をクリックし設定を反映します。



5.2 NVIDIA® SLI™ テクノロジー

本マザーボードはNVIDIA® SLI™ (Scalable Link Interface) テクノロジーをサポートしており、マルチGPUビデオカードを取り付けることができます。

5.2.1 必要条件

- SLI モード: 同一のNVIDIA® SLI 対応のビデオカード 2 枚。
- NVIDIA SLI テクノロジー対応のビデオカードドライバー。最新のドライバーはNVIDIAオフィシャルサイト (<http://www.nvidia.com/>) でダウンロード可能。
- 最低電源条件を満たす電源装置 (PSU)。



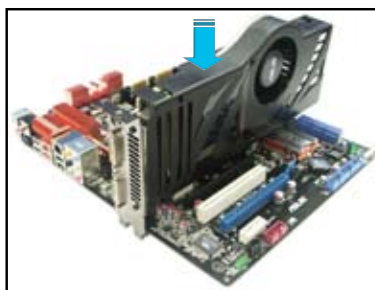
- 熱管理の観点から、ケースファンの追加をお勧めします。
- NVIDIAオフィシャルサイト (<http://www.nvidia.com/>) で最新の対応ビデオカードとサポートする3Dアプリケーションのリストをご確認いただけます。

5.2.2 SLI対応ビデオカードを 2 枚取り付ける

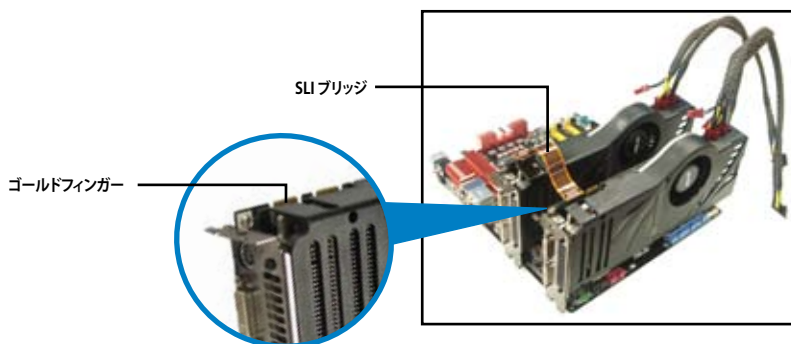


本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。ビデオカードとマザーボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、セットアップ手順は同じです。

1. SLI対応ビデオカード 2 枚を手元に準備します。
2. 両方のビデオカードをPCIEX16スロットに取り付けます。マザーボードにPCIEX16スロットが 2 基以上ある場合は、Chapter 2 でビデオカードを 2 枚以上取り付ける際に推奨するPCIEX16スロットをご確認ください。
3. 各カードをしっかり取り付けます。



4. SLI ブリッジケーブルを各ビデオカードのゴールドフィンガーに挿入します。コネクターはしっかり取り付けます。
5. 各ビデオカードに補助電源装置を接続します。
6. VGAケーブルまたはDVIケーブルをビデオカードに接続します。



5.2.3 デバイスドライバーをインストールする

ビデオカードに付属のマニュアルを参考にして、デバイスドライバーをインストールしてください。



PCI Express ビデオカードドライバーがNVIDIA® SLI™ テクノロジーをサポートしていることをご確認ください。最新のドライバーはNVIDIA公式サイト (<http://www.nvidia.com/>) でダウンロード可能です。

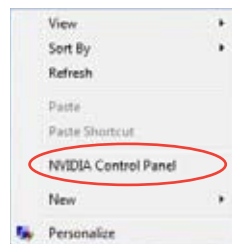
5.2.4 NVIDIA® SLI™ テクノロジーを有効にする

ビデオカードとデバイスドライバーをセットアップしたら、Windows® OSを起動し、NVIDIA® Control PanelでSLI 機能を有効にします。

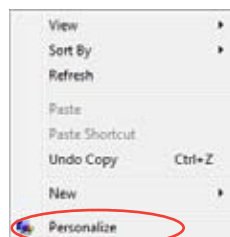
NVIDIA Control Panelを開く

手順

- A. デスクトップ上で右クリックし、「NVIDIA Control Panel」を選択します。(手順B5 を参照)



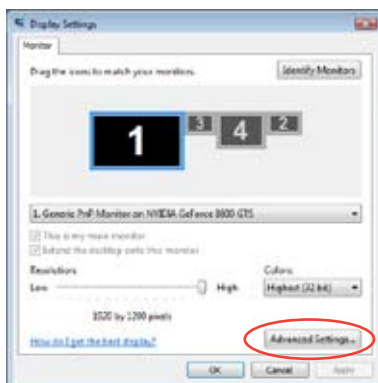
B1. 表示されない場合は、「Personalize」を選択します。



B2. 右のような画面が表示されたら「Display Settings」を選択します。



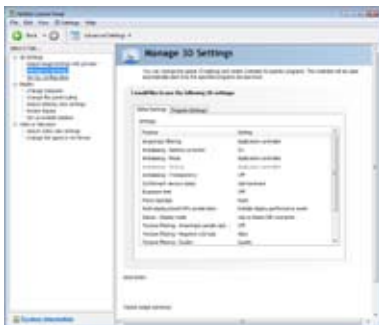
B3. Display Settings のダイアログボックスで「Advanced Settings」をクリックします。



- B4. NVIDIA GeForce タブを選択し、
「Start the NVIDIA Control Panel」を
クリックします。



- B5. NVIDIA Control Panel 画面が表示されます。



SLI 設定を有効にする

NVIDIA Control Panel から

「Set SLI Configuration」を選択します。

「Enable SLI」をクリックし、SLI レンダリング
コンテンツ用のディスプレイを設定します。設定
後「Apply」をクリックします。



[illegible]

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 15 Li-Te Road, Beitou, Taipei, Taiwan 11259
電話(代表): +886-2-2894-3447
ファックス(代表): +886-2-2890-7798
電子メール(代表): info@asus.com.tw
Webサイト: www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話: +86-21-3842-9911
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話: +1-510-739-3777
ファックス: +1-510-608-4555
Webサイト: http://usa.asus.com

テクニカルサポート

電話: +1-812-282-2787
サポートファックス: +1-812-284-0883
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ・オーストリア)

住所: Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
電話: +49-2102-95990
ファックス: +49-2102-959911
Webサイト: www.asus.de
オンラインコンタクト: www.asus.de/sales

テクニカルサポート

電話: +49-1805-010923*
サポートファックス: +49-2102-9599-11*
オンラインサポート: support.asus.com

* ドイツ国内の固定電話からは0.14ユーロ/分、携帯電話からは 0.42ユーロ/分の通話料がかかります。

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)



Responsible Party Name: Asus Computer International

Address: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.

Phone/Fax No: (510)739-3777/(510)608-4555

hereby declares that the product

Product Name : Motherboard

Model Number : P9X79

Conforms to the following specifications:

- ☒ FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators
- ☐ FCC Part 15, Subpart C, Intentional Radiators
- ☐ FCC Part 15, Subpart E, Intentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

Signature :

Date : Oct. 21, 2011

Steve Chang

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	No. 150, LITE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C.
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	Motherboard
Model name :	P9X79

conform with the essential requirements of the following directives:

92/2004/108/EC-EMC Directive	
<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2006+A1:2007	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A1:2009+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2008
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55020:2007

☐ 1999/5/EC-R & TTE Directive

<input type="checkbox"/> EN 300 328 V1.7.1 (2006-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-1 V1.8.1 (2008-04)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.4.1 (2008-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-3 V1.4.1 (2008-08)
<input type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2 (2005-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-4 V1.3.1 (2008-01)
<input type="checkbox"/> EN 301 811 V9.0.2 (2005-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-7 V1.3.1 (2006-01)
<input type="checkbox"/> EN 301 808-2 V3.2.1 (2007-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-9 V1.4.1 (2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 808-2 V3.2.1 (2007-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-17 V2.1.1 (2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 301 808-2 V3.2.1 (2007-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 488-18 V2.1.1 (2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 302 542-2 V1.1.1 (2006-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 328-3 V1.2.1 (2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 302 542-2 V1.1.1 (2006-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 328-3 V1.3.1 (2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.3.1 (2006-09)
<input type="checkbox"/> EN 50371:2002	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.1.1 (2009-01)
<input type="checkbox"/> EN 50385:2002	

☒ 2002/95/EC-LVD Directive

<input type="checkbox"/> EN 60950-1:2006	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002+A1:2006+A11:2008
<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1:2006+A11:2009	

☒ 2009/12/SEC-ERP Directive

Regulation (EC) No. 1275/2008	Regulation (EC) No. 279/2009
<input type="checkbox"/> EN 62301:2005	<input type="checkbox"/> EN 62301:2005
Regulation (EC) No. 642/2009	
<input type="checkbox"/> EN 62301:2005	

Ver. 110101



CE marking

(EC conformity marking)

Position : CEO
Name : Jerry Shen

Jerry Shen

Declaration Date: Oct. 21, 2011
Year to begin affixing CE marking: 2011

Signature :